

RICOH MP CW2201/CW1201 シリーズ

使用説明書 〈本機をお使いになる方へ〉

目次

1. かんたん検索

やりたいことで探す.....	7
節約したい.....	7
読み取った文書をパソコンで使いたい.....	8
宛先を登録したい.....	9
よく使用する機能を設定したい.....	9
こんなことができます.....	11
ホーム画面を自分好みにカスタマイズできます.....	11
さまざまな機能を活用したコピーができます.....	12
さまざまな機能を活用したプリンター印刷ができます.....	13
文書を蓄積して活用できます.....	13
ネットワーク上でスキャナーを使用できます.....	15
テキストデータを埋め込んでスキャンできます.....	15
情報の漏えいを抑止できます（セキュリティー機能）.....	16
パソコンから本機の状態を監視・設定できます.....	17
不正なコピーや印刷をガードできます.....	17

2. 本機のご利用にあたって

本機の概要.....	19
本書で使用しているオプションの表記.....	19
オプションが必要な機能一覧.....	20
本体各部の名称とはたらき.....	21
おもなオプションのはたらき.....	24
外部に取り付けるオプション.....	24
内部に取り付けるオプション.....	24
その他のオプション.....	25
操作部の名称とはたらき.....	26
操作部の角度を調整する.....	27
外部メディアを取り付ける/取り外す.....	28
SD カードを取り付ける.....	29
USB メモリーを取り付ける.....	29
SD カードを取り外す.....	30
USB メモリーを取り外す.....	31
排紙バスケットをセットする.....	32

標準モードにセットする.....	34
A0/A1 スタックモードにセットする (RICOH MP CW2201 シリーズ)	35
A1/A2 ヨコ スタックモードにセットする.....	38
ホーム画面の見かた.....	42
ホーム画面に表示される主なアイコン.....	44
機能キーを使用して機能を切り替える.....	46
操作部ブラウザー画面.....	47
やさしくシリーズの操作画面で実行できる操作.....	48
表示言語を切り替える.....	50
画面の明るさを調整する.....	50
システムリセット.....	51
各アプリケーション画面の見かた.....	52
本体初期設定画面と基本アプリケーション画面に表示されるキー.....	52
コピー機能の画面.....	55
ドキュメントボックス機能の画面.....	55
プリンター機能の画面.....	60
スキャナー機能の画面.....	61
画面パターンを切り替える.....	70
かんたんアプリ画面の見かた.....	71
本機にログインする.....	73
ログイン画面が表示されたとき.....	73
操作部からのユーザーコード認証のしかた.....	73
ドライバーからのユーザーコード認証のしかた.....	74
操作部からのログインのしかた.....	74
操作部からのログアウトのしかた.....	75
IC カードを使用したログインのしかた.....	75
IC カードを使用したログアウトのしかた.....	76
オートログアウト機能.....	77
ドライバーからのログインのしかた.....	77
Web Image Monitor からのログインのしかた.....	78
Web Image Monitor からのログアウトのしかた.....	78
ロックアウト機能.....	79
ログインパスワードを変更する.....	79
電源の入れかた、切りかた.....	82

主電源スイッチ	82
節電	83
文字入力のしかた（基本アプリケーションを使用しているとき）	85
文字入力画面の見かた（基本アプリケーションを使用しているとき）	85
入力できる文字（基本アプリケーションを使用しているとき）	87
入力のしかた（基本アプリケーションを使用しているとき）	89
文字入力のしかた（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）	93
文字入力画面の見かた（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）	93
キーボードの表示を切り替える（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）	96
入力できる文字（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）	100
テキストを入力する（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）	100
JIS 漢字コード表	106
ダウンロードできるソフトウェア	107
Ridoc IO Device Manager でできること	107
Ridoc Desk Navigator でできること	107
キーカードをセットする	108

3. 本機に関する情報

環境法規制に関する情報	109
エネルギースタープログラム	109
省エネルギー機能	109
使用済み製品の回収とリサイクル	111
物質エミッション	111

4. 用紙の仕様とセット方法

原稿をセットする	113
原稿の排出先	113
出力紙の排出先	115
セットできる原稿のサイズと紙厚	116
原稿をセットする	118
用紙をセットする	123

用紙をセットするときの注意事項.....	123
給紙部にロール紙をセットする.....	124
プリンター機能で給紙部を使用する.....	137
手差し給紙部に用紙をセットする.....	138
プリンター機能で手差し給紙部を使用する.....	142
セットできる用紙.....	146
セットできる用紙サイズ、種類.....	146
使用できない用紙.....	156
用紙の保管.....	157
用紙の取り扱い.....	157

5. 便利な機能

よく使用する設定を登録する.....	159
プログラムに設定を登録する.....	159
プログラムを呼び出す.....	163
プログラムの内容を変更する.....	164
プログラムを消去する.....	167
初期画面に表示される機能を変更する.....	168
よく使用する機能を優先的に表示する.....	170
ホーム画面をカスタマイズする.....	171
ホーム画面をカスタマイズする.....	171
アイコンをホーム画面に追加する.....	172
フォルダーを作成する.....	174
ホーム画面のアイコンを並べ替える.....	174
ホーム画面のアイコンを消去する.....	175
壁紙を変更する.....	175
ホーム画面を初期状態に戻す.....	176
本機の状態や設定内容を確認する.....	178
ジョブを管理する.....	180
ジョブを管理する画面の種類.....	180
ジョブの内容を確認する.....	182
ジョブの順序を入れ替える.....	182
ジョブの印刷を保留する.....	183
ジョブを削除する.....	183

ジョブの履歴を確認する.....	184
ブラウザー機能を使用する.....	185
ブラウザー機能を使用する前に.....	185
Web ページを表示する.....	186
Web ページを印刷する.....	186
Web ページ上の PDF ファイルを印刷/保存する.....	186
画像をダウンロードする.....	188
操作部ブラウザーの設定.....	189
スキャンした文書を自分のメールアドレスに送信する (Scan to Me)	194
スマートデバイスから使用する.....	196

6. 保守/仕様

守ってほしいこと.....	197
使用上のお願い.....	197
印刷物の取り扱い.....	198
ハードディスクのデータのバックアップを取る.....	198
消耗品の補給と交換.....	200
インクを補給する.....	200
廃インクボックスを交換する.....	204
本機の設置と移動.....	206
本機を移動する.....	206
移動後の設置条件.....	207
長期間使用しないときは.....	212
本機を清掃する.....	214
清掃のしかた.....	214
原稿カバー内の清掃.....	214
プラテンの清掃.....	216
電源プラグの清掃.....	218
役立つ情報.....	220
カウンター.....	220
カウンターの進みかた.....	220
問い合わせ情報.....	222
仕様一覧.....	224
本体仕様.....	224

ドキュメントボックスの仕様.....	227
プリンター機能の仕様.....	228
スキャナー機能の仕様.....	230
給紙部 2 の仕様.....	233
拡張無線 LAN ボードの仕様.....	233
消耗品一覧.....	235
おもな付属品一覧.....	235
お問い合わせ.....	236
リモート管理サービスを利用する.....	236
保守サービス契約.....	238
機器のご利用終了にともなう、機器に保存されたお客様の情報資産のお取り扱いについて.....	238
お問い合わせ先.....	239

7. 付録

商標.....	241
---------	-----

1. かんたん検索

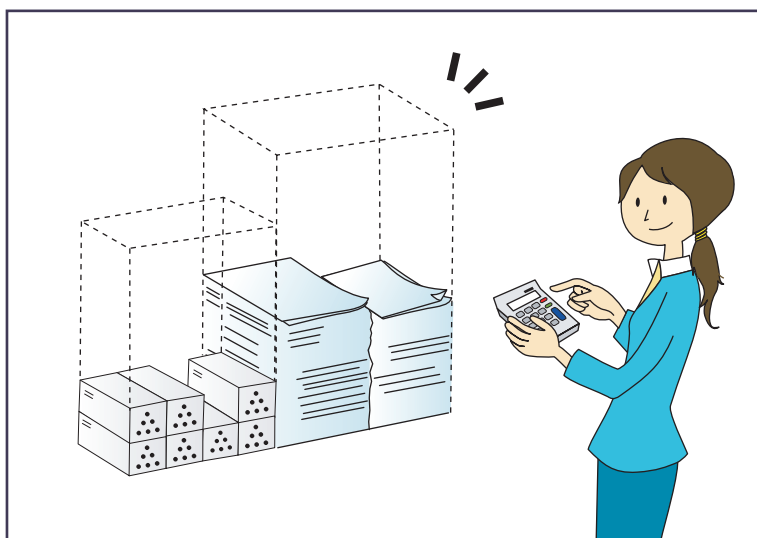
やりたいことから記載個所を検索できます。また、本機でできる特徴的な機能を紹介しています。

1

やりたいことで探す

やりたいことから操作手順を探すことができます。

節約したい



複数原稿を1枚の用紙にまとめて印刷する（集約機能）

⇒『コピー/ドキュメントボックス』「1枚にまとめてコピーする」

フルカラー原稿を2色でコピーする（2色コピー）

⇒『コピー/ドキュメントボックス』「指定した2色でコピーする」

インクを節約して印刷する（インクセーブ機能）

⇒『プリンター』「インクセーブ機能を使用する」

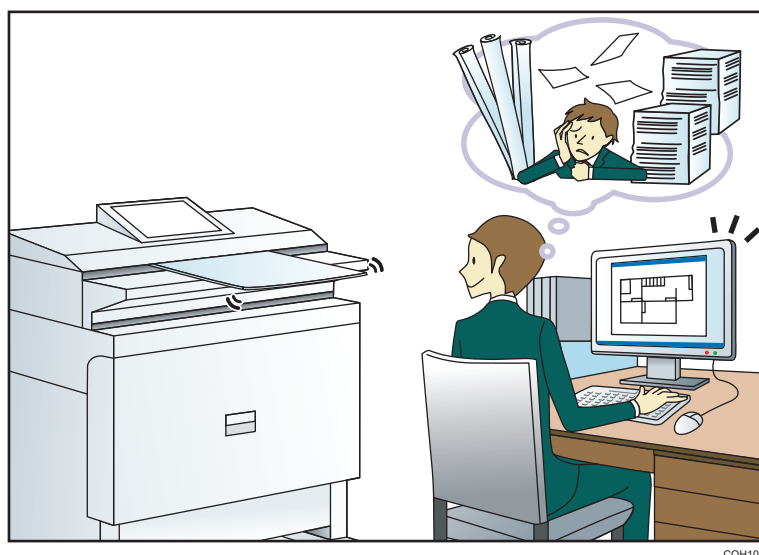
消費電力を節約する

⇒P.83「節電」

⇒『ネットワークの接続/システム初期設定』「時刻タイマー設定」

読み取った文書をパソコンで使いたい

1



CQH100

スキャンしたデータをメール送信する

⇒『スキャナー』「基本的なメール送信のしかた」

スキャンして本体に蓄積した文書の URL を送信する

⇒『スキャナー』「URL をメール送信する」

スキャンしたデータを共有フォルダーに保存する

⇒『スキャナー』「基本的なフォルダー送信のしかた」

スキャンしたデータをメディアに保存する

⇒『スキャナー』「基本的な外部メディア保存のしかた」

文字情報を再利用できるようにスキャンする

⇒『スキャナー』「スキャンしたデータにテキストデータを埋め込む」

文書のサイズを縮小してスキャンする（変倍）

⇒『スキャナー』「編集」

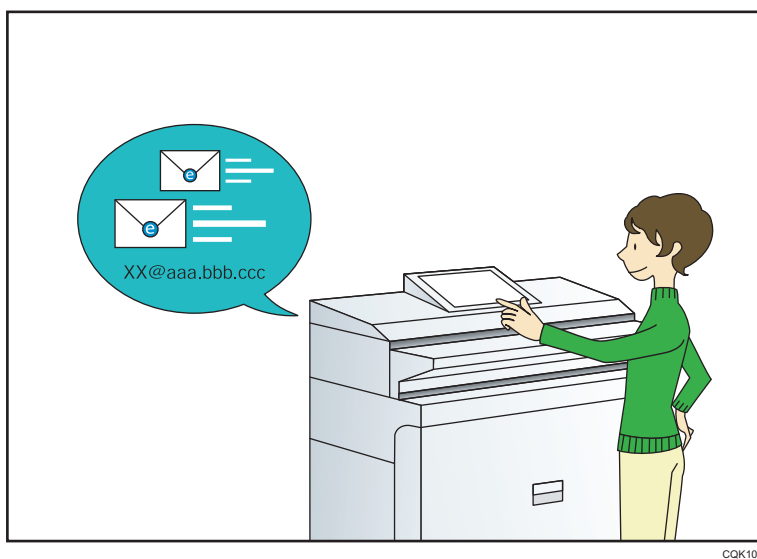
文字の読みやすさを損なわず、データ容量を減らしてスキャンする（高圧縮 PDF）

⇒『スキャナー』「ファイル形式を設定する」

電子化した文書を管理・活用する（ドキュメントボックス機能）

⇒『コピー/ドキュメントボックス』「各機能とドキュメントボックスの関係」

宛先を登録したい

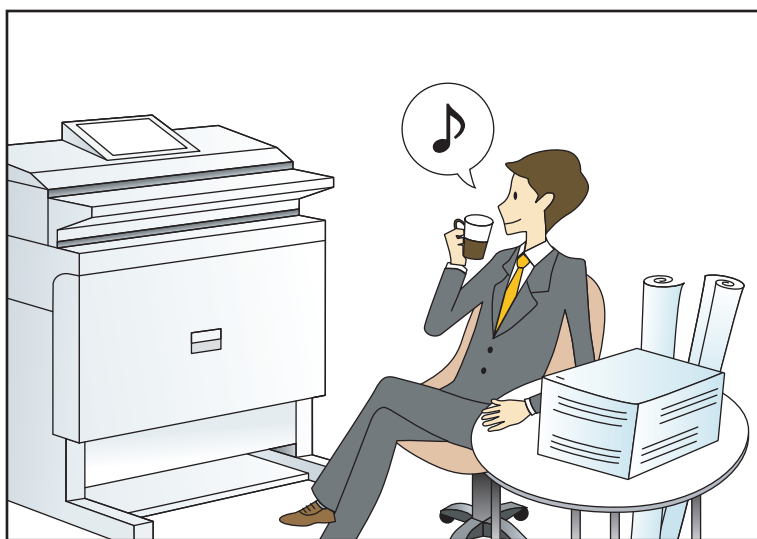


CQK101

操作部で入力した宛先をアドレス帳に登録する

⇒『スキャナー』『直接入力した送信先をアドレス帳に登録する』

よく使用する機能を設定したい



CQK102

よく使用する設定や操作条件を登録し、登録した内容呼び出す（プログラム登録）（基本アプリケーション画面、かんたんアプリ画面）

⇒P.159「プログラムに設定を登録する」

よく使用する設定や操作条件を登録し、登録した内容呼び出す（プログラム登録）（やさしくシリーズの操作画面）

⇒『やさしくコピー/やさしくスキャナー』『プログラムに設定を登録する（やさしくシリーズの操作画面）』

よく使用する設定を初期画面に登録する（初期値変更）（基本アプリケーション画面、かんたんアプリ画面）

⇒P.168「初期画面に表示される機能を変更する」

よく使用する設定を初期画面に登録する（初期値変更）（やさしくシリーズの操作画面）

⇒『やさしくコピー/やさしくスキャナー』『やさしくシリーズの操作画面の初期画面に表示される機能を変更する』

プリンタードライバーによく使用する印刷設定を登録する

⇒『プリンター』『かんたん設定を使用する』

プリンタードライバーの初期値をよく使用する印刷設定に変更する

⇒『プリンター』『印刷設定画面を開く』

プログラムやお気に入りの Web ページへのショートカットをホーム画面に追加する

⇒P.172「アイコンをホーム画面に追加する」

ホーム画面のアイコンの順序を入れ替える

⇒P.174「ホーム画面のアイコンを並べ替える」

こんなことができます

本機で利用できる特長的な機能を紹介します。

1

ホーム画面を自分好みにカスタマイズできます

ホーム画面には、各機能のアイコンが表示されます。



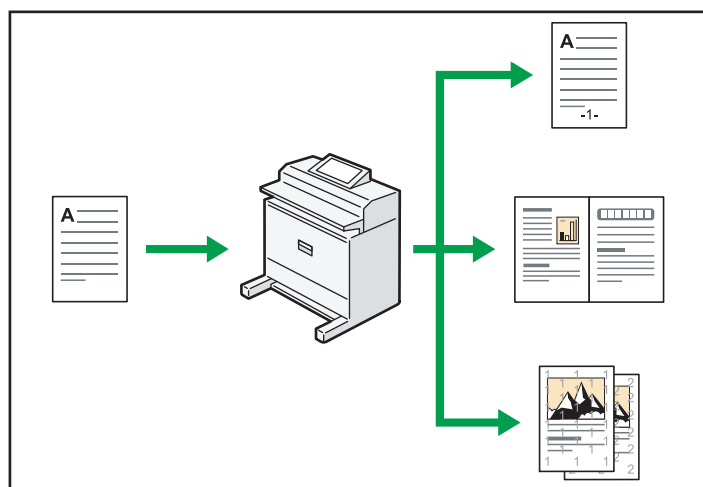
DNP003

- よく使用するプログラムや Web ページへのショートカットをホーム画面に追加できます。ショートカットアイコンを押すと、プログラムや Web ページをかんたんに呼び出すことができます。
- 使用する機能やショートカットのアイコンだけを表示できます。
- 機能アイコンやショートカットアイコンを並べ替えることができます。

目 参照

- ホーム画面の見かたについては、P.42 「ホーム画面の見かた」を参照してください。
- カスタマイズ方法は、P.171 「ホーム画面をカスタマイズする」を参照してください。

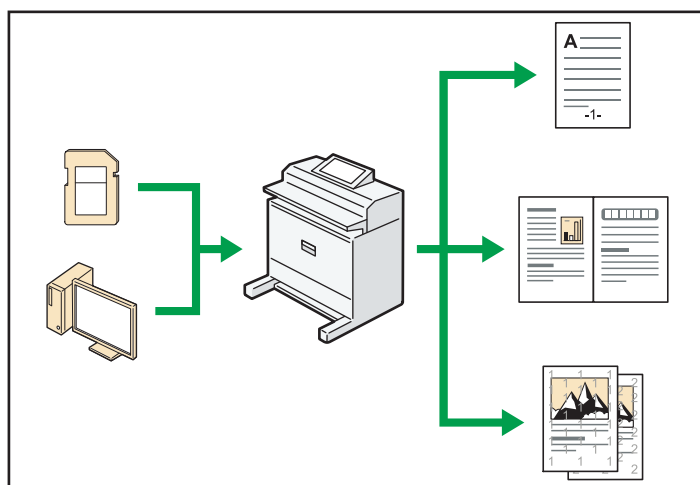
さまざまな機能を活用したコピーができます



CQH002

- カラーでコピーできます。原稿の種類や希望の仕上がり状態によってカラーコピーのモードを切り替えられます。
⇒『コピー/ドキュメントボックス』「カラーでコピーする」
- カラーコピーの色や画質を調整できます。
⇒『コピー/ドキュメントボックス』「カラーを調整する」
⇒『コピー/ドキュメントボックス』「画質を調整する」
- コピーに印字できます。ナンバリング・スタンプ・日付・ページをつけてコピーします。
⇒『コピー/ドキュメントボックス』「コピーに印字する」
- 拡大／縮小コピーができます。「用紙指定変倍」を選ぶと、原稿のサイズを自動的に検知し、指定した用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小コピーします。原稿の方向と用紙の方向が異なるときは、自動的に画像を回転してコピーします。
⇒『コピー/ドキュメントボックス』「拡大・縮小してコピーする」
- 用紙を節約してコピーできます。「集約」の機能を選ぶと、複数のページを1枚の用紙にコピーできます。
⇒『コピー/ドキュメントボックス』「1枚にまとめてコピーする」
- 出力される用紙をソートできます。
⇒『コピー/ドキュメントボックス』「ソート」

さまざまな機能を活用したプリンター印刷ができます

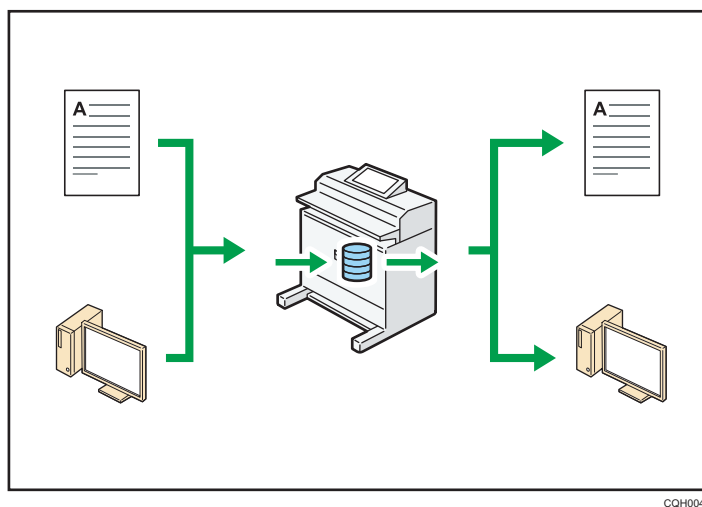


CQH003

- プリンターは、ネットワーク接続またはローカル接続できます。
- あらかじめプリンタードライバーからの印刷指示で本機のハードディスクに蓄積された、試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書および保存文書の印刷、または削除ができます。
⇒『プリンター』「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」
- 出力される用紙をソートできます。
⇒『プリンター』「ソート」
- 外部メディアから読み込んだ文書を印刷できます。通常の印刷と同じように、用紙サイズなどの印刷条件を設定して印刷できます。
⇒『プリンター』「メディアスロットから直接印刷する（メディアプリント）」

文書を蓄積して活用できます

コピー機能、プリンター機能、またはスキャナー機能で作成したデータを本機のハードディスクに蓄積しておき、パソコンから Web ブラウザーを使用してネットワーク経由で閲覧、印刷、削除、送信、検索できます。また、印刷時に印刷設定を変更したり複数の文書を組み合わせたりできます。（ドキュメントボックス）



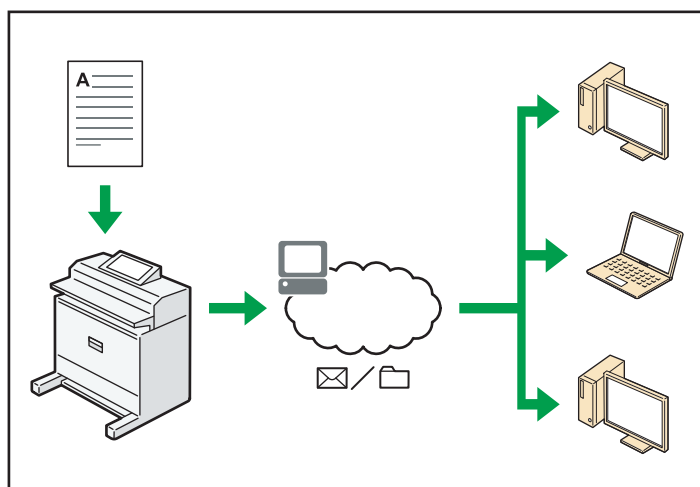
CQH004

- スキャナー機能で読み取った文書をパソコンに取り込みます。
- 拡張データ変換ボードを搭載していると、コピー機能やドキュメントボックス機能、プリンター機能で蓄積した文書をパソコンにダウンロードできます。

目 参照

- コピーからの使用方法とドキュメントボックスの操作は、『コピー/ドキュメントボックス』「ドキュメントボックスに原稿を蓄積する」、「ドキュメントボックス機能」を参照してください。
- プリンターからの使用法は、『プリンター』「ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。
- スキャナーからの使用法は、『スキャナー』「読み取った文書を蓄積/保存する」を参照してください。

ネットワーク上でスキャナーを使用できます



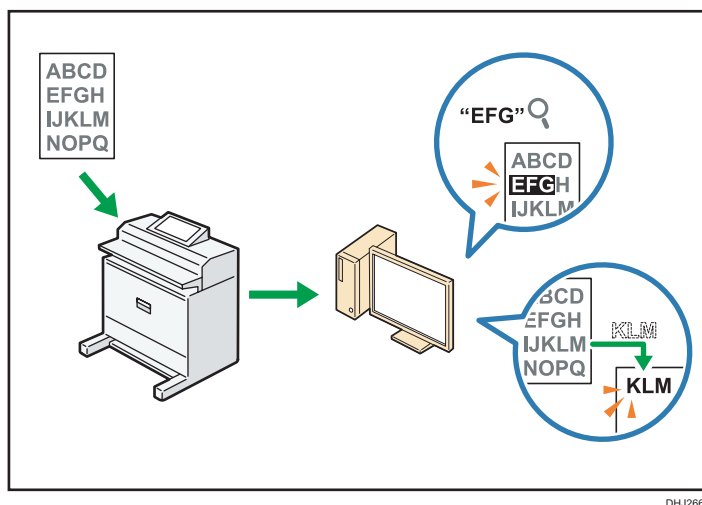
CQK103

- 読み取った文書を指定した送信先へメール送信できます（メール送信）。
⇒ 『スキャナー』 「基本的なメール送信のしかた」
- 読み取った文書をネットワーク上の共有フォルダーに送ることができます（フォルダー送信）。
⇒ 『スキャナー』 「基本的なフォルダー送信のしかた」

テキストデータを埋め込んでスキャンできます

スキャナーで読み取った文書に、パソコンで処理することなくテキストデータを埋め込むことができます。

テキストを埋め込むと、探したい文字を文書内で検索したり、文字を別の文書にコピーしたりできて便利です。



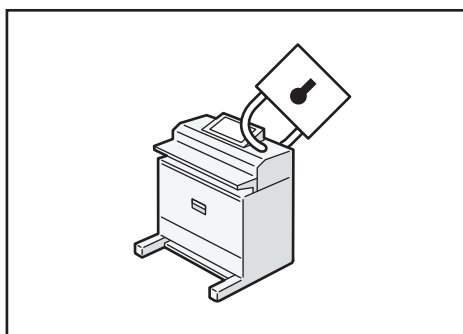
DHJ266

- この機能を使用するには、OCR 変換モジュールが必要です。
- 文書のファイル形式は、[PDF]、[高圧縮 PDF]、または [PDF/A] から選択できます。
- さまざまな言語の文字を、1 ページあたり約 4 万字、最大 A1 サイズまで OCR 処理できます。

目 参照

- 『スキャナー』「スキャンしたデータにテキストデータを埋め込む」を参照してください。

情報の漏えいを抑止できます（セキュリティー機能）



CQK104

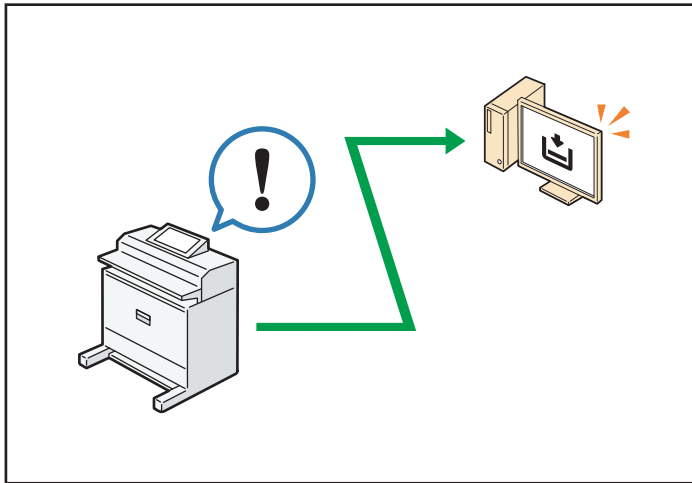
- 不正アクセス、無断コピーから文書を保護できます。
- 本機の使用を制限して、不正な設定変更を防止できます。
- パスワードを設定して、ネットワークからの不正アクセスを防止できます。
- ハードディスクのデータを削除、または暗号化して、情報漏れを抑止できます。
- ユーザーごとに利用できる機能を制限できます。

参照

- 『セキュリティガイド』を参照してください。

パソコンから本機の状態を監視・設定できます

Web Image Monitor を使用して、パソコンから本機の状態の確認や設定の変更ができます。



CQH005

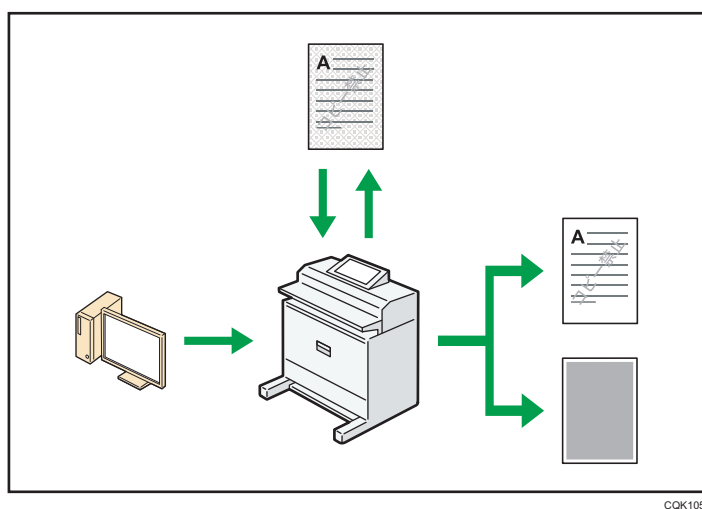
用紙がなくなった給紙部の確認、アドレス帳の登録、ネットワークの設定、初期設定の変更や確認、ジョブの管理、ジョブ履歴の出力、認証機能の設定などを行えます。

参照

- 『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使用する」、および Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

不正なコピーや印刷をガードできます

複製を作れないように、文書に地紋をつけて印刷できます。



CQK105

- プリンタードライバーで不正コピーガードの地紋をつけて印刷できます。この文書を不正コピーガードモジュール装着の本機で読み取ると、画像を抹消し縦線パターンを印刷するので、コピー禁止文書が複製されることを抑止できます。不正コピーガードモジュールを装着していない機械で読み取ると、隠し文字が浮き出るので原稿がコピー禁止文書であることがわかります。
- プリンタードライバーで不正コピー抑止用の地紋をつけて印刷できます。この文書を本機やほかの機械でコピーすると、隠し文字が浮き出るので不正コピーを抑止できます。

目 参照

- 『プリンター』「複製できない文書を印刷する」、プリンタードライバーのヘルプ、および『セキュリティガイド』「不正コピー抑止／不正コピーガード機能」を参照してください。

2. 本機のご利用にあたって

機械を使用するための準備、操作部の使いかた、文字の入力方法などを説明しています。

本機の概要

2

本書で使用しているオプションの表記

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
A0 ロールユニット RU6550 (RICOH MP CW2201 シリーズ用)	給紙部 2
A1 ロールユニット RU6560 (RICOH MP CW1201 シリーズ用)	給紙部 2
A0 ロールペーパーホルダー タイプ M23 (RICOH MP CW2201 シリーズ用)	ペーパーホルダー
A1 ロールペーパーホルダー タイプ M23 (RICOH MP CW1201 シリーズ用)	ペーパーホルダー
拡張データ変換ボード タイプ M23	拡張データ変換ボード
拡張無線 LAN ボード タイプ M19	拡張無線 LAN ボード
OCR 変換モジュール タイプ M13	OCR 変換モジュール
PS3 カード タイプ M23	PS3 カード
リコーキーカード タイプ M18	キーカード
課金用インターフェースボード タイプ M12	課金用インターフェースボード
キャリアシートタイプ T (A0 用)	キャリアシート
キャリアシートタイプ T (A1 用)	キャリアシート
キャリアシートタイプ T (A2 用)	キャリアシート
キャリアシートタイプ T (A3 用)	キャリアシート
リコー IC カード タイプ R1	リコー IC カード
リコー 個人認証 IC カード R/W タイプ R1A	IC カード R/W
個人認証デバイスキット タイプ M23	カードリーダー
リコー 個人認証カード タイプ R1-15	個人認証システム

オプションが必要な機能一覧

- コピー機能

機能	オプション
ドキュメントボックスに蓄積した文書のダウンロード	拡張データ変換ボード
回転ソート	給紙部 2

- プリンター機能

機能	オプション
PostScript 3	PS3 カード
ドキュメントボックスに蓄積した文書のダウンロード	拡張データ変換ボード

- スキャナー機能

機能	オプション
OCR テキスト情報付 PDF を作成する	OCR 変換モジュール

- その他

機能	オプション
無線 LAN 通信	拡張無線 LAN ボード
外部機器を使用した認証	IC カード R/W と個人認証システムとリコー IC カード
かんたんカード認証	カードリーダーとリコー IC カード

本体各部の名称とはたらき

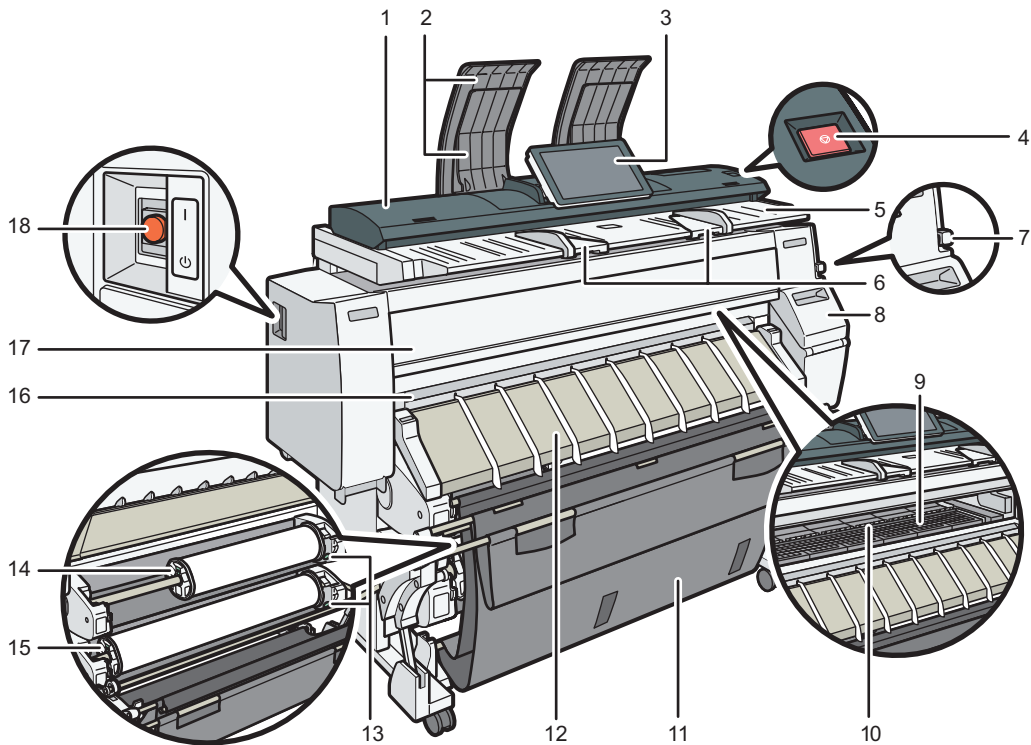
⚠ 注意



- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

2

本体前面



DNE001

1. 原稿カバー

原稿が詰まったときに開けます。

2. 原稿スタッカー

排出された原稿がスタックされます。

3. 操作部

P.26「操作部の名称とはたらき」を参照してください。

4. [原稿ストップ] キー

原稿がななめに送られたりつまったりしたときに押します。

5. 原稿テーブル

読み取る面を下にして原稿をセットします。

6. 原稿ガイド

原稿の幅に合わせてセットします。

7. 用紙固定レバー

給紙部や手差し給紙部の用紙を固定するレバーです。手差し給紙部からコピーや印刷するとき、または紙づまりを処理するときなどに、このレバーを使用します。

8. カートリッジカバー

インクカートリッジを交換するときに開けます。

9. プラテン

用紙を吸引して、浮き上がりを防止します。印刷した用紙の裏面が汚れるときは、ここを清掃してください。詳しくは、P.216「プラテンの清掃」を参照してください。

10. 手差し給紙部

手差し給紙部からコピーや印刷するとき、ここに用紙をセットします。用紙の印刷面を上にしてセットしてください。

11. 排紙バスケット

排出された用紙は、ここにスタックされます。用紙の大きさによってモードを変更してください。

12. 給紙部カバー

給紙部にロール紙をセットするときや、紙づまりを処理するときに開けます。

13. 巻き取りボタン

ロール紙をセットするときや、紙づまりを処理するときに押します。

14. 給紙部 1

ロール紙をセットします。

15. 給紙部 2

ロール紙をセットします。

16. 排紙部

印刷した用紙はここから排出されます。

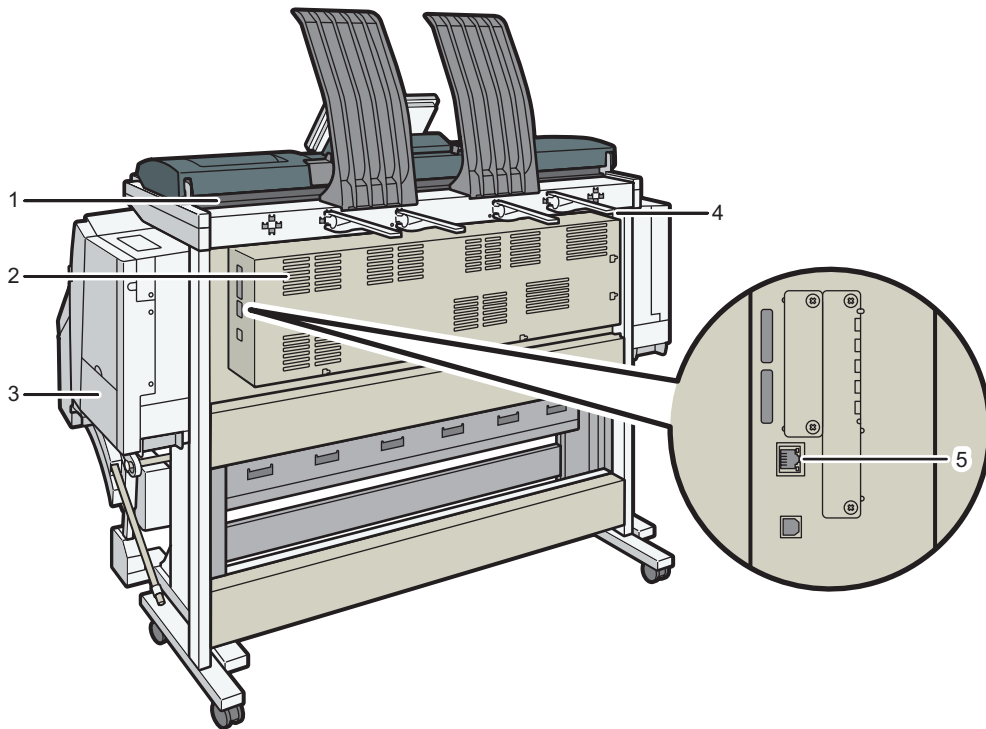
17. 前カバー

手差し給紙部のカバーです。手差し給紙部からコピーや印刷するとき、紙づまりを処理するとき、またはプラテンを清掃するときに開けます。

18. 主電源スイッチ

本機を使用するときは、電源を入れてください。電源を入れるときは、主電源スイッチを押します。P.82「主電源スイッチ」を参照してください。

本体背面



DNP023

1. 原稿排紙口

原稿が排出されます。

2. 通風孔

機械内部の温度上昇を防止します。

3. 廃インクボックスカバー

廃インクボックスを交換するときに開けます。メンテナンスで使用したインクは廃インクボックスにたまります。

4. 原稿排紙ガイド

後方に排出された原稿はここにスタックされます。

5. リモート管理サービス接続口

インターネット回線を利用したリモート管理サービス（RICOH @Remote）運用時に使用します。詳しくは、P.236「リモート管理サービスを利用する」を参照してください。

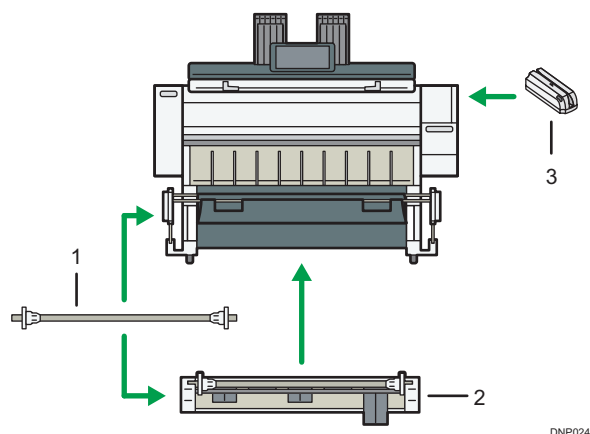
↓ 補足

- 機械内部の温度を下げるため通風孔内のファンの稼動が続くことがあります。

おもなオプションのはたらき

外部に取り付けるオプション

2



1. ペーパーホルダー

ロール紙 1 本を給紙部にセットするために使用します。種類やサイズの異なる用紙に素早く交換するには、ペーパーホルダーを別に用意し、セットしておくくと便利です。

2. 給紙部 2

ロール紙をセットします。

3. キーカード

部署ごとのコピー／プリンター使用量を記憶し、表示、集計する印刷量管理装置です。

↓ 補足

- キーカード装着時は、課金用インターフェースボードが必要です。

内部に取り付けるオプション

• PS3 カード

PostScript 3 による出力ができます。

• OCR 変換モジュール

サーチャブル PDF 機能を使用できます。

• 拡張無線 LAN ボード

無線 LAN でネットワークに接続できます。

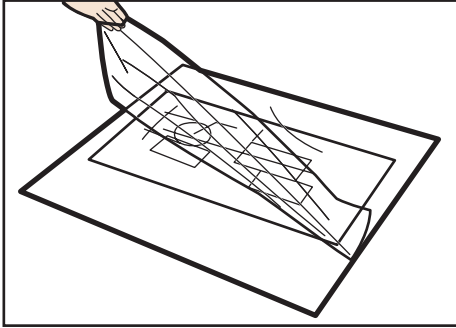
• 拡張データ変換ボード

蓄積した文書をダウンロードするときなどに必要です。

その他のオプション

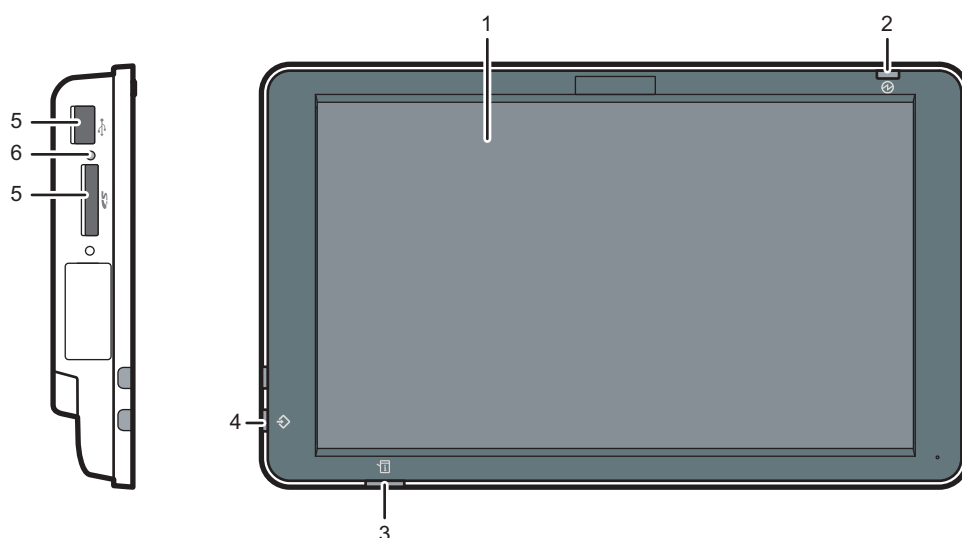
- キャリアシート

そり、破れ、耳折れなどがある原稿や、薄い原稿、貼り込みのある原稿をセットするときに使用します。



CBA051

操作部の名称とはたらき



DNE093

1. 画面

機能やアプリケーションのアイコン、操作画面、操作をするためのキーなどが表示されます。また、操作の状態やメッセージを表示します。P.42「ホーム画面の見かた」、P.52「各アプリケーション画面の見かた」を参照してください。

2. 主電源ランプ

電源が入っているときと、低電力モードのときに点灯します。スリープモード時は、ゆっくり明るくなったり暗くなったりします。

3. 状態確認ランプ

システムの状態を示します。エラーが起きたときやインク切れのときに点灯します。

4. データインランプ（プリンター機能）

プリンタードライバーからデータが送られてきたときに点滅します。

5. メディアスロット

携帯用の外部メディア（SD カードや USB メモリー）を差し込みます。

6. メディアアクセスランプ

メディアスロットに SD カードを差し込んでいると光ります。

↓ 補足

- 画面が見やすいように、操作部の角度を調整できます。詳しくは、P.27「操作部の角度を調整する」を参照してください。

操作部の角度を調整する

画面が見やすいように、操作部の角度を調整できます。

1. 操作部の両脇を持って、垂直方向の角度を調整します。



DNE006

↓ 補足

- 操作部は 55 度まで傾けることができます。

外部メディアを取り付ける/取り外す

⚠ 注意



- SD カード、USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カード、USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

★ 重要

- データ書き込み中には、本体の主電源スイッチを切らないでください。書き込み中のデータが破損することがあります。データ書き込み中にやむをえず本体の電源が切れてしまったときは、使用しているメディア内のデータを確認してください。
- 使用できる外部メディアは USB メモリーと SD カードです。ただし、すべての USB メモリーや SD カードで動作を保証するものではありません。推奨する外部メディアについてはリコーホームページ (http://www.ricoh.co.jp/mfp/support/media_slot.html) をご覧ください。
- 外部メディアは、FAT16 または FAT32 ファイルシステムでフォーマットされたものを使用してください。ほかのファイルシステムには対応していません。
- 外付けの USB ハブやカードリーダーなどは使用できません。
- 本機が外部メディアのデータにアクセスしている間は、本体の電源を切ったり、外部メディアを抜いたりしないでください。外部メディア内のデータが破損することがあります。
- 本機が外部メディアのデータにアクセスしている間に、本体の電源が切れたり、外部メディアが抜けたりしたときは、外部メディア内のデータを確認してください。
- 大切な文書やデータは、必ずコピーまたはバックアップしてください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が生じたりしたときに、文書やデータが消失することがあります。本機の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

↓ 補足

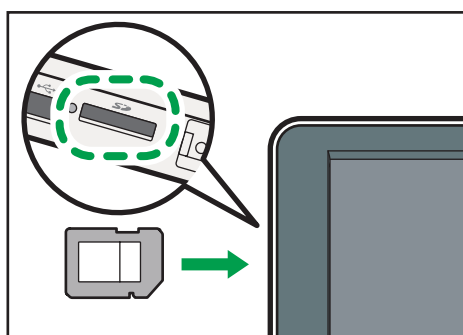
- SD カードを差し込んでもメディアアクセスランプが点灯しないときは、次のように対処してください。
 - SD カードをセットし直してください。
 - SD カードが壊れている可能性があります。SD カードのお買い上げ店などに相談してください。

SD カードを取り付ける

★重要

- 本機で使える SD カードは、32GB 以下の SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードです。SDXC メモリーカードは使用できません。
- SD カード挿入口には、SD カード以外のものを挿入しないでください。故障の原因になります。

1. SD カードの向きを確認し、メディアスロットに「カチッ」と音がするまでまっすぐ差し込みます。



DCH010

正しくセットできると、メディアアクセスランプが点灯します。

↓補足

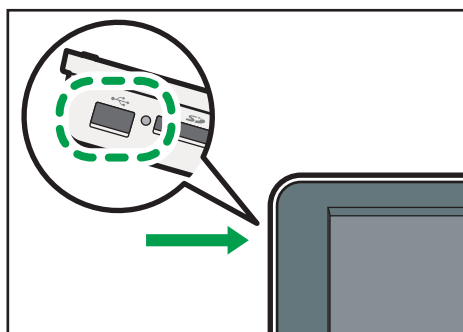
- SD カードのデータを読み込むとき、または SD カードにデータを書き込むとき、メディアアクセスランプが点滅します。

USB メモリーを取り付ける

★重要

- USB メモリーの種類によっては、使用できないことがあります。
- USB メモリーを取り付けるときは、延長ケーブルを使用しないで、メディアスロットに直接取り付けてください。
- 使用する USB メモリーがパスワード設定などのセキュリティー機能を有効にしているときは、正しく動作しないことがあります。
- USB メモリー挿入口には、USB メモリー以外のものを接続しないでください。故障の原因になります。

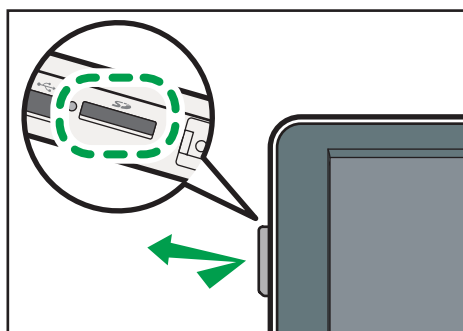
1. USB メモリーの向きを確認し、メディアスロットの奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。



DCH011

SD カードを取り外す

1. メディアアクセスランプが点滅していないことを確認します。
2. SD カードを軽く押してから離します。

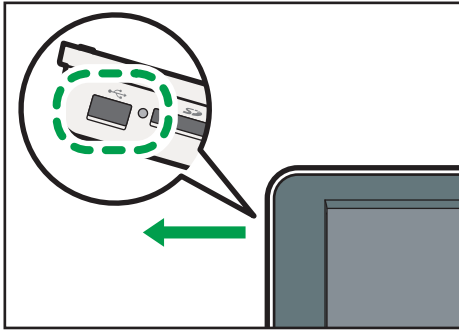


DCH012

3. SD カードをつまんで、ゆっくり引き抜きます。

USB メモリーを取り外す

1. USB メモリーをゆっくり引き抜きます。



DCH013

排紙バスケットをセットする

★重要

- 印刷する前に、排紙バスケットを広げてください。
- パイプは両手で操作してください。片手で操作するとパイプがはずれることがあります。
- 本機を暖房器具や冷房器具の近くに設置すると、用紙に風があたり、そろえて排出できないことがあります。
- インク使用量が多い画像や、ベタ刷り部分のある画像を印刷したときは、用紙にこしがなくなるため、そろえて排出できないことがあります。
- 印刷が終わるまで用紙を手で持たないでください。用紙がつまって故障の原因になります。
- 排紙部の近くを手やものでふさいだり、排紙バスケットにものを置いたりしないでください。用紙がつまって故障の原因になります。

印刷された用紙は、排紙バスケットに排出されます。排出された用紙は1枚ずつ排紙バスケットから取り出してください。

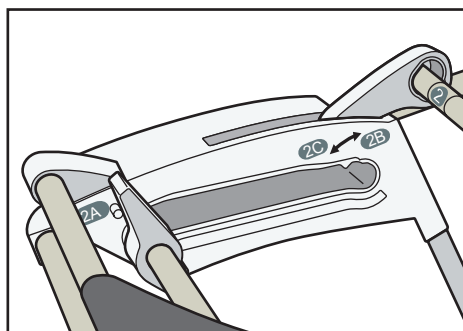
排紙バスケットのセット方法は、次の3種類があります。

イラストはパイプの位置を示しています。

• 標準モード

通常の印刷時は P.34 「標準モードにセットする」を参照して、標準モードにセットしてください。

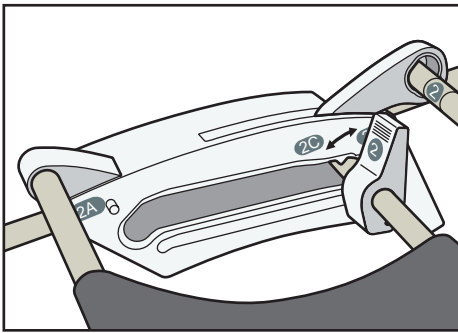
特殊紙や、A2 タテ以下の普通紙は必ず標準モードで印刷してください。



DNE062

• A0/A1 スタックモード

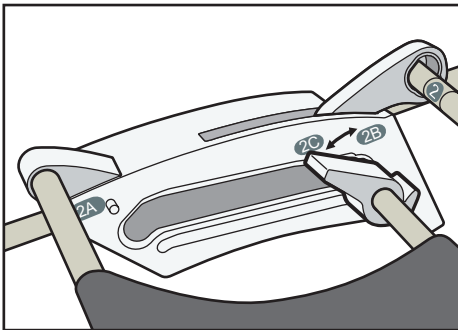
A0/A1 の普通紙をそろえて排出するときは P.35 「A0/A1 スタックモードにセットする (RICOH MP CW2201 シリーズ)」を参照して、A0/A1 スタックモードにセットしてください。



DNE063

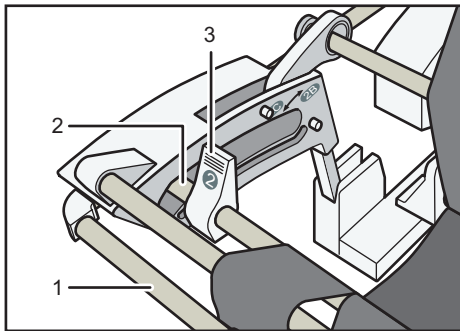
• A1/A2 ヨコ スタックモード

A1/A2 ヨコの普通紙をそろえて排出するときは P.38 「A1/A2 ヨコ スタックモードにセットする」を参照して、A1/A2 ヨコ スタックモードにセットしてください。



DNE064

排紙バスケットの部位の名称



DNE066

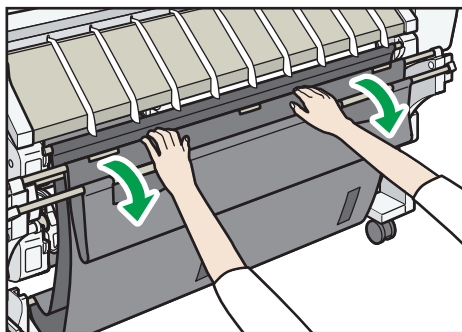
1. パイプ 1
2. パイプ 2
3. レバー

排紙バスケットのモードを変更するときに操作します。

標準モードにセットする

通常の印刷時は標準モードにセットします。

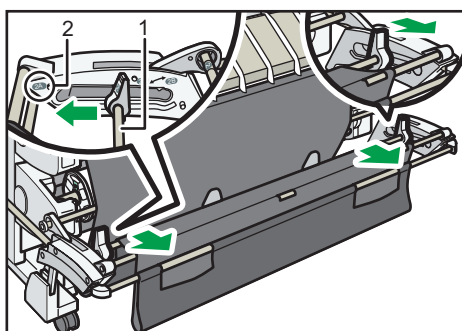
1. 閉じている排紙バスケットを手前に倒します。



DNE067

2. パイプ 2 を 2A に移動します。

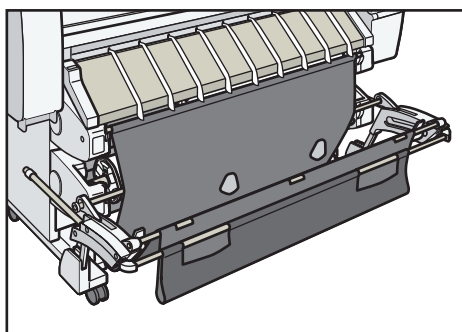
パイプ 2 の両端を持ってください。



DNE122

1. パイプ 2

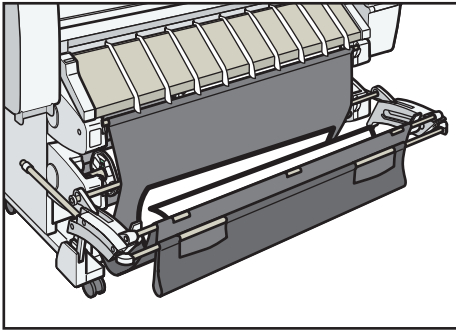
2. 2A



DNE068

この状態で印刷を実行します。

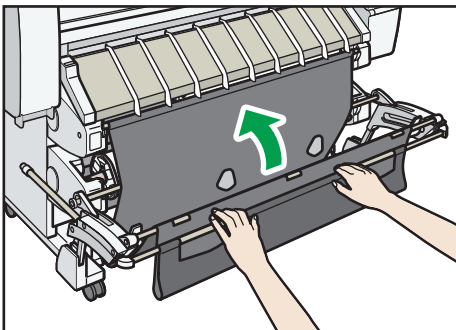
印刷した用紙は、イラストのように排紙されます。



DNE124

排紙バスケットを閉じる

1. バスケットを本体側に折りたたみます。

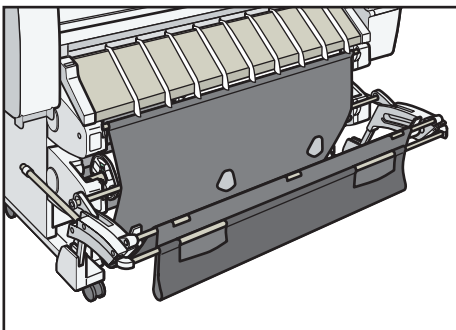


DNE069

A0/A1 スタックモードにセットする (RICOH MP CW2201 シリーズ)

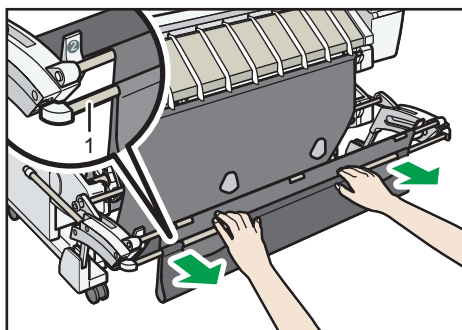
A0/A1 の普通紙をそろえて排出するときは、A0/A1 スタックモードにセットします。

1. 排紙バスケットが標準モードになっていることを確認します。



DNE068

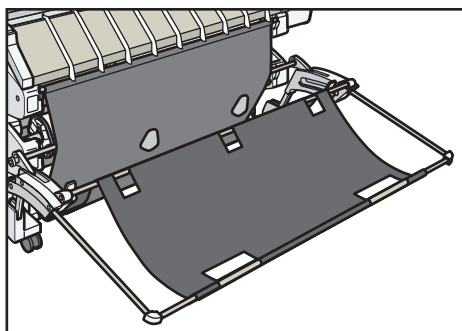
2. パイプ 1 を止まるまでゆっくりと水平に引き出します。



DNE070

1. パイプ 1

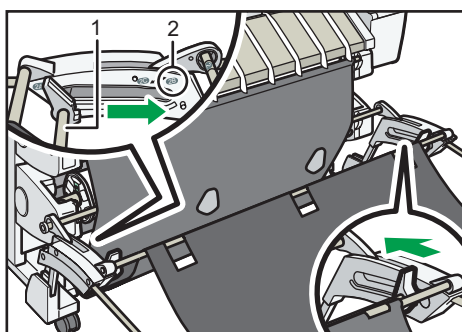
排紙バスケットが水平に固定されます。



DNE071

3. パイプ 2 を 2B に移動します。

パイプ 2 の両端を持ってください。

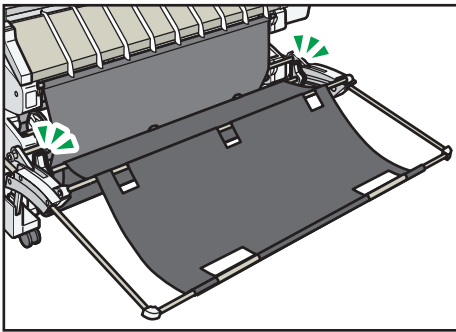


DNE096

1. パイプ 2

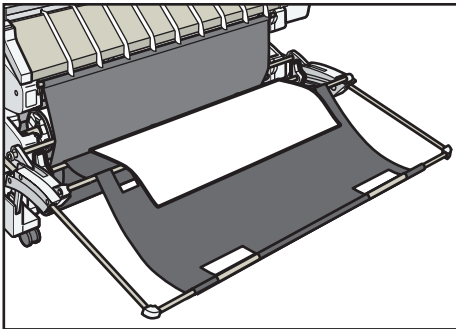
2. 2B

パイプ 2 を、「カチッ」と音がするまで移動します。



DNE097

この状態で印刷を実行します。
印刷した用紙は、イラストのように排紙されます。

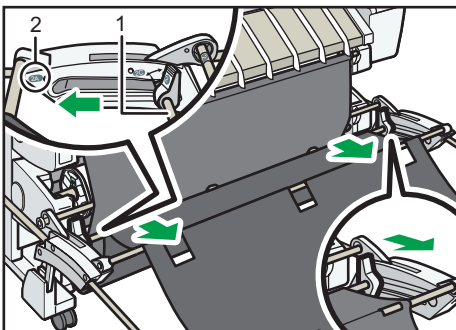


DNE125

排紙バスケットを元の状態に戻す

1. パイプ 2 を 2A に移動します。

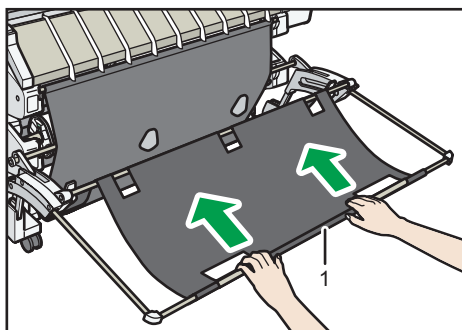
パイプ 2 の両端を持ってください。



DNE098

1. パイプ 2
2. 2A

2. パイプ 1 を止まるまでゆっくりと水平に押し込みます。



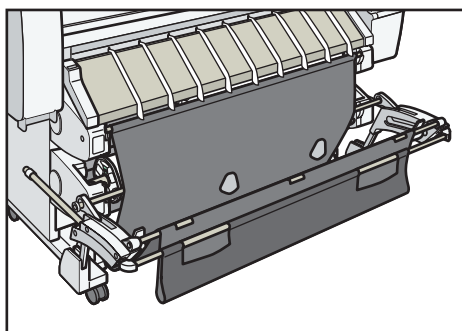
DNE072

1. パイプ 1

A1/A2 ヨコ スタックモードにセットする

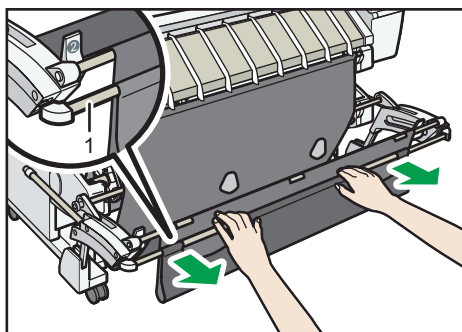
A1/A2 ヨコの普通紙をそろえて排出するときは、A1/A2 ヨコ スタックモードにセットします。

1. 排紙バスケットが標準モードになっていることを確認します。



DNE068

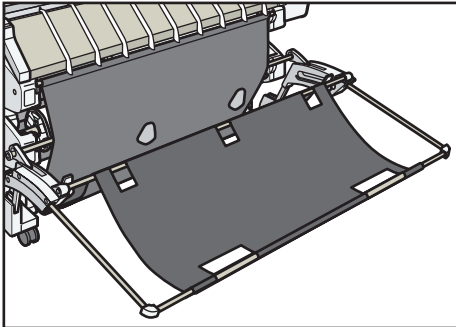
2. パイプ 1 を止まるまでゆっくりと水平に引き出します。



DNE070

1. パイプ 1

排紙バスケットが水平に固定されます。

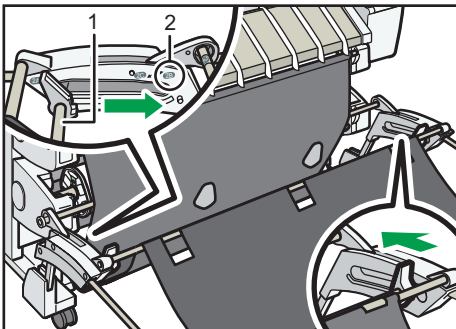


DNE071

3. パイプ 2 を 2B に移動します。

パイプ 2 の両端を持ってください。

パイプ 2 を、「カチッ」と音がするまで移動します。

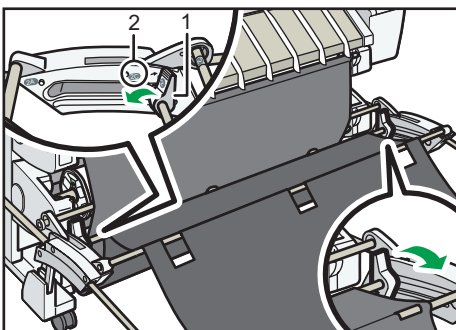


DNE096

1. パイプ 2

2. 2B

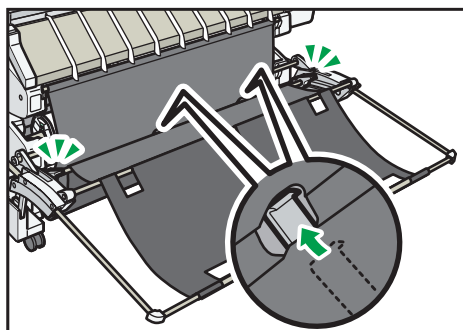
4. レバーを 2C に倒します。



DNE099

1. レバー

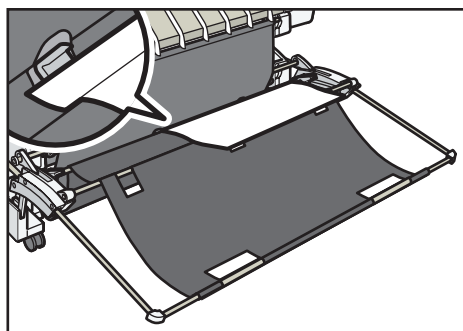
2. 2C



DNE100

この状態で印刷を実行します。

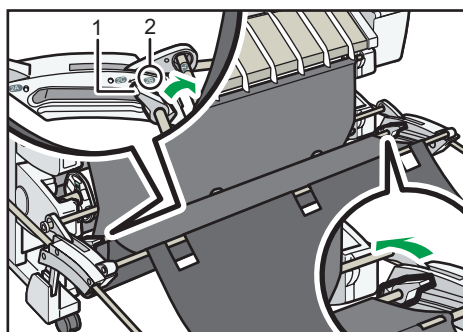
印刷した用紙は、イラストのように排紙されます。



DNE126

排紙バスケットを元の状態に戻す

1. レバーを 2B に倒します。



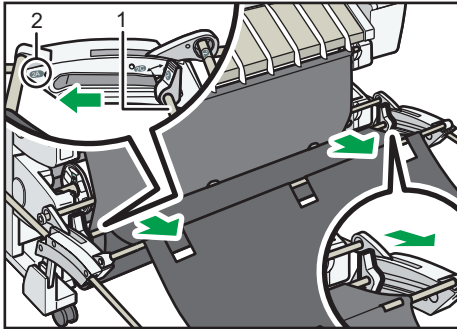
DNE121

1. レバー

2. 2B

2. パイプ 2 を 2A に移動します。

パイプ 2 の両端を持ってください。

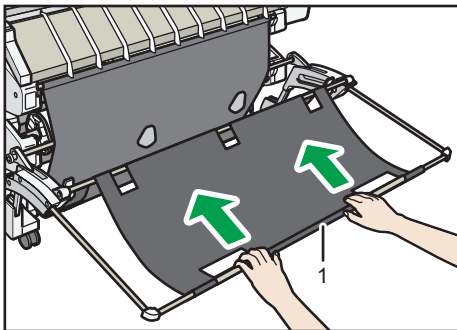


DNE098

1. パイプ 2

2. 2A

3. パイプ 1 を止まるまでゆっくりと水平に押し込みます。



DNE072

1. パイプ 1

ホーム画面の見かた

工場出荷時の設定では、電源を入れたときにホーム画面が表示されます。

ホーム画面には、各機能のアイコンが表示されます。また、いつも使用する機能や Web ページをショートカットアイコンとして登録したり、言語切り替えなどのウィジェットを登録したりできます。ホーム画面や各機能の画面で表示される内容はオプションの有無によって異なります。

ホーム画面を表示するときは、画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

★重要

- 画面に強い衝撃や力を加えないでください。破損の原因になります。約 30N (約 3kgf) が限界です。(N はニュートンです。kgf は重量キログラムです。1kgf は約 9.8N です。)

ホームには、「ホーム画面 1」から「ホーム画面 5」までの 5 つの画面があります。[ホーム] (🏠) を押すと表示される画面は「ホーム画面 3」です。

画面を切り替えるには、画面に指をのせたまま、指を右または左に素早く移動します。この動作を「フリック」といいます。



1. ログインアイコン

認証機能を設定しているときにログインすると、アイコンが表示されます。アイコンを押すと、本機にログインしているログインユーザー名が表示されます。

2. 機能キー

P.46「機能キーを使用して機能を切り替える」を参照してください。

3. システムメッセージ

システムやアプリケーションからのメッセージが表示されます。

4. [ログイン] / [ログアウト]

認証機能を設定しているときに表示されます。[ログイン] を押すと、ログイン画面が表示されます。すでにログインしているときは、[ログアウト] が表示されます。[ログアウト] を押すと、本機からログアウトします。

ログイン、ログアウトの方法については、P.73「ログイン画面が表示されたとき」を参照してください。

5. [省エネ]

スリープモードまたは低電力モードの状態になります。詳しくは、P.83「節電」を参照してください。

6. アプリケーション一覧

アプリケーション一覧画面を表示します。

[ウィジェット] タブと [プログラム] タブに表示されるアプリケーションは、ホーム画面にショートカットを登録すると使用できます。詳しくは、P.171「ホーム画面をカスタマイズする」を参照してください。

7. 画面切り替え

ホーム画面を切り替えます。画面の左下、または右下に表示される丸の数は、現在の画面の左または右にある画面の数を示しています。ホーム画面3が表示されているときは、左右に2個ずつ丸が表示されます。

8. [ストップ]

原稿の読み取りや出力紙の印刷を中断します。

9. [メニュー]

使用しているアプリケーションのメニュー画面を表示します。アプリケーションによっては機能しません。

ホーム画面でこのキーを押すと、ホーム画面を工場出荷時の状態に戻すことができます。

10. [ホーム]

ホーム画面を表示するときに押します。

11. [リターン]

操作部初期設定の画面やアプリケーションの画面などで、ひとつ前の画面に戻るときに押します。アプリケーションによっては有効または無効を選択できます。

12. [状態確認]

本機の状態、各機能の状態、実行中ジョブの状態を確認できます。ジョブ履歴や本機の保守情報を確認することもできます。

13. アイコン表示エリア

アプリケーションのアイコンやウィジェットが表示されます。ホーム画面によって表示されるアイコンが異なります。画面ごとに表示されるアイコンについては、P.44「ホーム画面に表示される主なアイコン」を参照してください。

ショートカットを登録したり、フォルダーを作成してアイコンを整理したりすることもできます。詳しくは、P.171「ホーム画面をカスタマイズする」を参照してください。

補足






- ホーム画面の壁紙を変更できます。詳しくは、P.175「壁紙を変更する」を参照してください。
- 各アプリケーションを使用するときは、ホーム画面のアイコンを押してアプリケーションを切り替えます。機能キーを押して切り替えることもできます。


- 画面共通で表示されるキーについては、P.52「本体初期設定画面と基本アプリケーション画面に表示されるキー」を参照してください。
- 次の状態のとき、機能の切り替えはできません。
 - スキャナー機能で文書を読み取っているとき
 - 次の画面が表示されているとき
 - 本体初期設定
 - カウンター
 - 問い合わせ情報
 - アドレス帳管理
 - 用紙設定
 - 実行中ジョブ/ジョブ履歴
- 工場出荷時の設定では、電源を入れたときにホーム画面が表示されます。この設定は[優先機能設定]で変更できます。『ネットワークの接続/システム初期設定』『操作部初期設定』を参照してください。

ホーム画面に表示される主なアイコン










工場出荷時、ホーム画面に登録されている主なアイコンは次のとおりです。

ホーム画面 3

アイコン	概要
コピー 	コピー機能の画面を呼び出すときに押します。 コピー機能の使いかたは、『コピー/ドキュメントボックス』を参照してください。
スキャナー 	スキャナー機能の画面を呼び出すときに押します。 スキャナー機能の使いかたは、『スキャナー』を参照してください。
プリンター 	本機をプリンターとして使用するための設定を変更するときに押します。 プリンター機能の設定方法は、『プリンター』を参照してください。
ドキュメントボックス 	本機に文書を保存したり、保存した文書を印刷したりするときに押します。 ドキュメントボックス機能の使いかたは、『コピー/ドキュメントボックス』を参照してください。
操作部ブラウザ 	Web ページを表示するときに押します。詳しくは、P.185「ブラウザ機能を使用する」を参照してください。

アイコン	概要
システムメッセージウィジェット 	システムやアプリケーションからのメッセージが表示されます。

ホーム画面 4

アイコン	概要
やさしくコピー 	やさしくコピーの画面を呼び出すときに押します。 やさしくコピーの使いかたは、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』を参照してください。
やさしくスキャナー 	やさしくスキャナーの画面を呼び出すときに押します。 やさしくスキャナーの使いかたは、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』を参照してください。
かんたん文書印刷 	かんたんに文書を印刷できます。 詳しくは、『プリンター』『かんたん文書印刷を使用する』を参照してください。
メディアプリント&スキャン 	外部メディアに保存したデータを読み取って本機で印刷したり、本機で読み取った画像データを外部メディアに保存できます。 詳しくは、『プリンター』『メディアプリント&スキャンを使用する』を参照してください。
使用説明書 	本機の使用説明書を表示するときに押します。
アドレス帳管理 	アドレス帳を表示するときに押します。 アドレス帳の使いかたは、『ネットワークの接続/システム初期設定』『アドレス帳』を参照してください。
初期設定 	本体初期設定画面を表示するときに押します。
言語切り替えウィジェット 	画面に表示する言語を切り替えるときに押します。
サプライ残量表示ウィジェット 	インクの残量が表示されます。

ホーム画面 5

アイコン	概要
Embedded Software Architecture アプリケーション 	Embedded Software Architecture がインストールされていると、アプリケーション固有のアイコンが表示されます。

ホーム画面には、使用状況に応じて好きなアイコンを登録できます。アイコンをホーム画面に登録する方法については、P.172「アイコンをホーム画面に追加する」を参照してください。

プリンター情報確認は、工場出荷時の設定ではホーム画面にアイコンが表示されません。プリンター情報確認については、『プリンター』『プリンター情報確認でプリンターの状況を確認する』を参照してください。

機能キーを使用して機能を切り替える

2

画面上部の機能キーを押して機能を切り替えられます。



DNP006

1. 機能キー

機能キーは、操作部初期設定で機能キーが有効になっているときに使用できます。操作部初期設定については、『ネットワークの接続/システム初期設定』『操作部初期設定』を参照してください。

機能キーに割り当てる機能は、次のように設定できます。

1. 画面中央下の【ホーム】(🏠)を押します。
2. 左にフリックし、【初期設定】アイコン(⚙️)を押します。
3. 【操作部初期設定】を押します。
4. 【操作部機器設定】を押します。
5. 【機能キー設定】を押します。
6. 【機能キー 1】、【機能キー 2】、【機能キー 3】から、機能を割り当てる機能キーを選択します。
7. 【割り当て機能】を押します。
8. 割り当てる機能を一覧から選択します。
9. 【表示名称】を押します。
10. 機能キーに表示する名称を入力します。

11. [OK] を押します。

12. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

機能キーに機能が登録されます。

操作部ブラウザー画面

2

本機にインストールされている Web ブラウザーを使用して、Web ページを閲覧できます。あらかじめ、操作部初期設定でネットワークの設定をしてください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』『操作部初期設定』を参照してください。操作部ブラウザーを起動するには、[操作部ブラウザー] アイコンを押します。



DNP009



DNP010

1. タブ

表示するタブを切り替えます。タブを押すと、アドレスバーが表示されます。

2. アドレスバー

Web ページのアドレスが表示されます。アドレスバーを押して、表示したい Web ページのアドレスを入力することもできます。

3. メニュー

画面中央下の [メニュー] (☰) を押すと表示されます。

4. 再読み込み/停止

表示している画面を再度読み込みます。

ページを読み込んでいるときは、[停止] が表示されます。

5. 進む

画面中央下の [リターン] (⏮) を押す前に表示していた Web ページを再び表示します。

6. 新しいタブ

新しいタブを開きます。

7. 新しいシークレットタブ

ブラウザの履歴と検索履歴に残らないタブを開きます。

8. ページを共有

ほかのデバイスと Web ページを共有します。

9. ページ内を検索

入力したキーワードを検索します。

10. デスクトップ版サイトをリクエストする

表示している Web ページを、モバイル版からパソコン版に切り替えます。

11. オフラインで読めるよう保存

オフラインでも Web ページを閲覧できるように保存します。

12. ページ情報

閲覧している Web ページの URL やサーバー証明書が表示されます。

13. 印刷

原稿サイズなど、印刷条件を設定します。詳しくは、P.186 「Web ページを印刷する」を参照してください。

14. PDF ファイル保存

Web ブラウザーに表示した PDF を、SD カードまたは USB メモリーに保存します。詳しくは、P.187 「Web ページ上の PDF ファイルを保存する」を参照してください。

15. 設定

ブラウザの表示やセキュリティ関連の項目を設定します。設定項目については、P.189 「操作部ブラウザの設定」を参照してください。

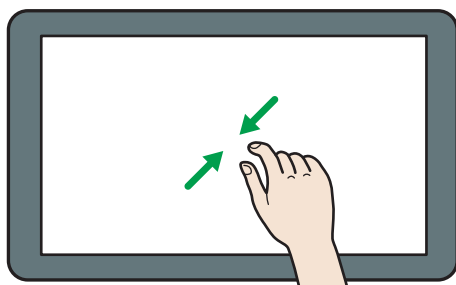
↓ 補足

- Web ブラウザーで外部サーバーにアクセスするときの注意事項については、P.185 「ブラウザ機能のセキュリティを確認する」を参照してください。

やさしくシリーズの操作画面で実行できる操作

- ピンチイン

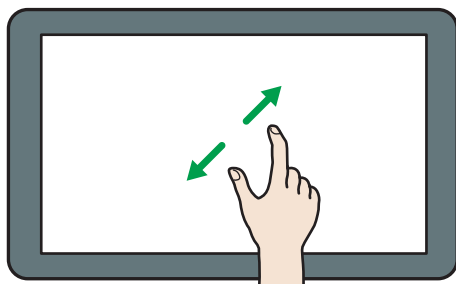
画面に親指と人差し指をのせて、2本の指でつまみます。画面を縮小できます。画面を素早く2回押しても、この操作ができます。



DNE103

- ピンチアウト

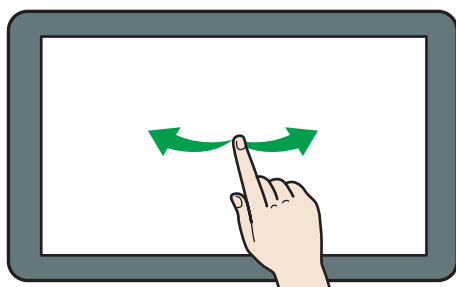
画面に親指と人差し指をのせて、2本の指で押し広げます。画面を拡大できます。画面を素早く2回押しても、この操作ができます。



DNE104

- フリック

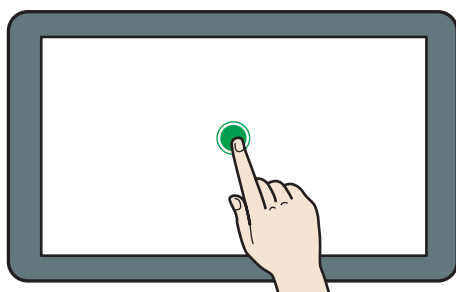
画面に指をのせたまま、指を右または左に素早く移動します。画面を切り替えられます。



DNE102

- 長押し

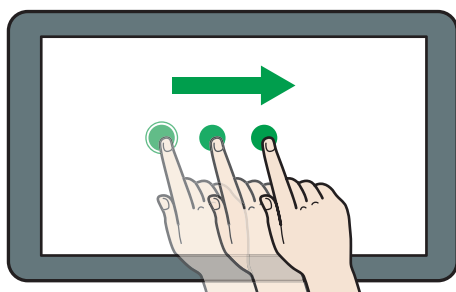
画面を指先で次の画面が表示されるまで押します。他のメニューを呼び出すことができます。



DNE101

- ドラッグ

画面を指先で押したまま、指を移動します。アイコンを移動させることができます。




DNE111

↓ 補足

- これらの操作は、ブラウザー画面や文字入力画面（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）でも実行できます。

表示言語を切り替える


1. 画面中央下の【ホーム】（）を押します。
2. 左にフリックし、言語切り替えウィジェットを押します。
3. 目的の言語を選択します。
4. 【OK】を押します。

↓ 補足

- 表示する言語は5つまで登録できます。[切り替え言語選択] については、『ネットワークの接続/システム初期設定』『操作部初期設定』を参照してください。

画面の明るさを調整する

次の手順で画面の明るさを調整できます。

1. 画面中央下の【ホーム】（）を押します。

2. 左にフリックし、[初期設定] アイコン (⚙️) を押します。
3. [操作部初期設定] を押します。
4. [ディスプレイ] を押します。
5. [画面の明るさ] を押します。
6. 目盛りをドラッグして画面の明るさを調整します。
より明るくするためには、目盛りを右にドラッグします。
7. [OK] を押します。
8. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

システムリセット

一定時間何も操作しないと、[優先機能設定] で設定した機能の画面に自動的に切り替えます。これを「システムリセット」といいます。[優先機能設定] の設定方法は『ネットワークの接続/システム初期設定』『操作部初期設定』を参照してください。

システムリセットされるまでの時間を [システムオートリセット時間設定] で設定できます。『ネットワークの接続/システム初期設定』『時刻タイマー設定』を参照してください。

各アプリケーション画面の見かた

各機能では、基本アプリケーション画面、かんたんアプリ画面、やさしくシリーズの操作画面の3種類の画面を使用できます。

基本アプリケーション画面

よく使用する機能や設定のほか、応用的な機能や詳細設定などが選択できます。画面の見かたについては、P.55「コピー機能の画面」、P.55「ドキュメントボックス機能の画面」、P.60「プリンター機能の画面」、P.61「スキャナー機能の画面」を参照してください。

やさしくシリーズの操作画面

トップ画面によく使用する機能や設定が表示されます。画面を上下にフリックして設定項目を選択できます。項目を選択すると、プルダウンメニューが表示されたり、設定画面がポップアップしたりします。この画面でできる操作については、P.48「やさしくシリーズの操作画面で実行できる操作」を参照してください。画面の見かたについては、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』『やさしくシリーズの操作画面の使いかた』を参照してください。

かんたんアプリ画面

宛名を選択して送信など、基本的な操作を簡単に設定できます。画面の見かたについては、P.71「かんたんアプリ画面の見かた」を参照してください。

各操作画面で利用できる機能

画面名	利用できる機能
基本アプリケーション画面	<ul style="list-style-type: none"> • コピー • スキャナー • プリンター • ドキュメントボックス
やさしくシリーズの操作画面	<ul style="list-style-type: none"> • コピー • スキャナー
かんたんアプリ画面	スキャナー

↓ 補足

- かんたんスキャナーは、工場出荷時の設定ではホーム画面にアイコンが表示されません。ホーム画面にアイコンを登録する方法は、P.172「アイコンをホーム画面に追加する」を参照してください。

本体初期設定画面と基本アプリケーション画面に表示されるキー

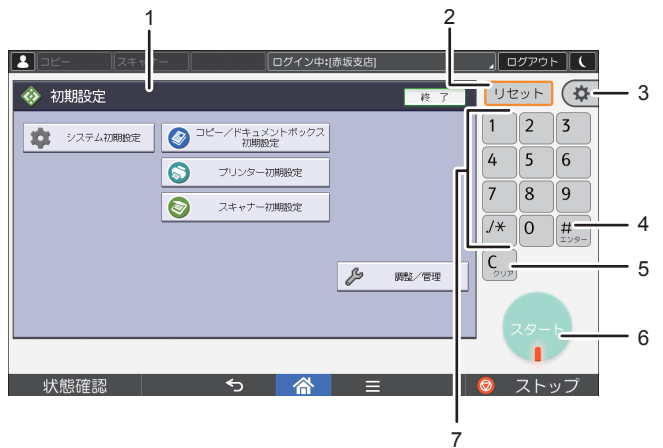
画面には、操作の状態、メッセージや機能のメニューが表示されます。

表示されているそれぞれの機能項目は、軽く押すことによって、項目を選んだり指定したりできます。

機能項目が選択、または指定されたとき、**用紙指定完了**のように反転表示されます。機能項目が選択、または指定できないときは、**用紙指定不可**のようにうすく表示されます。

ホーム画面3でコピー機能やスキャナー機能などのアイコンを押すと、各機能の操作画面が表示されます。

本体初期設定画面



DNP007

基本アプリケーションの画面



DNP008

1. 操作画面

各機能の画面が表示されます。各画面の説明については、P.52「各アプリケーション画面の見かた」を参照してください。

2. [リセット]

設定した内容を取り消します。

3. [初期設定]

次の項目を使用できます。

- 操作部初期設定

操作部に搭載された OS の設定を変更します。『ネットワークの接続/システム初期設定』『操作部初期設定』を参照してください。

- 本体初期設定

本機のシステム設定を変更するときに押します。コピー、ドキュメントボックス、スキャナー機能の設定も変更できます。『ネットワークの接続/システム初期設定』『初期設定を変更する』を参照してください。

- カウンター

印刷した用紙の合計枚数を表示、印刷します。P.220 「カウンター」を参照してください。

- 問い合わせ情報

機械の修理や消耗品の発注の連絡先を確認できます。連絡先を出力することもできます。

- アドレス帳管理

アドレス帳を表示するときに押します。

- 用紙設定

給紙部や用紙の設定をします。

4. [#] (エンター)

入力した数値や指定を確定します。

5. クリア

入力した数値を取り消します。

6. [スタート]

原稿の読み取りや出力紙の印刷や送信を開始します。

7. テンキー

印刷枚数などの数字を入力します。

8. [試しコピー]

複数部数をコピーまたは印刷するときに、1 部だけ出力し、仕上がりを確認できます。『コピー/ドキュメントボックス』『試しコピー』を参照してください。

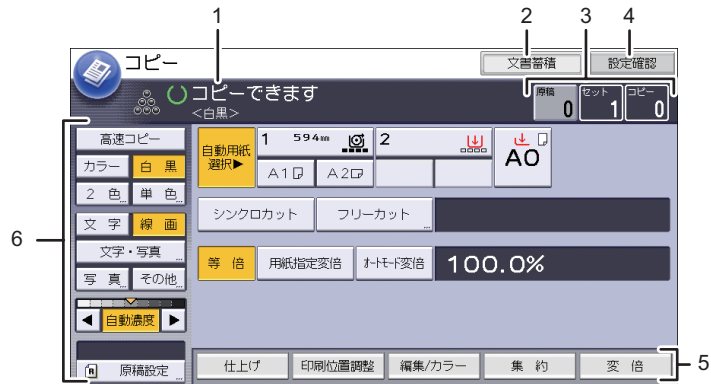
9. [簡単画面]

画面を簡単画面に切り替えます。P.70 「画面パターンを切り替える」を参照してください。

10. [プログラムの呼び出し/登録/変更]

よく使用する設定をプログラムとして登録したり、呼び出したりします。P.159 「よく使用する設定を登録する」を参照してください。

コピー機能の画面



DNP011

1. 操作の状態、メッセージ

操作の状態やメッセージが表示されます。

2. [文書蓄積]

ドキュメントボックスに文書を蓄積します。


3. 原稿、セット、コピー

メモリーで読み取った原稿枚数、セットした枚（部）数、コピーした枚（部）数が表示されます。

4. [設定確認]

設定内容を確認できます。

5. 機能項目

機能項目の1つを押すと、次の画面が表示されます。たとえば[変倍]を押すと変倍の画面に切り替わります。現在選択されている機能のキーには、が表示されます。

6. 原稿と読み取りの設定

原稿種類、カラーモード、コピー濃度、特殊原稿について選択できる内容が表示されます。

ドキュメントボックス機能の画面

ドキュメントボックスに蓄積した文書は、フォルダーで管理できます。

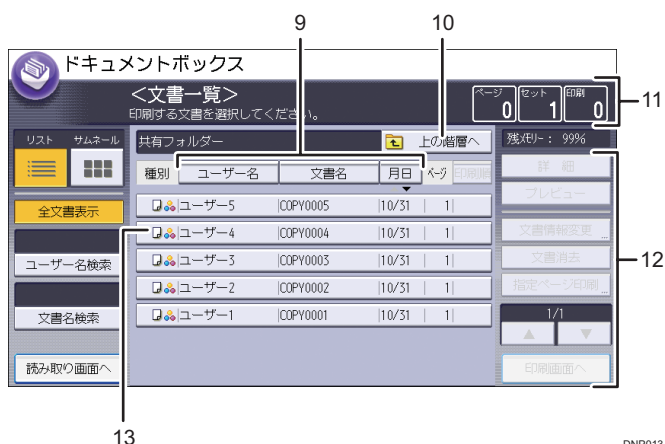
各フォルダーのキーを押すと、フォルダー内の文書一覧が表示されます。

フォルダー一覧画面



DNP012

文書一覧画面



DNP013

1. 画面タイトル

現在選択されている画面のタイトルが表示されます。

2. 操作の状態、メッセージ

操作の状態やメッセージが表示されます。

3. [番号]、[フォルダー名称]、[作成日時]

フォルダーを [番号]、[フォルダー名称]、[作成日時] ごとにソートできます。ソートする項目を押してください。同じ項目をもう一度押すと、昇順と降順が切り替わります。

4. [フォルダー新規作成]

フォルダーを新規作成するときに押します。

5. [フォルダー編集]

フォルダーの名前やパスワードを変更したり、フォルダーを削除したりするときに押します。

6. フォルダーキー

フォルダー内の蓄積文書一覧を表示するときに押します。パスワードが設定されているフォルダーには、フォルダー名称の左横に鍵のマーク (🔒) が表示されます。

7. 文書検索用キー

目的のフォルダーや文書を検索する画面と、すべての文書が表示される画面とを切り替えます。

8. リスト、サムネール

表示方法を、リストまたはサムネールに切り替えます。

9. [ユーザー名]、[文書名]、[月日]

文書を [ユーザー名]、[文書名]、[月日] ごとにソートできます。ソートする項目を押してください。同じ項目をもう一度押すと、昇順と降順が切り替わります。

10. [上の階層へ]

フォルダー一覧画面を表示するときに押します。

11. ページ、セット、印刷

メモリーで読み取った原稿枚数、出力される枚 (部) 数、出力した枚 (部) 数が表示されます。

12. 操作キー



蓄積した文書进行操作するときに使用します。





一覧をすべて表示しきれないときは、[▲] または [▼] を押して表示を切り替えます。

13. アイコン

蓄積した機能が表示されます。パスワードが設定されている文書には、鍵のマーク (🔒) が表示されます。

文書一覧画面では、蓄積した機能とカラーモードによって、次のアイコンが表示されます。

機能	アイコン
コピー	
プリンター	

カラーモード	アイコン
フルカラー	
白黒	
単色	
2色	

サムネール画面

サムネール画面では蓄積文書のイメージが縮小されて表示されるため、文書一覧画面で文書を確認するのに便利です。



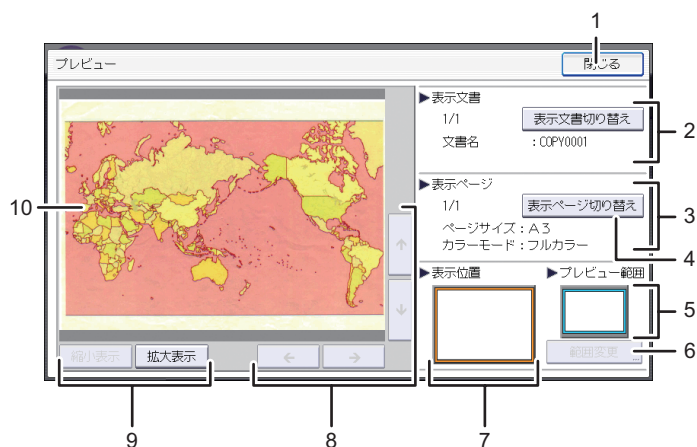
↓ 補足

- セキュリティー機能の設定によっては、すべての蓄積文書が表示されないことがあります。
- スキャナー機能で蓄積した文書の一覧については、P.64 「蓄積文書指定」画面」を参照してください。
- サムネール画面は、A2 サイズまでのイメージを表示できます。

ドキュメントボックス機能の「プレビュー」画面

プレビュー画面とは、読み取った文書の内容を確認できる画面です。

プレビュー画面を表示するには、文書一覧画面でプレビューする文書を選択し、[プレビュー] を押します。



DNP014

1. [閉じる]

プレビュー画面を閉じます。

2. 表示文書

文書名が表示されます。

蓄積文書のプレビュー画面では「表示文書切り替え」が表示されます。複数の文書を選択してプレビュー表示したときに表示される文書を切り替えます。

3. 表示ページ

表示ページ番号と総ページ数、ページサイズ、カラーモードが表示されます。

4. 「表示ページ切り替え」

選択した文書の表示ページを変更します。

5. プレビュー範囲

A2 より大きな原稿を蓄積したときは、プレビュー画面の位置指定で表示の切り出しができません。

6. 「範囲変更」

プレビュー範囲を変更できます。

7. 表示位置

画像を拡大したときに、プレビューに表示されている画像の位置を示します。

8. 「←」 「→」 「↑」 「↓」

表示する部分を移動します。

9. 「縮小表示」、 「拡大表示」

文書を縮小または拡大して表示します。

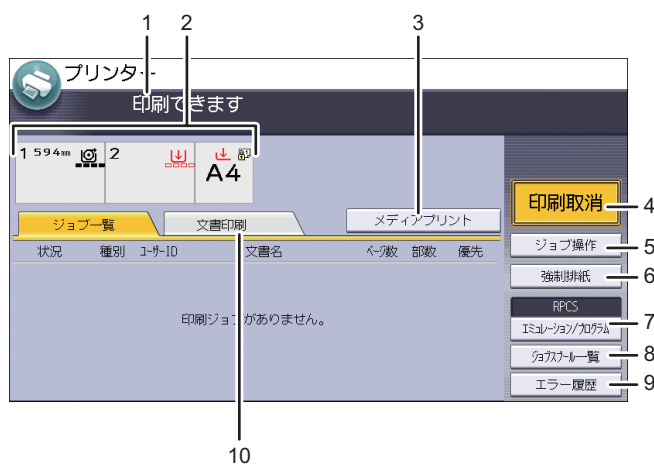
10. プレビュー画像

読み取った文書の画像が表示されます。軽く2回押すと、画像を拡大できます。拡大した画像を軽く押すと、押したところを中心となるように画像を移動できます。A2 より大きな画像を蓄積したときは、プレビュー範囲で指定された範囲の画像を対象に、画像の拡大と移動ができます。

↓ 補足

- 他機能でプレビューを選択しているときに、プレビュー画面機能が利用できないことがあります。
- 画像ファイルが壊れたときはプレビュー表示されません。画像ファイルが壊れているときは、蓄積し直してください。
- プレビュー可能な最大画像サイズは、914.4×1219.2mm です。

プリンター機能の画面



DNP015

1. メッセージ表示部

操作の状態やメッセージが表示されます。

印刷中はジョブ情報（ユーザー ID と文書名）が表示されます。

2. 給紙部表示

現在選択されている給紙部が、反転表示されます。

ただし、[エミュレーション/プログラム] で RPCS や PS3、PDF を選択しているときは、反転表示されません。

3. [メディアプリント]

メディアプリント機能で印刷する画面に切り替えます。

4. [印刷取消]

印刷している文書の受信データを消去し、印刷を中止します。

ヘキサダンプに設定しているときに押すと、ヘキサダンプを解除します。

5. [ジョブ操作]

印刷中のジョブを一時停止します。ジョブの詳細を確認したり、ジョブを削除したりできます。

6. [強制排紙]

印刷されないまま本機内に残っているデータを、強制的に印刷して排紙します。

7. [エミュレーション/プログラム]

エミュレーション/プログラムを呼び出したり、登録または削除したりする画面に切り替えます。

8. [ジョブスプール一覧]

スプールされたジョブの状態を表示する画面に切り替えます。

ジョブスプール印刷を有効にすると、反転表示されます。

9. [エラー履歴]

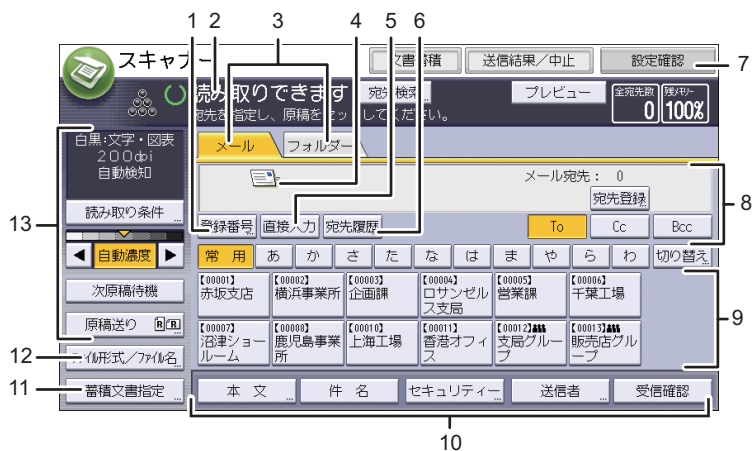
パソコンから指定した通常印刷や、試し印刷/機密印刷/保留文書印刷/保存文書印刷などでエラーが発生したとき、履歴を表示する画面に切り替えます。

10. [文書印刷]

パソコンから指定した通常印刷や、試し印刷文書/機密印刷文書/保留印刷文書/保存文書を印刷する画面に切り替えます。

スキャナー機能の画面

メール送信画面



DNP016

1. [登録番号]

送信先を 5 桁の登録番号で指定するときに押します。

2. 操作の状態、メッセージ

操作の状態やメッセージが表示されます。

3. メール/フォルダー

メール送信画面とフォルダー送信画面を切り替えるときに押します。

- **メール** (メール) を選択しているときは、メール宛先を指定できます。
- **フォルダー** (フォルダー) を選択しているときは、フォルダー宛先を指定できます。

また、同じ文書をメール送信とフォルダー送信の両方の宛先へ、同時に送るときに切り替えます。

4. メール送信アイコン

メール送信画面であることを示すアイコンです。

5. [直接入力]

アドレス帳に登録されていない送信先を指定するときは、ここを押してメールアドレスを入力します。

6. [宛先履歴]

[直接入力] で指定した宛先を選択できます。宛先履歴が複数あるときは、[▲] または [▼] を押すと、宛先が順に表示されます。

7. [設定確認]

設定内容を確認できます。

8. 送信先表示欄

指定した送信先が表示されます。送信先が複数指定されているときは、[▲] または [▼] を押すと、選択した送信先が順に表示されます。

9. 宛先表一覧

本機で管理している宛先表の一覧が表示されます。一覧をすべて表示しきれないときは、[▲] または [▼] を押して表示を切り替えます。

グループの宛先には、グループを示すマーク (👤) が表示されます。

暗号化してメール送信できる宛先には、暗号化できることを示すマーク (🔒 または👤) が表示されます。

10. [本文]、[件名]、[セキュリティ]、[送信者]、[受信確認]

送信する文書の本文、件名、セキュリティ（暗号化・署名）、送信者名、メールの受信確認を設定します。

11. [蓄積文書指定]

ドキュメントボックスに蓄積した文書を送信できます。

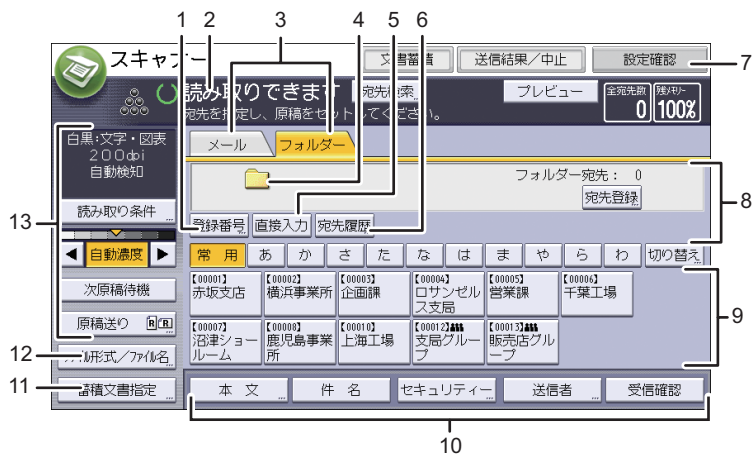
12. [ファイル形式/ファイル名]

ファイル形式やファイル名を指定できます。

13. 原稿と読み取りの設定

読み取り条件や原稿セット方向を設定できます。

フォルダー送信画面



DNP017

1. [登録番号]

送信先を5桁の登録番号で指定するときに押します。

2. 操作の状態、メッセージ

操作の状態やメッセージが表示されます。

3. メール/フォルダー

メール送信画面とフォルダー送信画面を切り替えるときに押します。

- **メール** (メール) を選択しているときは、メール宛先を指定できます。
- **フォルダー** (フォルダー) を選択しているときは、フォルダー宛先を指定できます。

また、同じ文書をフォルダー送信とメール送信の両方の宛先へ、同時に送るときに切り替えます。

4. フォルダー送信アイコン

フォルダー送信画面であることを示すアイコンです。

5. [直接入力]

アドレス帳に登録されていない送信先を指定するときは、ここを押して表示された画面でフォルダー送信先を指定します。

6. [宛先履歴]

[直接入力] で指定した宛先を選択できます。宛先履歴が複数あるときは、[▲] または [▼] を押すと、宛先が順に表示されます。

7. [設定確認]

設定内容を確認できます。

8. 送信先表示欄

指定した送信先が表示されます。送信先を複数指定しているときは、[▲] または [▼] を押すと、選択した送信先が順に表示されます。

9. 宛先表一覧

本機で管理している宛先表の一覧が表示されます。

一覧をすべて表示しきれないときは、[▲] または [▼] を押して表示を切り替えます。

グループの送信先には、グループを示すマーク (👤) が表示されます。

10. [本文]、[件名]、[セキュリティ]、[送信者]、[受信確認]

送信する文書の本文、件名、メールのセキュリティ (暗号化・署名)、送信者名、メールの受信確認を設定します。フォルダー送信とメール送信を同時にするとき、メール送信の宛先だけに設定できます。メール送信については、『スキャナー』「読み取った文書をパソコンへ送信する」を参照してください。

11. [蓄積文書指定]

ドキュメントボックスに蓄積した文書を送信できます。

12. [ファイル形式/ファイル名]

ファイル形式やファイル名を指定できます。

13. 原稿と読み取りの設定

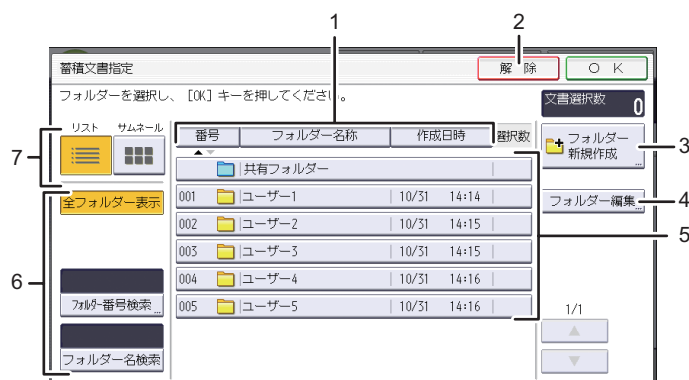
読み取り条件や原稿セット方向を設定できます。

「蓄積文書指定」画面

蓄積した文書を確認するには、スキャナー機能の初期画面で「蓄積文書指定」を押します。

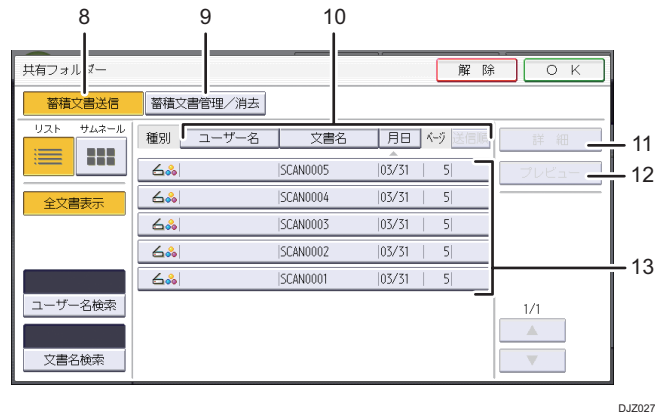
蓄積した文書は、フォルダーで管理できます。各フォルダーのキーを押すと、蓄積した文書の一覧が表示されます。

フォルダー一覧画面



DNP018

文書一覧画面



DJZ027

1. [番号]、[フォルダー名称]、[作成日時]

フォルダーを [番号]、[フォルダー名称]、[作成日時] ごとにソートできます。ソートする項目を押してください。同じ項目をもう一度押すと、昇順と降順が切り替わります。

2. [解除]

1つ前の画面に戻るときに押します。

3. [フォルダー新規作成]

フォルダーを新規作成するときに押します。

4. [フォルダー編集]

フォルダーの名前やパスワードを変更したり、フォルダーを削除したりするときに押します。

5. フォルダーキー

フォルダー内の蓄積文書一覧を表示するときに押します。パスワードが設定されているフォルダーには、フォルダー名称の左横に錠マーク (🔒) が表示されます。

6. 文書検索用キー

目的のフォルダーや文書を検索する画面と、すべての文書が表示される画面とを切り替えます。

7. リスト/サムネール

表示方法を、リストまたはサムネールに切り替えます。

8. [蓄積文書送信]

蓄積した文書をフォルダー送信またはメール送信するときに押します。

9. [蓄積文書管理/消去]

蓄積した文書を消去したり、文書情報を変更したりするときに押します。

10. [ユーザー名]、[文書名]、[月日]

文書を [ユーザー名]、[文書名]、[月日] ごとにソートできます。ソートする項目を押してください。同じ項目をもう一度押すと、昇順と降順が切り替わります。送信順は常に昇順です。

11. [詳細]

選択した文書の詳細情報が表示されます。

12. [プレビュー]

選択した文書のプレビューが表示されます。『スキャナー』『一覧画面から蓄積文書を確認する』を参照してください。

13. 蓄積文書の一覧

蓄積した文書の一覧が表示されます。

目的の文書が表示されていないときは、[▲] または [▼] を押して表示を切り替えます。

パスワードが設定されている文書には、ユーザー名の左横に錠マーク (🔒) が表示されます。

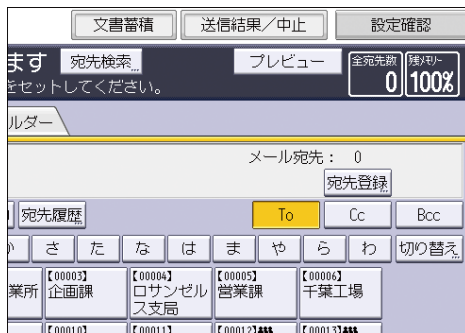
↓ 補足

- セキュリティーの設定によっては、表示される文書が制限されることがあります。
- スキャナー以外の機能から蓄積した文書は、ここでは表示されません。ドキュメントボックス機能で確認できます。

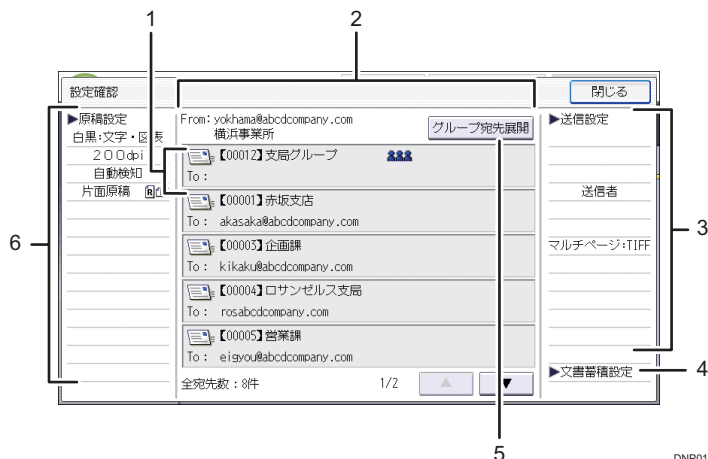
「設定確認」画面

「設定確認」画面とは、原稿読み取りの設定と送信の設定を確認できる画面です。

[設定確認] を押すと、スキャナー初期画面から「設定確認」画面に切り替わります。




「設定確認」画面





DNP019

1. 送信機能アイコン

設定した送信機能のアイコンが表示されます。

グループの宛先には、グループを示すマーク（）が表示されます。

暗号化してメール送信できる宛先には、暗号化できることを示すマーク（ または ）が表示されます。

2. 送信者と送信先

指定した送信者または送信先が表示されます。

3. 送信設定

送信者や件名などの送信時の設定が表示されます。

セキュリティ（暗号化・署名）の設定も確認できます。

4. 文書蓄積設定

〔文書蓄積〕で設定した蓄積方法が表示されます。

5. [グループ宛先展開]

グループに含まれる宛先を一覧表示できます。

6. 原稿設定

読み取り条件や原稿セット方向などの読み取り時の設定が表示されます。

スキャナー機能の「プレビュー」画面

「プレビュー」画面とは、読み取った文書の内容を確認する画面です。

ここでは、メール送信とフォルダー送信時前に確認する「プレビュー」画面について説明します。

読み取り前に〔プレビュー〕を押し、反転されている状態で読み取りを開始すると、「プレビュー」画面が表示されます。

読み取り内容を確認したあとで送信、または送信を中止できます。



1. [送信中止]

プレビュー画面を閉じて送信を中止します。

2. [送信]

プレビュー画面を閉じて送信します。

3. 表示文書

文書名とファイルサイズが表示されます。

4. 表示ページ

表示ページ番号と総ページ数、ページサイズ、カラーモードが表示されます。

5. [表示ページ切り替え]

選択した文書の表示ページを変更します。

6. プレビュー範囲

A2 より大きな原稿を蓄積したときは、プレビュー画面の位置指定で表示の切り出しができます。

7. [範囲変更]

プレビュー範囲を変更できます。

8. 表示位置

画像を拡大したときに、プレビューに表示されている画像の位置を示します。

9. [←] [→] [↑] [↓]

表示する部分を移動できます。

10. [縮小表示]、[拡大表示]

文書を縮小または拡大して表示できます。

11. プレビュー画像

読み取った文書の画像が表示されます。軽く2回押すと、画像を拡大できます。拡大した画像を軽く押すと、押したところが中心となるように画像を移動できます。A2 より大きな画像を蓄積したときは、プレビュー範囲で指定された範囲の画像を対象に、画像の拡大と移動ができます。

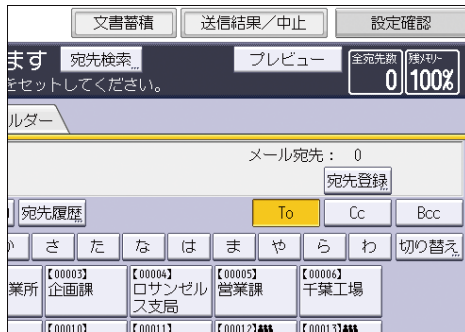
↓ 補足

- [本体に蓄積] を選択して読み取るときは、プレビュー画面は使用できません。蓄積した文書の内容を確認するときは、蓄積文書の一覧画面からプレビュー画面を表示してください。蓄積文書のプレビュー表示については『スキャナー』『一覧画面から蓄積文書を確認する』を参照してください。
- ファイル形式で高圧縮 PDF を選択したときは、プレビュー画面は使用できません。
- 画像ファイルの破損などの理由で、プレビューが表示されないことがあります。再度読み取ってください。
- プレビュー可能な最大画像サイズは、914.4×1219.2mm です。

「送信結果表示／送信中止」画面

「送信結果表示／送信中止」画面とは、メール送信またはフォルダー送信の結果を確認できる画面です。

「送信結果／中止」を押すと、「送信結果表示／送信中止」画面が表示されます。



送信結果は一度に9件まで表示されます。[▲] または [▼] を押すと表示が切り替わります。

「送信結果表示／送信中止」画面

1	2	3	4	5	6	7	
送信結果表示／送信中止					エラー内容説明	閉じる	
現在の送信結果を表示します							
送信日時	時刻	送信機能アイコン	送信者	文書名	状態		
05/31 14:17	ロサンゼルス支局	横浜事業所			待機中	送信中止	8
05/31 14:17	企業課	横浜事業所			待機中	リスト印刷	9
05/31 14:16	沼津ショールーム	横浜事業所			待機中		
05/31 14:21	横浜事業所	他 3件 横浜事業所			中止		
05/31 14:21	香港オフィス	他 4件 横浜事業所	SCAN0005		中止		
05/31 14:21	企業課	他 1件 横浜事業所	SCAN0004		中止		
05/31 14:21	営業課	他 5件 横浜事業所	SCAN0003		中止		
05/31 14:21	横浜事業所	他 4件 横浜事業所	SCAN0002		中止	1/2	
05/31 14:21	ロサンゼルス支局	横浜事業所	SCAN0001		中止	▲ ▼	10

DJZ030

1. 送信日時

本機からの送信指示を受け付けた日時、または完了、不達、中止が確定した日時が表示されます。

2. 送信機能アイコン

使用した送信機能のアイコンが表示されます。

暗号化してメールを送信すると、暗号化されたメール送信であることを示すマーク (🔒) が表示されます。

3. 宛先

送信した宛先が表示されます。

複数の送信先を選択したときは、1件目に選択した送信先が表示されます。

メール送信で複数の送信者を選択したときは、1 件目に選択した送信先だけが表示され、残りの送信先は「他 XX 件」と表示されます。

4. 送信者

送信者名が表示されます。

5. 文書名

蓄積と同時に送信したときと、蓄積されている文書を送信したときは、蓄積文書名が表示されます。

6. [エラー内容説明]

考えられるエラーの原因を表示します。

7. 状態

「完了」、「送信中」、「待機中」、「不達」、「中止」のいずれかの送信状態が表示されます。

8. [送信中止]

状態が「待機中」の文書を選択して [送信中止] を押すと、送信を中止できます。

9. [リスト印刷]

送信結果が印刷されます。

10. [▲] [▼]

画面を切り替えるときに押します。

↓ 補足

- 「ジョブ履歴」画面では、スキャナー機能を使用した送信結果は確認できません。送信結果の確認は、[送信結果／中止] を押して表示される「送信結果表示／送信中止」画面で確認できます。
- セキュリティーの設定によっては、すべての送信結果が表示されないことがあります。

画面パターンを切り替える

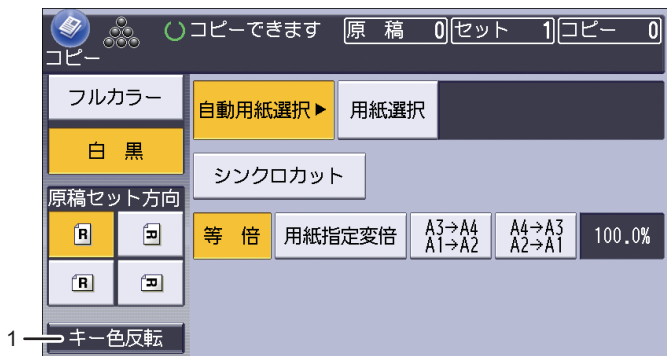
簡単画面への切り替え方法や、表示されるキーについて説明します。

簡単画面とは、主な機能だけを表示した画面です。

文字サイズとキーサイズが拡大され、より簡単に操作できます。

1. 画面右下の [簡単画面] を押します。

画面はコピー機能で簡単画面を表示させたときのものです。



DNP021

1. [キー色反転]

画面のコントラストを強めるときに押します。

各機能の初期画面には適用されません。

↓ 補足

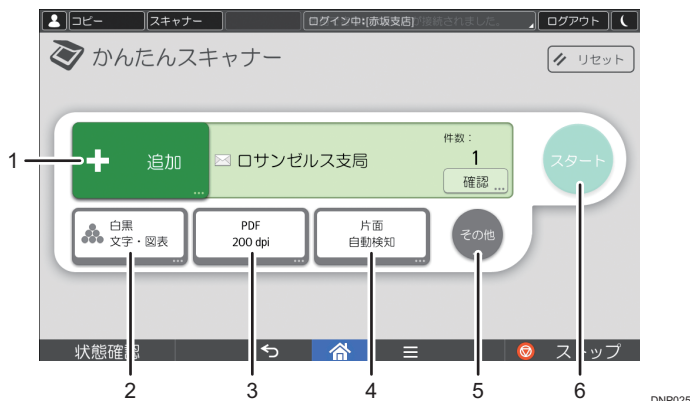
- 各機能の初期画面に切り替えるときは、再度「簡単画面」を押してください。

かんたんアプリ画面の見かた

かんたんアプリ画面では、リストから選択したり、画面の左から順番に設定したりするだけで、印刷やスキャナー送信ができます。

かんたんアプリ画面で設定できない機能については、それぞれの機能の操作画面で設定してください。

かんたんスキャナー画面



DNP025

1. フォルダー宛先またはメール宛先を選択します。メール宛先は直接入力することもできます。
2. カラーモードを選択します。

3. 原稿読み取りの解像度や、送信する文書のファイル形式を指定します。
4. 原稿の種類やサイズを設定します。
5. スキャンした原稿をプレビューできます。
6. 読み取った文書を送信します。

↓ 補足

- 多数の宛先を選択しているとき、[スタート] を押してから読み取りが開始されるまで時間がかかることがあります。

本機にログインする

ログイン画面が表示されたとき

ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証が設定されているときは、画面に認証画面が表示されます。個人ごとに設定されたログインユーザー名とログインパスワードを入力しないと、本機を操作できません。またユーザーコード認証が設定されているときは、ユーザーコードを入力しないと、本機を操作できません。

本機を操作できる状態になることをログインといいます。また、操作できる状態を解除することをログアウトといいます。ログインして操作したあとは、他の利用者が不正に使用できないよう必ずログアウトしてください。

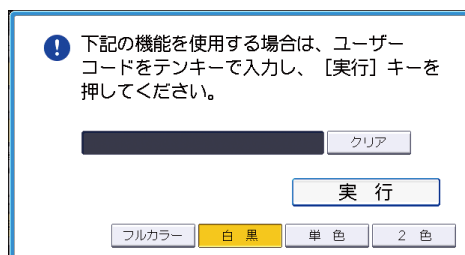
★ 重要

- ログインユーザー名、ログインパスワード、ユーザーコードは、ユーザー管理者に確認してください。ユーザー認証についての詳細は、『セキュリティガイド』「ユーザー認証を設定する」を参照してください。
- ユーザーコード認証のときに、ユーザーコードとして入力するのはアドレス帳に「ユーザーコード」として登録されている数字です。

操作部からのユーザーコード認証のしかた

ユーザーコード認証を設定しているときは、ユーザーコードの入力を求める画面が表示されます。

1. ユーザーコード（1桁から8桁の任意の数字）を入力して、[実行] を押します。



! 下記の機能を使用する場合は、ユーザーコードをテンキーで入力し、[実行] キーを押してください。

クリア

実行

フルカラー 白黒 単色 2色

↓ 補足

- ログアウトするには、ジョブが終了したあとに [省エネ] () を押します。

ドライバーからのユーザーコード認証のしかた

ユーザーコード認証が設定されているときは、各ドライバーのプロパティ画面でユーザーコードを設定します。

各ドライバーの操作については、各ドライバーのヘルプを参照してください。

↓ 補足

- ユーザーコード認証が設定されている場合にドライバーからログインしたときは、ログアウトは必要ありません。

操作部からのログインのしかた

ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証のいずれかが設定されているときにログインします。

1. 画面右上の【ログイン】を押します。



2. 【ユーザー名】を押します。



3. ログインユーザー名を入力して、【完了】を押します。

4. 【パスワード】を押します。

5. ログインパスワードを入力して、【完了】を押します。

6. 【ログイン】を押します。

↓ 補足

- 認証に失敗したときは、「ログインできません。」と表示されます。ログインユーザー名またはログインパスワードを確認してください。
- ユーザーコード認証が設定されているときは異なる画面が表示されます。P.73「操作部からのユーザーコード認証のしかた」を参照してください。

2

操作部からのログアウトのしかた

ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証のいずれかが設定されているときにログアウトします。

★ 重要

- ログインして操作したあとは、他の利用者が不正に使用できないよう必ずログアウトしてください。

1. 画面右上の【ログアウト】を押します。



2. 【実行】を押します。

IC カードを使用したログインのしかた

かんたんカード認証が設定されているときは、IC カードを本機にかざしてログインします。

★ 重要

- IC カードをかざすときは、ラベルの表示と同じ向きにかざしてください。
- IC カードは 1 回の操作で 1 枚だけかざしてください。

登録済みのカードを使用するとき

1. カードリーダーの位置を示すラベルに、IC カードをかざします。

ラベルは操作部の右奥に貼られています。

本機にログインします。

未登録のカードを使用するとき

1. カードリーダーの位置を示すラベルに、IC カードをかざします。
ラベルは操作部の右奥に貼られています。
登録画面が表示されます。
2. アドレス帳に登録されているログインユーザー名とログインパスワードを入力します。
3. [登録] を押します。
4. [確認] を押します。
5. カードリーダーの位置を示すラベルに、IC カードをかざします。
ラベルは操作部の右奥に貼られています。
本機にログインします。

↓ 補足

- 本機にログインしているときに別のユーザーの IC カードをかざすと、現在のユーザーは自動的にログアウトし、新しいユーザーでログインします。
- [キーボード入力でログイン] を押すと、ユーザー名とパスワードを入力してログインできます。
- IC カードのかわりに RICOH カンタン入出力を搭載したスマートデバイスをかざしてもログインできます。

IC カードを使用したログアウトのしかた

かんたんカード認証が設定されているときは、IC カードを本機にかざしてログアウトします。

★ 重要

- IC カードをかざすときは、ラベルの表示と同じ向きにかざしてください。
- IC カードは 1 回の操作で 1 枚だけかざしてください。

1. カードリーダーの位置を示すラベルに、IC カードをかざします。

ラベルは操作部の右奥に貼られています。

本機からログアウトします。

↓ 補足

- 画面右上の [ログアウト] を押してもログアウトできます。
- IC カードのかわりに RICOH カンタン入出力を搭載したスマートデバイスをかざしてもログアウトできます。

オートログアウト機能

本機にはオートログアウト機能が設定されています。

一定時間何も操作しないと、自動的にログアウトします。

ドライバーからのログインのしかた

2

本機に設定されているログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。
初回だけ入力が必要です。

ここでは Windows 7 を例に手順を説明します。

1. [スタート] メニューで、[デバイスとプリンター] をクリックします。
2. プリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。
3. [応用設定] タブをクリックします。
4. [ユーザー認証] にチェックを付けます。
5. パスワードを暗号化して送信するときは、[ドライバー暗号鍵] をクリックします。

パスワードを暗号化しないときは、手順 7 に進みます。

6. 「ドライバー暗号鍵」と「ドライバー暗号鍵の確認用入力」に、本体で設定された暗号鍵を入力し、[OK] をクリックします。
7. [OK] をクリックしてプリンターのプロパティ画面を閉じます。
8. [デバイスとプリンター] ウィンドウから印刷設定の設定画面を開きます。
 - Windows Vista、Windows Server 2008：[プリンタ] ウィンドウから印刷設定の設定画面を開きます。
 - Windows Server 2003/2003 R2：[プリンタと FAX] ウィンドウから印刷設定の設定画面を開きます。

9. [項目別設定] タブをクリックします。

10. 「メニュー項目」の[印刷方法/認証] をクリックします。

11. [認証] をクリックします。

12. 本体やサーバーで設定したユーザー認証用のログインユーザー名とログインパスワードを入力します。

必ず本体またはサーバーで登録したものと同一ログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。

本体やサーバーで設定したログインユーザー名とログインパスワードを正しく入力しないと、印刷できません。

13. [OK] を 2 回クリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

↓ 補足

- アプリケーションによっては、本手順で設定した初期値が反映されないことがあります。
- ドライバーからログインしたときは、ログアウトは必要ありません。

Web Image Monitor からのログインのしかた

ユーザー認証が設定されているときに Web Image Monitor からログインします。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス、またはホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。
3. [ログイン] をクリックします。
4. 「ログインユーザー名」にログインユーザー名を、「ログインパスワード」にログインパスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

使用するブラウザの設定により、ログイン名やパスワードがブラウザに保存されることがあります。保存されないようにするには、ブラウザの設定を変更してください。

↓ 補足

- ユーザーコード認証のときは、ログインユーザー名にユーザーコードを入力して、[ログイン] をクリックします。
- 使用している Web ブラウザーにより操作は異なります。

Web Image Monitor からのログアウトのしかた

ユーザー認証が設定されているときに Web Image Monitor からログアウトします。

1. [ログアウト] をクリックします。

↓ 補足

- ログアウト後は、Web ブラウザーのキャッシュを削除してください。

ロックアウト機能

本機にはロックアウト機能が設定されています。

ログイン時に管理者が設定した回数以上にパスワードを連続して間違えて入力すると、ロックアウト機能が働き、そのユーザー名でのログインが禁止されます。

ロックアウトされたユーザーは、正しいパスワードを入力しても認証に失敗し、本機を利用できなくなります。

ロックアウトされたときは、解除が必要です。詳しくは、『セキュリティガイド』「ロックアウト機能」を参照してください。

ログインパスワードを変更する

ログインパスワードに登録できる文字は、アルファベット、数字、記号です。

登録できる文字数は、半角で最大 128 文字です。

アルファベットは、大文字、小文字を区別して正しく登録してください。

★重要

- パスワードは、第三者に教えないでください。またパスワードを紙に書いて人目につくところに貼らないでください。
- パスワードは、定期的に変更してください。
- 推測されにくいパスワードにしてください。

パスワードポリシーについて

本機にはパスワードポリシーが設定されています。





パスワードの複雑度と使用できる最小文字数が設定されているので、条件を満たすパスワードだけが設定できます。条件については、『セキュリティガイド』「セキュリティ強化機能を設定する」を参照してください。

パスワードで使用する文字は、以下の文字から選ぶことをお勧めします。

- 英大文字：[A-Z] (26 文字)
- 英小文字：[a-z] (26 文字)
- 数字：[0-9] (10 文字)
- 記号：(スペース) ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [(バックスラッシュ)] ^ _ ` { | } ~ (33 文字)

機器の操作部やパソコンのキーボードですべてのコード列パターンを入力できるわけではありません。

操作部からログインパスワードを変更する

1. 画面中央下の「ホーム」()を押します。
2. 左にフリックし、「初期設定」アイコン ()を押します。
3. 「本体初期設定」を押します。
4. 「ログイン」を2回押します。
5. ログインユーザー名を入力して、「実行」を押します。
6. ログインパスワードを入力して、「実行」を押します。
7. 「終了」を押します。
8. 「アドレス帳管理」を押します。
9. ユーザーを選択します。
10. 「認証情報」を押します。
11. 「ログインパスワード」の「変更」を押します。
12. ログインパスワードを入力し、「OK」を押します。
13. ログインパスワードを再入力し、「OK」を押します。
14. 「設定」を押します。
15. 画面右上の「初期設定」()を押します。
16. 画面中央下の「ホーム」()を押します。

Web Image Monitor からパスワードを変更する

1. Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレスバーに「http:// (本機の IP アドレス、またはホスト名) /」と入力し、本機にアクセスします。
3. 「ログイン」をクリックします。
4. ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。
5. 「機器の管理」をポイントし、「アドレス帳」をクリックします。
6. ユーザーを選択します。
7. 「変更」をクリックします。
8. 「認証情報」の「ログインパスワード」の「変更」をクリックします。
9. 新しいパスワードを入力します。

10. 確認用にパスワードをもう一度入力します。

11. [OK] を 3 回クリックします。

プリンタードライバーのログインパスワードを変更する

1. [デバイスとプリンター] ウィンドウから印刷設定の設定画面を開きます。

- Windows Vista、Windows Server 2008：[プリンタ] ウィンドウから印刷設定の設定画面を開きます。
- Windows Server 2003/2003 R2：[プリンタと FAX] ウィンドウから印刷設定の設定画面を開きます。

2. [項目別設定] タブをクリックします。

3. 「メニュー項目」の[印刷方法/認証] をクリックします。

4. [認証] をクリックします。

5. 本体やサーバーで設定したユーザー認証用のログインパスワードを入力します。

必ず本体またはサーバーで登録したものと同一ログインパスワードを入力してください。

本体やサーバーで設定したログインパスワードを正しく入力しないと、印刷できません。

6. [OK] を 2 回クリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

電源の入れかた、切りかた

主電源スイッチ

★重要

- 主電源スイッチを連続して押さないでください。
- 主電源スイッチを押すときは、操作部の主電源ランプが点灯または消灯したのを確認してから、10 秒以上待ってください。ヘッ드의乾燥によるノズルづまりなどが発生し、故障の原因になることがあります。

本機の左側には主電源スイッチがあります。操作部右側にある主電源ランプが消灯した状態で主電源スイッチを押すと、主電源ランプが点灯し、電源が入ります。主電源ランプが点灯した状態で主電源スイッチを押すと、主電源ランプが消灯し、電源が切れます。

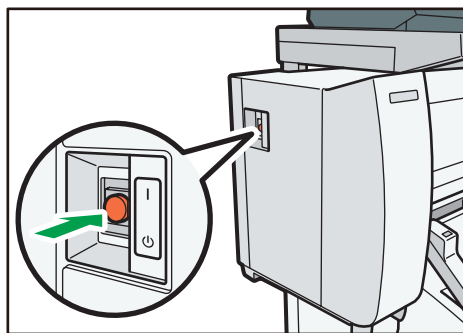
↓補足

- 本機は電源が入った状態で一定時間使用しないと、自動的に低電力モードやスリープモードになる機能を搭載しています。詳しくは、P.83「節電」を参照してください。

主電源の入れかた

1. 電源プラグが、確実にコンセントに差し込まれているか確認します。
2. 主電源スイッチを押します。

操作部の主電源ランプが点灯します。



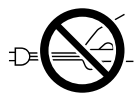
DNE005

↓補足

- 電源を入れたあとに、自動再起動の処理中の画面が表示されることがあります。機械内部で自動処理をするので、その間、主電源スイッチに触らないでください。再起動には約 4 分かかります。
- アプリケーションが起動した順にホーム画面にアイコンが表示されます。

主電源の切りかた

⚠ 注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

★ 重要

- 動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。ヘッドの乾燥によるノズルづまりなどが発生し、故障の原因になることがあります。
- 本機の電源を切るときは、主電源スイッチを押し続けしないでください。主電源スイッチを押し続けると電源が強制的に切れるため、ハードディスクやメモリーが破損して故障の原因になることがあります。

1. 主電源スイッチを押します。

主電源ランプが消灯します。シャットダウンの処理が終了すると、自動的に電源が切れます。シャットダウン画面が消えないときは、サービス実施店に連絡してください。


節電

本機は節電のために、以下のような省エネ機能を持っています。

低電力モード


一定時間何も操作しないと、画面の表示が消えて低電力モードに入ります。低電力モード時は通常の待機時より節電できます。

低電力モードに入る時間を「低電力モード移行時間設定」で設定できます。設定について詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』『システム初期設定』を参照してください。

「省エネ」() を押したときに低電力モードに入るよう、設定を変更できます。詳しくは『ネットワークの接続/システム初期設定』『システム初期設定』を参照してください。

低電力モードから復帰するには、操作部の画面に触れてください。

スリープモード

一定時間何も操作しなかったときや「省エネ」() を押したとき、低電力モードよりも消費電力の少ないスリープモードに入ります。

スリープモードに入るまでの時間を「スリープモード移行時間設定」で設定できます。設定について詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』『時刻タイマー設定』を参照してください。

スリープモードから復帰するには、操作部の画面に触れてください。

↓ 補足

- 低電力モード時は主電源ランプが点灯します。スリープモード時は、主電源ランプがゆっくり明るくなったり暗くなったりします。
- 次のようなときは、省エネ機能がはたらきません。
 - 印刷途中で動作が中断中のとき
 - 警告画面が表示されているとき
 - 用紙がつまっているとき
 - データインランプが点灯・点滅しているとき
- 次のようなときは、低電力モードまたはスリープモードに入りません。
 - 外部の機器と通信中のとき
 - ハードディスクが動作しているとき
 - サービスコールが点灯しているとき
 - 本体のカバーが開いているとき
 - インク補給が表示されているとき
 - インク補給中のとき
 - 次の画面が表示されているとき
 - 本体初期設定
 - カウンター
 - 問い合わせ情報
 - アドレス帳管理
 - 用紙設定
 - リモートサービス通報画面が表示されているとき
 - データ処理中のとき
 - 宛先表を使用しているとき
 - データインランプが点灯・点滅しているとき
 - 試し印刷/機密印刷/保留印刷/保存文書印刷の画面が表示されているとき
 - プリンター機能の文書印刷画面が表示されているとき（ただし、低電力モードには入りません）
 - 機内冷却のためファンが稼働しているとき
 - Web Image Monitor からアクセスしているとき

文字入力のしかた（基本アプリケーションを使用しているとき）

基本アプリケーションとアドレス帳管理で文字を入力する手順を説明します。基本アプリケーションとは、次のアプリケーションのことを指します。

- コピー
- スキャナー
- ドキュメントボックス
- プリンター

文字入力画面の見かた（基本アプリケーションを使用しているとき）

以下のように、入力を切り替えられます。



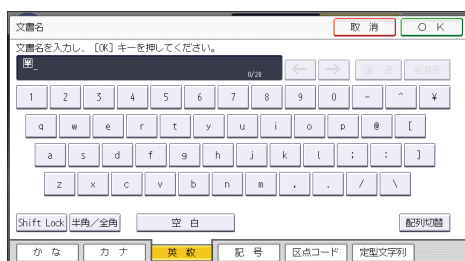
• [配列切替]

キーの配列を切り替えます。切り替えられる配列は「ABC 型」と「QWERTY 型」です。

• ABC 型



• QWERTY 型



- [かな]
ひらがなの入力モードになります。
- [カナ]
カタカナの入力モードになります。
- [英数]
アルファベットと数字の入力モードになります。
- [記号]
記号（記述・学術・一般・文字）の入力モードになります。
- [半角／全角]
全角と半角を切り替えます。全角のときは「全」、半角のときは「半」が表示されます。半角にできない文字もあります。半角にできる文字は P.87 「入力できる文字（基本アプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。
- [Shift Lock]
アルファベットの大文字と小文字を切り替えます。また、QWERTY 型の配列でひらがな、カタカナのよう音を入力するときに押します。
- [区点コード]
区点入力モードになります。読みがわからず漢字を見つけれないときや、JIS 第二水準の漢字を入力するときは、その漢字の区点コードを入力します。
- [←] [→]
カーソルを左右に移動します。カーソルを移動して文字を入力すると、カーソルの前に文字が挿入されます。
- [後退]
カーソルの前の文字を 1 つ消去します。
- [全消去]
入力した文字をすべて消去します。
- [変換]
入力したひらがなを漢字に変換します。
- [無変換]
入力したひらがなを、そのままひらがなとして確定します。

- [空白]

空白を入れます。

- [定型文字列]

登録した定型文字列を入力できます。

↓ 補足

- QWERTY 型の配列は「英数」、「ひらがな」、「カタカナ」の入力モードのときに使用できます。
- テンキーでも数字を入力できます。

2

入力できる文字（基本アプリケーションを使用しているとき）

★ 重要

- 複雑な文字を表示または印字するとき、文字の一部を簡略化することがあります。

文字は、カーソルの個所に入力されます。カーソルの上に文字があるときは、その文字の前に挿入されます。

入力できる文字は次のとおりです。

- カタカナ
- ひらがな
- 漢字

JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字

- アルファベット
- 記号
- 数字

0123456789

入力できる文字の一覧

ひらがな (全角)	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよ らりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞだぢづでとばびぶべぼゝ ｡、ー
ひらがな (小)	あいうえおつやゆよ
カタカナ (大：全角)	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨ ラリルレロワランガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボゝ ｡、ー ヴ
カタカナ (小：全角)	アイウエオカケツヤユヨ
カタカナ (大：半角)	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワン、ヲ-ゝ
カタカナ (小：半角)	アイウエオツヤユヨ
英 数 (大：全角半角共通)	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
英 数 (小：全角半角共通)	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
記 号	記述 (全角)
	記述 (半角)
	学術 (全角)
	学術 (半角)
	一般 (全角)
	一般 (半角)
	文字

CRC024

↓ 補足

- 漢字に変換するとき、一度に入力できる文字数は 10 文字までです。

入力のしかた（基本アプリケーションを使用しているとき）

ひらがな/カタカナ

ひらがなを入力するときは〔かな〕を押します。

カタカナを入力するときは〔カナ〕を押します。

ひらがなは入力したあと、〔無変換〕を押します。

全角カタカナと半角カタカナを切り替えるときは〔半角／全角〕を押します。

QWERTY 型の配列のときは、〔Shift Lock〕を押すとよう音に切り替えられます。

漢字

ひらがなを入力し、〔変換〕を押します。画面に同じ読みの漢字が表示されるので、入力する漢字を選択します。

表示されていない漢字を見るときは、〔▲前へ〕または〔▼次へ〕を押します。

変換をやめるときは、〔変換取消〕を押します。

漢字の読みがわからないときは、区点で入力します。

区点

〔区点コード〕を押し、入力する漢字の区点コードを入力します。区点コードを調べるときは、P.106「JIS 漢字コード表」を参照してください。

例：「亜」を入力するときは、〔1〕〔6〕〔0〕〔1〕を押します。

アルファベット/数字

アルファベットや数字を入力するときは〔英数〕を押します。〔Shift Lock〕を押すと大文字または小文字に切り替えられます。また、全角英数字と半角英数字を切り替えるときは〔半角／全角〕を押します。

記号

〔記号〕を押します。「記号」には次の見出しがあり、見出しを押すと、画面が切り替わります。

- 記述
- 学術
- 一般
- 文字

〔記述〕〔学術〕〔一般〕では全角と半角を切り替えられます。全角記号と半角記号を切り替えるときは〔半角／全角〕を押します。

見出しに含まれる文字については P.87「入力できる文字（基本アプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。

↓ 補足

- ひらがなと漢字は半角では入力できません。

実際に入力する（基本アプリケーションを使用しているとき）

文字の入力のしかたを実際の手順に沿って説明します。

例：「縦のA 4」という名称を付ける（「A」は全角、「4」は半角で入力）

1. かな入力になっていることを確認します。



2. [た] [て] を押します。

3. [変換] を押します。



4. [縦] を押します。

5. [の] を押します。

6. [無変換] を押します。



7. [英数] を押します。

8. [半角／全角] を押します。



9. [Shift Lock] を押します。

10. [A] を押します。

11. [Shift Lock] を押します。

12. [半角／全角] を押します。

13. [4] を押します。

14. [OK] を押します。



「縦のA 4」という名称が入力されます。

定型文字列を呼び出す（基本アプリケーションを使用しているとき）

「定型文字列登録／変更／消去」で登録した文字列を呼び出して使用できます。

「定型文字列登録／変更／消去」の設定方法は『ネットワークの接続/システム初期設定』『基本設定』を参照してください。

1. [定型文字列] を押します。



2. 呼び出す文字列を選択し、[OK] を押します。

文字入力のみ (基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき)

基本アプリケーションとアドレス帳管理以外のアプリケーションで文字を入力する手順を説明します。

コピーやスキャナーなど、基本アプリケーションの操作画面で文字を入力する方法は、P.85「文字入力のみ (基本アプリケーションを使用しているとき)」を参照してください。

2

文字入力画面の見かた (基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき)

iWnn IME キーボードの見かた (基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき)

iWnn IME キーボードを使用するときは、操作部初期設定で「iWnn IME」が「ON」になっていることを確認してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「操作部初期設定」を参照してください。

テンキーボード



DNP027

フルキーボード



DNP028

1. テキストフィールドには、入力した文字が表示されます。入力した文字を編集するときは、編集するところを押します。
2. 操作部初期設定で、キーボードで使用する言語を 2 つ以上選択しているときにこのキーは表示されます。詳しくは、P.97「入力言語を切り替える（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。画面が切り替わるまで押し続けると、キーボードの表示を切り替えることができます。
3. カーソルをテンキーボードでは左右に、フルキーボードでは上下左右に動かします。
4. 記号の一覧を表示します。
5. 英数字や記号を入力するときに押します。画面が切り替わるまで押し続けると、メニューが表示されます。
6. カーソルの前の文字を 1 つ消去します。
7. スペースを入力します。このキーを「スペース」と呼びます。また、入力したひらがなを漢字やカタカナに変換します。
8. 入力した文字を確定します。
9. 「ゝ」（濁点）、「゜」（半濁点）を入力します。また、大文字と小文字を切り替えます。
10. 文字を入力します。
11. 大文字と小文字を切り替えます。軽く 2 回押すと、大文字で固定されます。

工場出荷時のキーボードの見かた（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）



DNP026

1. テキストフィールドには、入力した文字が表示されます。入力した文字を編集するときは、編集するところを押します。
2. 記号を入力します。キーボードを使用している機能によっては、表示されません。
3. 文字を入力します。
4. カーソルの前の文字を 1 つ消去します。
5. 入力した文字を確認します。
6. 顔文字を入力します。操作部ブラウザを使用しているときは、[.com] が表示されます。
7. 数字や記号を入力するときに押します。
8. 大文字と小文字を切り替えます。軽く 2 回押すと、大文字で固定されます。
9. 操作部初期設定で、iWnn IME キーボードを有効にしているときまたはキーボードで使用する言語を 2 つ以上選択しているときにこのキーは表示されます。詳しくは、P.97「入力言語を切り替える（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。画面が切り替わるまで押し続けると、キーボードの表示を切り替えることができます。
10. スペースを入力します。このキーを「スペース」と呼びます。画面が切り替わるまで押し続けると、キーボードの表示を切り替えることができます。

↓ 補足

- 工場出荷時のキーボードでは、アルファベットや数字、記号だけ入力できます。漢字やひらがな、韓国語を入力するときは、iWnn IME キーボードに切り替えてください。詳しくは、P.96「文字の入力方法を切り替える（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）」を参照してください。

キーボードの表示を切り替える（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）

文字の入力方法を切り替える（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）

工場出荷時のキーボードと iWnn IME キーボードを切り替えます。

1.  を「入力方法の選択」が表示されるまで押し続けます。



2. [XXXX 操作部キーボード] または [XXXX iWnn IME] を押します。

XXXX には操作部初期設定で選択した言語が入ります。

↓ 補足

- iWnn IME キーボードを使用しているときは、[文字] を「iWnn IME メニュー」が表示されるまで押し続けてから、[入力方法] を押し、[XXXX 操作部キーボード] を選択して切り替えることもできます。
- 工場出荷時のキーボードを使用しているときは、[スペース] を「入力方法の選択」が表示されるまで押し続けてから、[XXXX iWnn IME] を選択して切り替えることもできます。
- iWnn IME キーボードを使用するときは、操作部初期設定で「iWnn IME」が「ON」になっていることを確認してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「操作部初期設定」を参照してください。
- ログイン画面で文字を入力するときにキーボードの種類を切り替えると、一時的にキーボードが表示されなくなることがあります。切り替え後のキーボード画面が表示されるまで待ってください。

テンキーボードとフルキーボードを切り替える（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）

iWnn IME キーボードでは、テンキーボードとフルキーボードを切り替えられます。

1. [文字] を「iWnn IME メニュー」が表示されるまで押し続けます。

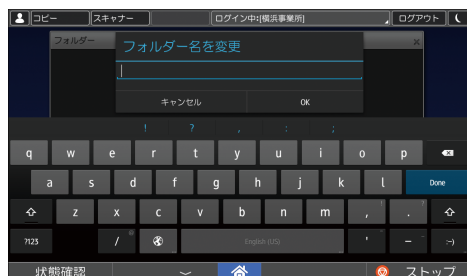


2. [テンキー⇄フルキー] を押します。


入力言語を切り替える（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）

通常は、画面の言語設定に合うキーボードが表示されます。表示言語と異なる言語を入力するときは、次のように設定します。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。
2. 左にフリックし、[初期設定] アイコン (⚙️) を押します。
3. [操作部初期設定] を押します。
4. [言語と入力] を押します。
5. [操作部キーボード] または [iWnn IME] の横の [📄] を選択します。
6. [入力言語] を押します。
7. [システムの言語を使用] のチェックを外します。
8. 使用したい言語を選択します。
9. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。
10. 文字を入力する画面を表示させます。
11. 🌐 を「入力方法の選択」が表示されるまで押し続けます。



12. リストから使用したい言語を選択します。

を軽く押して、操作部初期設定で選択した言語を切り替えることもできます。

↓ 補足


- 一部の言語では、専用のキーボードレイアウトが表示されます。
- 表示言語を切り替える方法については、P.50「表示言語を切り替える」を参照してください。
- 使用する言語のリストは、手順 11 のほかにも次の方法で表示できます。
 - iWnn IME キーボードを使用しているときは、[文字] を「iWnn IME メニュー」が表示されるまで押し続けてから、[入力方式] を押します。
 - 工場出荷時のキーボードを使用しているときは、[スペース] を「入力方式の選択」が表示されるまで押し続けます。

キーボードの設定を変更する（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）

iWnn IME キーボード

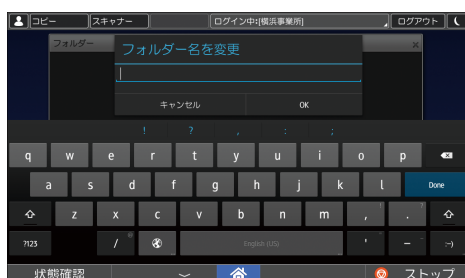
1. [文字] を「iWnn IME メニュー」が表示されるまで押し続けます。



2. [各種設定] を押します。
3. [iWnn IME] の横の  を押します。
それぞれの項目を選択して設定を変更します。

工場出荷時のキーボード

1.  を「入力方法の選択」が表示されるまで押し続けます。



2. [入力方法をセットアップ] を押します。

3. [操作部キーボード] を押します。

それぞれの項目を選択して設定を変更します。

↓ 補足

- 工場出荷時のキーボードを使用しているときは、[スペース] を「入力方法の選択」が表示されるまで押し続けてから、[入力方法をセットアップ] を押し、[操作部キーボード] を選択して設定を変更することもできます。
- 設定できる項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』『操作部初期設定』を参照してください。

2

入力モードを切り替える（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）

半角と全角、数字とアルファベットを切り替えます。

iWnn IME キーボード

1. [文字] を「iWnn IME メニュー」が表示されるまで押し続けます。

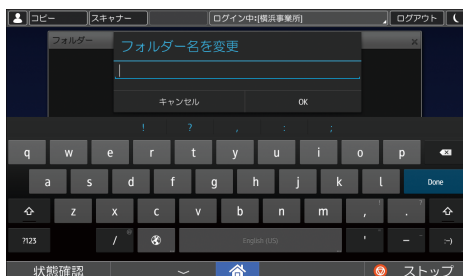


2. [入力モード切替] で入力する文字の種類を選択します。

工場出荷時のキーボード

1. [?123] または [ABC] を押します。

数字/記号またはアルファベットの入力画面に切り替わります。



↓ 補足

- iWnn IME キーボードを使用してひらがな、半角ローマ字、または半角数字で入力するときは、[文字] を押して入力モードを切り替えることもできます。
- iWnn IME キーボードでは、[記号] を押して記号の一覧を表示できます。顔文字の一覧を表示するときは、[記号] を押したあと、[顔文字] を押します。

2

入力できる文字（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）

★ 重要

- 複雑な文字を表示または印字するとき、文字の一部を簡略化することがあります。

文字は、カーソルの個所に入力されます。

以下の文字を入力できます。

- カタカナ^{*1}
- ひらがな^{*1}
- 漢字^{*1}
JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字
- アルファベット
- 記号
- 数字
0123456789
- 簡体字^{*1}
- 繁体字^{*1}
- 韓国語^{*1}

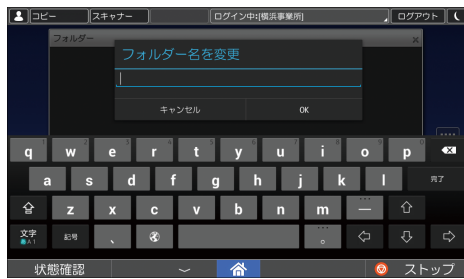
^{*1} iWnn IME キーボードを使用しているときに入力できます。

テキストを入力する（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）

フルキーボード

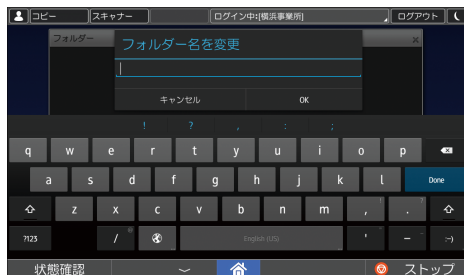
入力する文字を押します。

- iWnn IME キーボード



ひらがなを入力するときは、ローマ字で入力します。

- 工場出荷時のキーボード

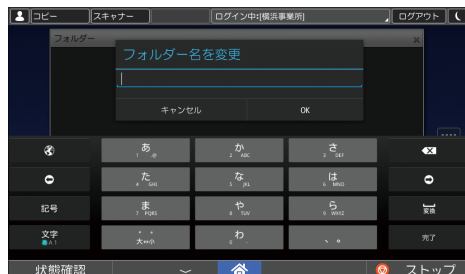


テンキーボード

入力方法を iWnn IME キーボードに設定すると使用できます。

テンキーを上下左右にフリックして入力します。

たとえば、「え」を入力するときは、[あ] を右にフリックします。



実際に入力する（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）

文字の入力のしかたを実際の手順に沿って説明します。

ここでは、ホーム画面に作成したフォルダーのフォルダー名に、iWnn IME キーボードのテンキーボードを使用して「縦の A 4」（「A」は全角、「4」は半角）と入力する方法を例に説明します。

1. かな入力になっていることを確認します。



2. [た] を押します。

3. [た] を右にフリックして、「て」を入力します。

4. [変換] を押します。



[変換] を押すと、表示される変換候補が増えます。

5. [縦] を押します。

6. [な] を下にフリックして、「の」を入力します。

7. [確定] を押します。



8. [文字] を「iWnn IME メニュー」が表示されるまで押し続けます。

9. [入力モード切替] を押します。

10. [全角英字] を押します。

11. [ABC] を押します。

12. [A⇄a] を押します。



13. [確定] を押します。

14. [文字] を 2 回押します。

15. [GHI] を下にフリックして、「4」を入力します。

16. [確定] を押します。

17. [完了] を押します。



「縦のA 4」と入力されます。

↓ 補足

- 文字を入力する機能によっては、キーボードに異なるキーが表示されます。

予測機能を使って文字を入力する（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）


入力した文字列からあとに続く文字列を予測し、変換候補を自動的に表示できます。

ここでは、iWnn IME キーボードのテンキーボードで「大阪」を入力する方法を例に説明します。

1. [あ] を下にフリックして、「お」を入力します。



2. 表示された一覧の中から「大阪」を選択します。

[

表示された変換候補に入力したい単語が表示されないときは、次の文字を入力してください。

↓ 補足

- よく入力する単語を最初の変換候補にできます。事前に本機に登録してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』『操作部初期設定』を参照してください。

文字を消去する（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）

1. カーソルを消去したい文字の右側に移動し、[X] を押します。



文字が消去されます。

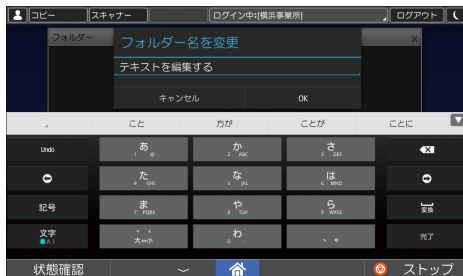
テキストを編集する（基本アプリケーション以外のアプリケーションを使用しているとき）

入力したテキストを編集するときは、編集する位置を押します。カーソルが編集するところと異なる位置に表示されたときは、タブを目的の位置までドラッグします。文字や単語をまとめて編集するときは、メニューから [すべて選択] を選択します。

選択したテキストは、コピーまたは切り取りしたり、まとめて削除したりできます。コピーまたは切り取りしたテキストは、別の位置に貼り付けられます。

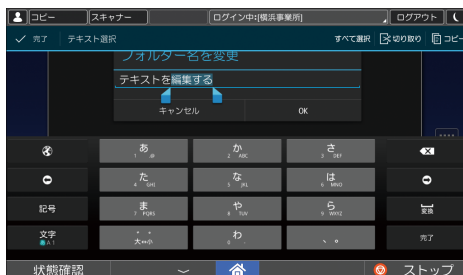
ここでは、テキストをコピーして貼り付ける方法を説明します。

1. 入力した文字を、「テキスト選択」が表示されるまで押し続けます。



2. 反転表示された部分の両端に表示されるタブをドラッグして、編集する範囲を変更します。

テキストをすべて選択するときは、[すべて選択] を押します。



3. [コピー] を押します。

4. テキストを追加したいところに、カーソルを移動します。

5. 画面を [貼り付け] が表示されるまで押し続けます。

6. [貼り付け] を押します。

↓ 補足

- 選択したテキストを切り取るときは、[切り取り] を押します。切り取られたテキストは、テキストフィールドから削除されます。
- 選択したテキストを削除するには、[X] を押します。
- テキストを選択している状態で [貼り付け] を押すと、テキストが差し替えられます。

ダウンロードできるソフトウェア

本機と連携して使用できるソフトウェアについて説明します。

Ridoc IO Device Manager でできること

2

Ridoc IO Device Manager はネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。IP アドレスを持つ複数のネットワークプリンターを管理できます。ネットワーク管理者の方が使用することをお勧めします。

Ridoc IO Device Manager は、リコーのホームページからダウンロードできます。

- Ridoc IO Device Manager Accounting
http://www.ricoh.co.jp/software/elm/device_manager_ac/
- Ridoc IO Device Manager Lite
http://www.ricoh.co.jp/software/elm/device_manager_lt/

↓ 補足

- Ridoc IO Device Manager については、Ridoc IO Device Manager の取扱説明書を参照してください。
- Ridoc IO Device Manager は、Ridoc IO Admin や Ridoc IO Analyzer のデータを引き継ぎます。

Ridoc Desk Navigator でできること

Ridoc Desk Navigator について説明します。

アプリケーションで作成したファイル、スキャナーで読み取った画像データ、既存のイメージファイルなど、多様なデータを1つの文書として管理・印刷ができます。

↓ 補足

- Ridoc Desk Navigator について詳しくは、Ridoc Desk Navigator のヘルプを参照してください。

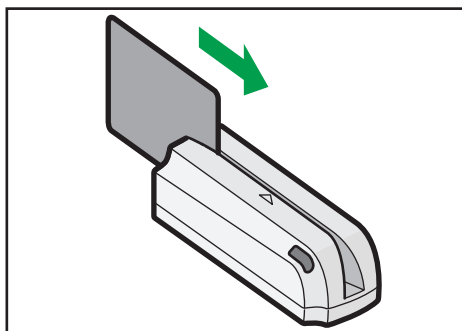
キーカードをセットする

画面に「キーカードをセットしてください。」と表示されたときはキーカードをセットしてください。

1. キーカードを使用した利用者制限が設定されていることを確認します。

画面にメッセージが表示されます。

2. カードリーダーにキーカードをセットします。



DNP029

3. 本機に関する情報

環境に関する法律と規制について説明します。

環境法規制に関する情報

エネルギースタープログラム

国際エネルギースタープログラム



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者です。
本製品は国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準に適合しています。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナー、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国の間で統一されています。

↓ 補足

- ・「初期設定移行時間」については、P.109「省エネルギー機能」を参照してください。


省エネルギー機能

本機は節電のために以下の機能を持っています。

低電力モード

- ・一定時間操作しない状態が続いたとき、自動的に電力の消費を低くするように設定されています。電力消費量が低くなったこの状態を「低電力モード」と呼びます。
- ・工場出荷時の移行時間は1分に設定されています。

スリープモード

- 一定時間操作しない状態が続いたときや [省エネ] () が押されたとき、自動的に電力の消費を低くするように設定されています。電力消費量が低くなったこの状態を「スリープモード」と呼びます。スリープモードでも、パソコンからの印刷はできます。
- 工場出荷時の移行時間（初期設定移行時間）は 14 分に設定されています。

仕様

	仕様
低電力モードでの消費電力*1	44.2W
低電力モードへの移行時間	1 分
低電力モードからの復帰時間*1	1.1 秒
スリープモードでの消費電力*1	0.79W
スリープモードへの移行時間	14 分
スリープモードからの復帰時間*1	3.6 秒

*1 消費電力や復帰時間については、使用環境、使用状況によって変わることがあります。

本製品の標準消費電力量（TEC）／動作モード（OM）は次の URL で確認できます。適合製品検索ページで、[複合機] の品目を選択し、機種名で検索してください。

<http://www.energystar.go.jp/>

↓ 補足

- スリープモードに移行する時間は [スリープモード移行時間設定] で変更できます。『ネットワークの接続/システム初期設定』「時刻タイマー設定」を参照してください。
- 低電力モードに移行する時間は [低電力モード移行時間設定] で変更できます。『ネットワークの接続/システム初期設定』「時刻タイマー設定」を参照してください。
- インストールされる Embedded Software Architecture アプリケーションの種類によって、スリープモードへの移行時間が設定よりも長くなる場合があります。
- 次のときは、直接スリープモードに移行します。
 - 低電力モードへの移行時間とスリープモードへの移行時間が同じ時間に設定されているとき
 - スリープモードへの移行時間が低電力モードへの移行時間よりも短く設定されているとき

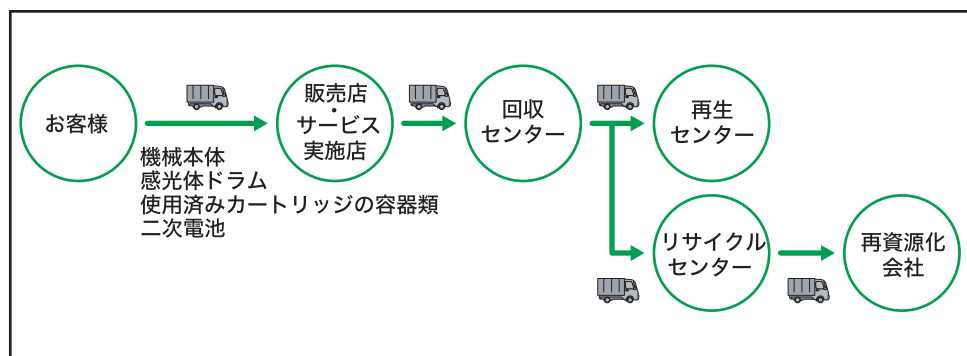
使用済み製品の回収とリサイクル

リコーは環境への負荷を低減するため、ご使用いただいた製品の回収・リサイクルを積極的に行っています。回収した製品の部品などは再使用または再資源化し、有効に活用しています。

本製品のご使用後の廃棄などのお取扱いに関しては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。（回収は有償です。）

リコーの環境保全活動にご協力くださいますようお願いいたします。

使用済み製品の回収の流れ



使用済みカートリッジの回収

回収方法の詳細は、下記の弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.ricoh.co.jp/ecology/recycle/toner/index.html>

回収方法がご不明のときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

二次電池の回収

二次電池を使用しているときは、二次電池は機械本体と一緒に回収しています。

回収をご利用されないとき

弊社の回収をご利用されずに個人のお客様がご自身で廃棄されるとき、製品は一般廃棄物に該当しますので、廃棄方法については、お住まいの地域を直轄する自治体にご確認ください。

物質エミッション

⚠ 注意



- 換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

本製品は、エコマーク No155「複写機・プリンタなどの画像機器」の TVOC 等の放散速度に関する認定基準を満たしています。(本製品推奨インクを使用し、RAL-UZ 171 付属書 S-M に基づき試験を実施しました。推奨インクは消耗品ページに記載されています。)

4. 用紙の仕様とセット方法

原稿と用紙のセット方法や仕様について説明しています。

原稿をセットする

原稿と出力紙の排出先や、セットできる原稿の種類について説明しています。また、原稿のセット方法を説明しています。

原稿の排出先

★ 重要

- 本体に人が乗ったり、腰を掛けたり、寄りかかったり、ぶらさがったりしないようにしてください。

原稿を読み取る前に原稿の排出先を変更します。また、印刷をする前に排紙バスケットをセットします。

原稿の排出先には原稿スタッカーと原稿排紙ガイドがあります。

原稿スタッカー

基本的な原稿の排出先です。

原稿排紙ガイド

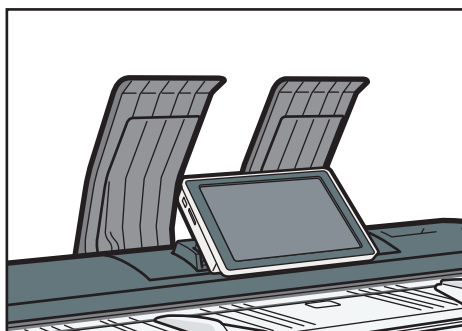
原稿排紙ガイドにまっすぐ排出します。厚手の原稿や硬い原稿は、原稿排紙ガイドに排出してください。

次のような原稿は、原稿排紙ガイドに排出してください。

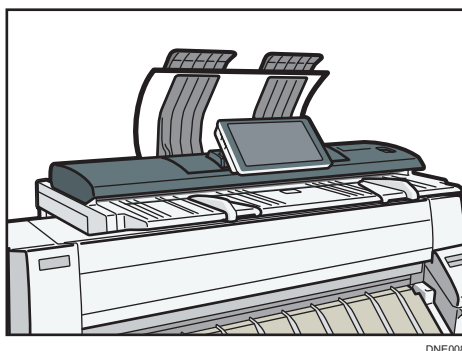
- A1□より大きい原稿
- 157g/m² (135kg) より厚い原稿
- 紙厚が 52g/m² (45kg) 以下の普通紙
- 紙厚が 80g/m² (69kg) 以下のトレーシングペーパー

原稿スタッカーに排出する

1. 原稿スタッカーが本体上部の 4 カ所に装着されていることを確認します。



原稿は、原稿スタッカーに排出されます。



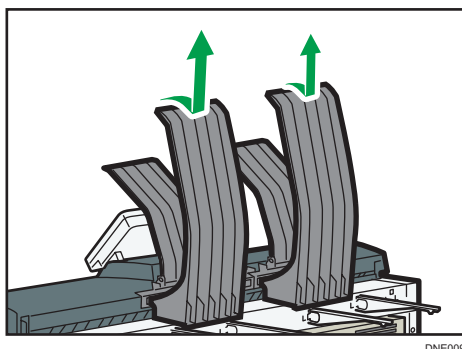
原稿スタッカーに排出できる原稿は 1 枚です。排出されるたびに原稿の先端を持って取り除いてください。

↓ 補足

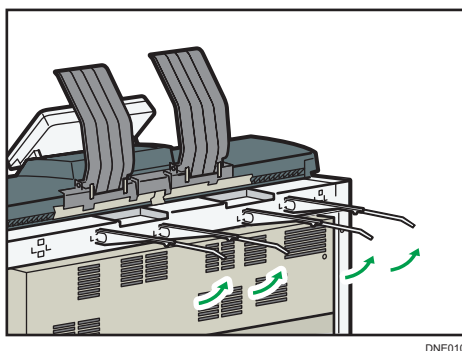
- ロール状の原稿をセットしたときは、排出された原稿の先端を持って排出を補助してください。原稿が原稿スタッカーの上で丸まらないようにしてください。

原稿排紙ガイドに排出する

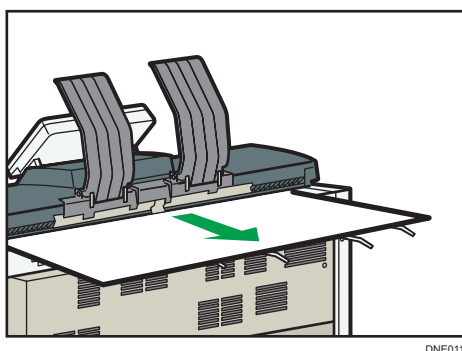
1. 後方の原稿スタッカーを2つとも外します。



2. 原稿排紙ガイドを伸ばします。



原稿は、原稿排紙ガイドの上に排出されます。



出力紙の排出先

出力紙は排紙バスケットに排出されます。コピーや印刷の前に、排紙バスケットをセットしてください。

出力する用紙のサイズや枚数によって、排紙バスケットの形状を変更してください。詳しくは、P.32「排紙バスケットをセットする」を参照してください。

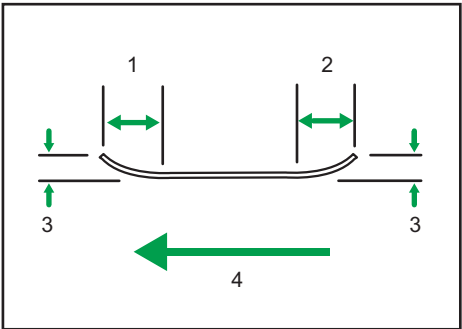
セットできる原稿のサイズと紙厚

セットできる原稿の種類と画像の欠け範囲を説明します。

次の定形サイズの前稿は、前稿サイズが自動的に検知されます。

原稿サイズ	原稿紙厚
A0□～A4□□ 最大通紙幅：960mm 最大：幅 914mm×長さ 15000mm 最小：幅 210mm×長さ 210mm	64～190g/m ² (55～163kg) または 0.090～0.2mm の紙厚

原稿がカールしているときは、先端と後端の両方のカールが次の範囲に収まるようにそりを直すか、キャリアシートを使用してください。



CPT036

1. 先端カール：R50mm 以上
2. 後端カール：R50mm 以上
3. 高さ：20mm 以下
4. 原稿送り方向

キャリアシートを使用する原稿

次のような原稿はキャリアシートにはさんで使用してください。また、大切な原稿や繰り返し読み取る原稿にも、キャリアシートを使用することをお勧めします。

- 2 枚以上重ねた原稿
- 折り目のついた原稿
- しわ、破れなどのある原稿
- 波打ちの多い原稿

- 穴のあいた原稿
- 粘着テープやのりのついた原稿
- はり合わせた原稿
- 先端がまっすぐでない原稿
- 写真などガラスに張りつきやすい原稿
- 鉛筆書きの原稿
- 厚さが 0.070mm 以下の原稿

↓ 補足

- キャリアシートの使用方法は、P.121 「キャリアシートをセットする」を参照してください。

4

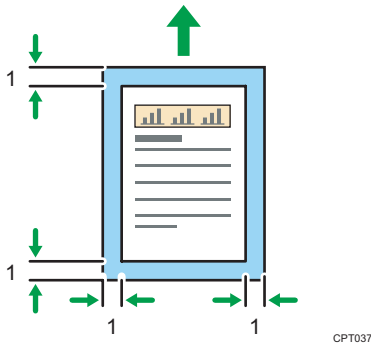
使用できない原稿

次のような原稿は紙づまり、原稿破損の原因となります。

- ステープラーの針やクリップのついた原稿
- 穴、破れのある原稿
- そり、折れ、しわのある原稿
- 感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙などのように表面が加工された原稿
- インデックスや付せんなど、はみ出した部分のある原稿
- 登記簿などに使用されるような薄くてやわらかい原稿
- 本などのようにとじてある原稿
- ぬれた原稿
- 部分的に厚さの異なる原稿
- 先端部に厚板をはりつけた原稿
- インキや修正液などが乾いていない原稿
- 裏カーボンのついた原稿
- 紙以外の原稿（ガラス製品、金属製品など）
- 巻き径が 300mm 未満の原稿

画像欠け範囲

原稿テーブルに正しくセットしても、原稿の周囲から内側数 mm は印刷されないことがあります。



CPT037

1. 各辺：3mm 以下

↓ 補足

- 手差し給紙部を使用するときは、後端の画像欠け範囲は 18mm 以下です。
- 手差し給紙部から次の用紙種類や印刷品質でカラー印刷するとき、用紙後端の画像欠け範囲は 21mm 以下です。

用紙種類	印刷品質
特殊紙	標準、きれい
フィルム（マット加工）	きれい
トレーシングペーパー	きれい

原稿をセットする

★ 重要

- 原稿は 1 枚ずつ挿入してください。
- 原稿を挿入するときは、ローラーに軽く突き当ててください。いったん突き当てたら、それ以上原稿を押し込まないでください。紙づまりの原因になります。
- 原稿を挿入したら、無理に押し込んだり引っ張ったりしないでください。原稿が破損する原因になります。
- 原稿の先端や後端が強くカールしているときは、あらかじめ両手でカールを伸ばしてください。丸まったまま挿入すると、原稿が破損する原因になります。
- トレーシングペーパーなど、インクが乾燥しにくい用紙に印刷しているときは、印刷が終わってから次の原稿をセットしてください。印刷中に次の原稿をセットすると、原稿が本機から排出された用紙と接触し、原稿にインクが付着することがあります。
- 原稿を読み取るときは搬送路中に物を置かないでください。
- 原稿がセット可能になってから挿入してください。

↓ 補足

- 修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿はセットしないでください。露光ガラスが汚れ、その汚れが読み取られます。
- 鉛筆で書かれた原稿は、鉛筆の粉が機械の搬送面や露光ガラスを汚し、黒スジの原因になります。キャリアシートを使用してください。

原稿を原稿テーブルにセットする

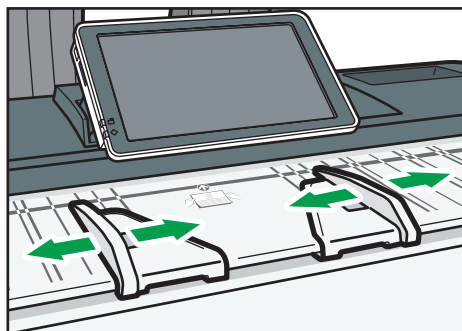
1. 画面中央下の【ホーム】(🏠)を押します。
2. 【コピー】または【スキャナー】アイコンを押します。

画面に「コピーできます」または「読み取りできます」と表示されていることを確認します。

3. 原稿ガイドを原稿のサイズに合わせます。

原稿ガイドは、原稿テーブルの中央から等距離になるようセットします。

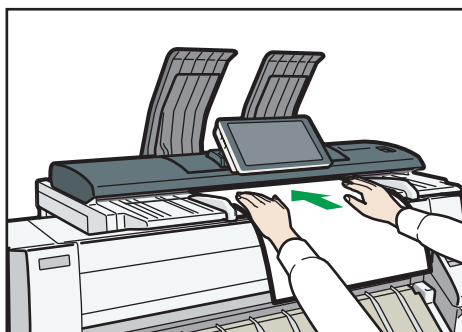
原稿ガイドを原稿に強く押し当てないでください。また、原稿ガイドを原稿の幅より狭くしないでください。



DNE012

4. 読み取る面を下向きにして、原稿ガイドにそって原稿をゆっくりと挿入口へセットします。

原稿に両手を添え、軽く突き当たるまで挿入してください。原稿が少し引き込まれたら手を離してください。



DNE013

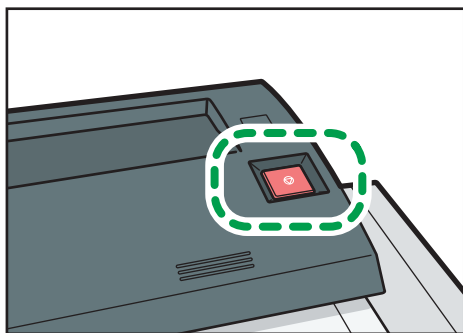
↓ 補足

4

- 原稿を挿入したあとは、強く触らないでください。
- 長い原稿や厚手の原稿は、原稿の半分の長さが読み取られるまで、両手で原稿の搬送を妨げない程度の力で補助してください。
- ロール状の原稿をセットするときは、排紙バスケットを使用してください。詳しくは、P.122「ロール状の原稿をセットする」を参照してください。
- 原稿のななめ送りが繰り返されるときや、原稿種類によっては、原稿送り開始時間を変更すると適切な操作ができます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

原稿の搬送を中止する

原稿がななめに送られたりつまったりしたときは、[原稿ストップ] キーを押して原稿の搬送を中止します。



DNE014

↓ 補足

- [原稿ストップ] キーを押すと、その時点で原稿の搬送を止めるため、原稿がつかまる場合があります。つまった原稿を取り除く方法は、『こまったときには』「用紙や原稿がつまったとき」を参照してください。

キャリアシートをセットする

鉛筆書きの原稿や、はり合わせた原稿などをセットするときは、キャリアシートを使用します。

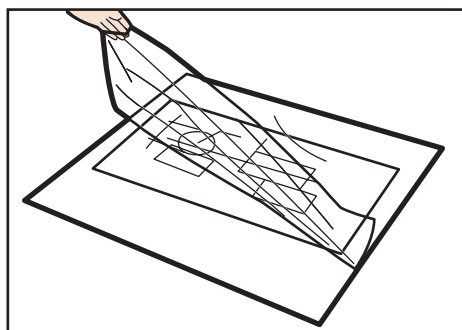
詳しくは、P.116「キャリアシートを使用する原稿」を参照してください。

★重要

- キャリアシートを使用するときは、原稿を原稿排紙ガイドに排出してください。原稿スタッカーに排出すると、原稿が破損することがあります。原稿排紙ガイドへの排出方法は、P.115「原稿排紙ガイドに排出する」を参照してください。

1. キャリアシートの透明な面を上にして開き、原稿のおもてを上にしてはさみます。

原稿はキャリアシートの折り返し側に合わせてください。



CBA051

2. 原稿ガイドをキャリアシートのサイズに合わせます。

3. 読み取る面を下向きにして、原稿ガイドにそってキャリアシートの折り返し側をゆっくりと挿入口へセットします。



DNE130

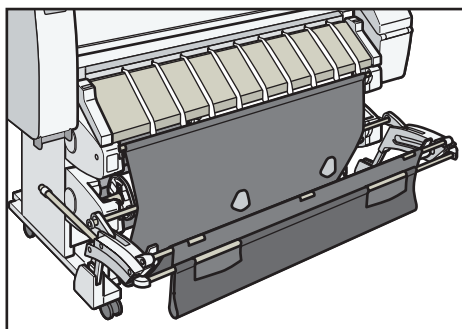
↓補足

- キャリアシートを使用しシンクロカットを選択してコピーすると、出力紙はキャリアシートの長さでカットされます。

ロール状の原稿をセットする

ロール状の原稿をセットするときは、排紙バスケットを使用します。

1. 排紙バスケットが標準モードにセットされていることを確認します。

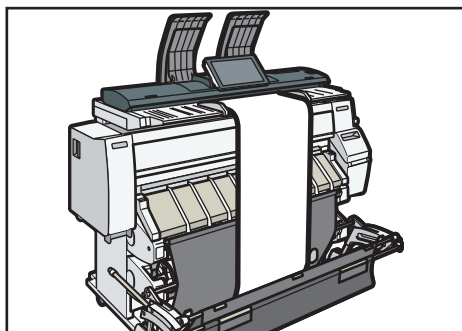


DNE016

2. 原稿ガイドを原稿のサイズに合わせます。
3. 排紙バスケットの上に原稿の後端を置き、先端を原稿テーブルに引き上げます。

原稿の読み取る面を下にして置いてください。

4. 原稿ガイドにそって原稿をゆっくりと挿入口へセットします。



DNE017

↓ 補足

- 長い原稿は、原稿の半分の長さが読み取られるまで、両手で原稿の搬送を妨げない程度の力で補助してください。
- 排紙バスケットに無理な負荷を掛けないでください。
- 排紙バスケットの操作方法は、P.32「排紙バスケットをセットする」を参照してください。

用紙をセットする

給紙部や手差し給紙部に用紙をセットする方法を説明します。

用紙をセットするときの注意事項

⚠ 注意



- 機械の内部には用紙のカッターがあります。用紙の交換、補給や紙ぶまりの処置、プラテンの清掃のときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。けがの原因になります。



- 用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。



- 給紙部カバーを開閉するときは、指を挟んだり、けがをしたりしないように注意してください。



- 前カバーを開閉するときは、カバーの折りたたみ部分に指を掛けないでください。折りたたみ部分に指を挟み、けがの原因になります。



- ロール紙は最大で 14kg になります。ロール紙は両手で横向きに持ってください。片手で持ったり縦向きに持ったりすると、ロール紙が落ちてけがの原因になります。



- ロール紙を交換するときは、スプールの歯車の付近に触らないでください。手が汚れることがあります。手が汚れたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

↓ 補足

- 本機が次の状態のときは用紙をセットできません。
 - 印字しているとき
 - メンテナンスなどで動作しているとき
 - カバーが開いているとき
 - 低電力モード、スリープモードのとき
 - 用紙ぶまりが発生したとき
 - 画面にサービスコールのマークが表示されているとき

- 給紙部、手差し給紙部にセットできる用紙については、P.146「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
- 不定形サイズ of 用紙を使用するときは、サイズを指定してください。コピー機能から不定形サイズのカット紙にコピーするときは、『コピー/ドキュメントボックス』『手差し給紙部から不定形サイズ of 用紙にコピーする』を参照してください。プリンター機能から不定形サイズ of ロール紙に印刷するときは、P.137「不定形 of ロール紙のサイズを設定する」を参照してください。不定形サイズ of カット紙に印刷するときは、P.143「不定形 of 用紙サイズを設定する」を参照してください。

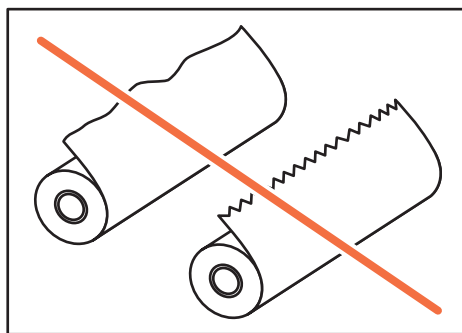
給紙部にロール紙をセットする

4

ロール紙を給紙部にセットする方法を説明します。

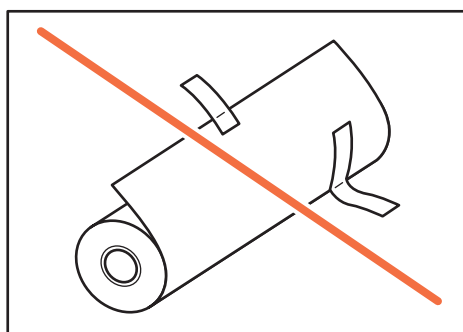
★重要

- ペーパーホルダーは、用紙端にしっかり突き当てて固定してください。
- ペーパーホルダー of フランジ部をしっかりと差し込んでください。
- ロール紙を逆方向にセットしないでください。
- 給紙部にロール紙をセットするときは、手差し給紙部から用紙を取り除いてください。
- ロール紙が次のような状態 of ときは使用できません。ロール紙 of 先端をはさみなどで切り落としてからセットしてください。
 - 先端がまっすぐでないとき



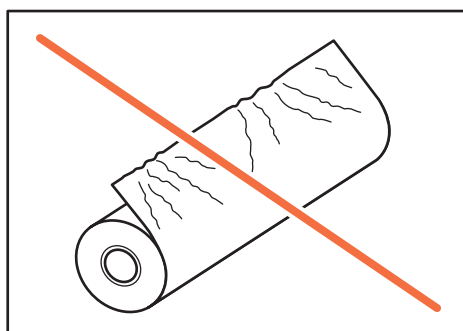
DHJ346

- 粘着テープやのりがついているとき



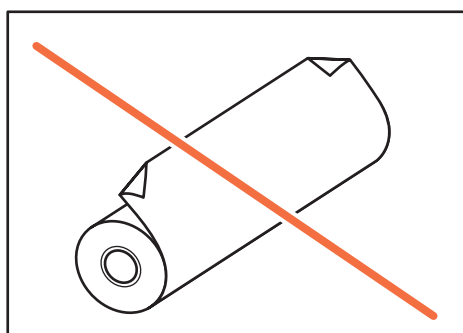
DHJ347

- しわがあるとき



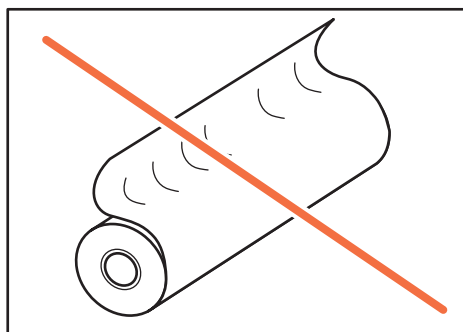
DHJ348

- 耳折れがあるとき



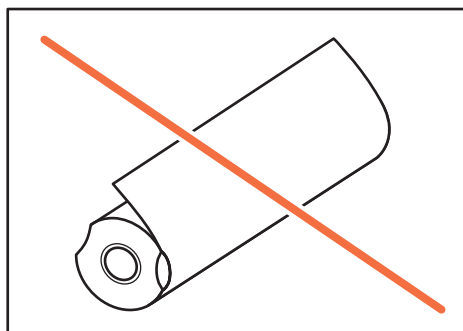
DHJ350

- ロール紙の巻き方向と逆向きにカールしているとき



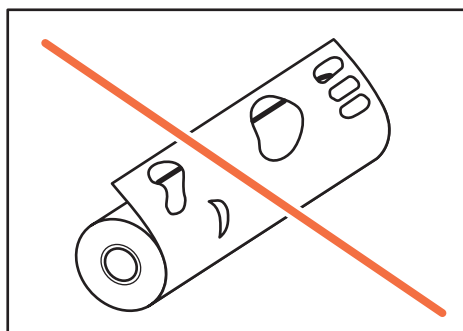
DHJ351

- 角がへこんでいるとき



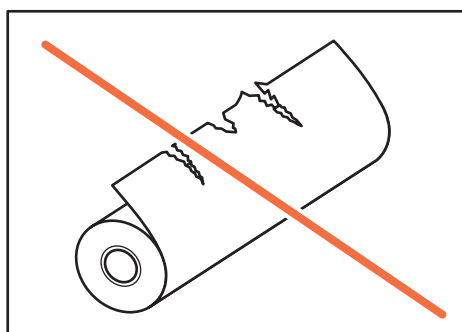
DHJ352

- 穴があいているとき



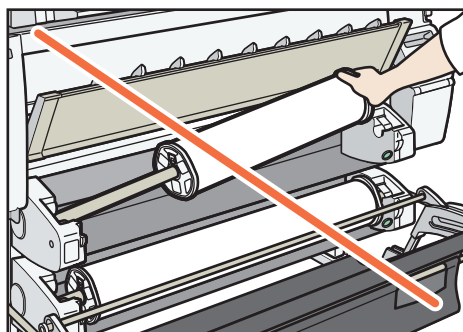
DHJ349

- 破れているとき



DHJ353

- ロール紙を本体にセットしたまま用紙の先端を切り落とすときは、排紙バスケットの布地を切らないように注意してください。
- ロール紙を給紙部から取り外すときは、両手で左右のフランジを持ってください。片方のフランジだけを持ち上げて外さないでください。故障の原因になります。



DNE035

- 用紙の端面が紙管とそろっていないロール紙や残量が少ないロール紙をペーパーホルダーにセットするときは、フランジをロール紙に寄せすぎないでください。ロール紙の端が折れたりしわになったりすることがあります。
- ロール紙の先端をはさみなどで切るときは、用紙の送り方向に対して垂直に切ってください。用紙の先端にうねりがあると、本機の内部に用紙が引き込まれないことがあります。

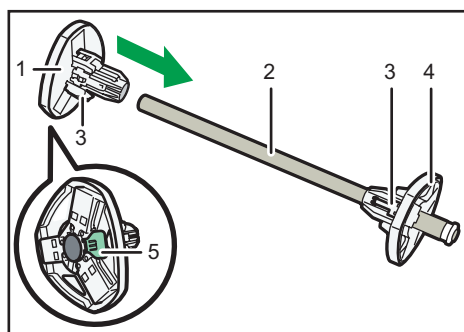
本機の電源が入った状態で、ロール紙をセットします。

ロール紙をセットする前に、排紙バスケットが標準モードにセットされていることを確認してください。詳しくは、P.34「標準モードにセットする」を参照してください。

ロール紙が重いときは、2人で持ってください。

ペーパーホルダーをほかのロール紙に付け替えるときは、ロール紙を平らな場所に置いて作業してください。

ペーパーホルダーの各部の名称



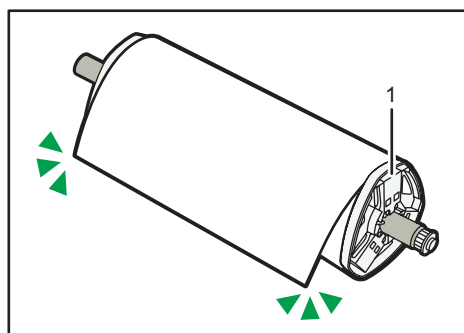
DNE036

4

1. フランジ (左)
2. スプール
3. 紙管調整ツメ
4. フランジ (右)
5. ロックレバー

ロール紙のセット方向

ロール紙を本機やペーパーホルダーにセットするときは、用紙の先端が上から手前に向かって垂れるようにします。



DNE038

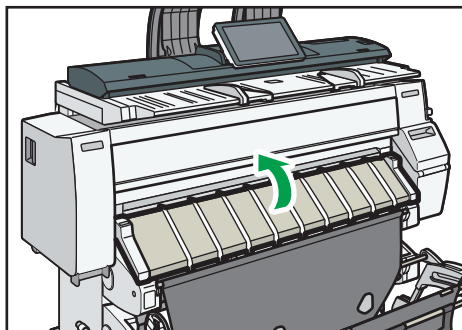
1. フランジ (右)

ロール紙は、給紙部 1 と給紙部 2 の 2 カ所にセットできます。ロール紙のセット方法はどちらの給紙部でも同じです。ここでは、給紙部 1 のロール紙を交換する手順を説明します。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。
2. [コピー] または [プリンター] アイコンを押します。

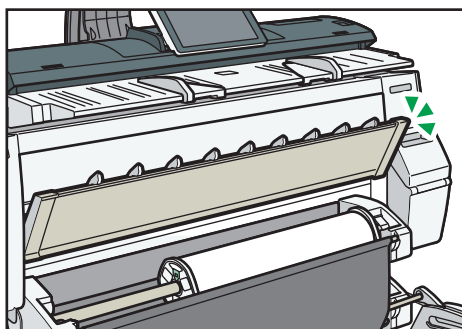
画面に「コピーできます」または「印刷できます」が表示されていることを確認します。

3. 給紙部カバーを、「カチッ」という音がするまで持ち上げます。



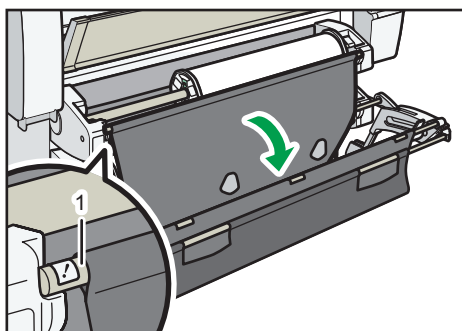
DNE039

給紙部カバーが開いた状態に固定されます。



DNE040

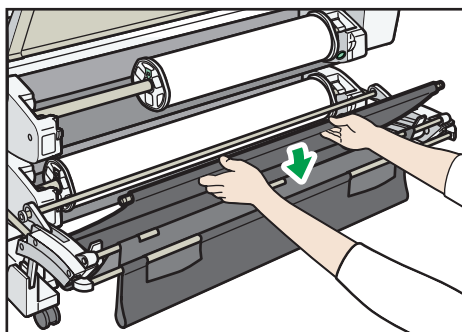
4. 上の給紙部前のパイプ A を外し、排紙バスケットの手前に掛けます。



DNE041

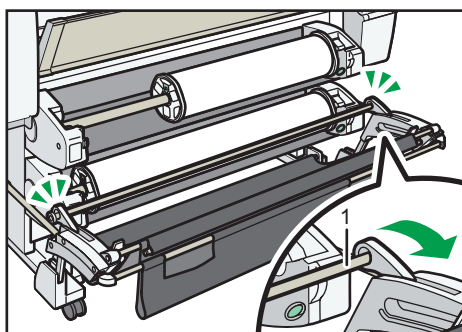
1. パイプ A

給紙部が確認できます。



DNE042

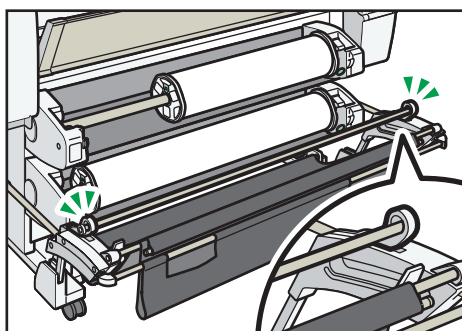
5. パイプ B を手前に倒します。



DNE043

1. パイプ B

給紙部前に空間ができます。



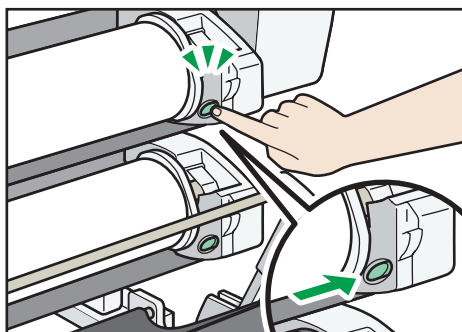
DNE061

6. 給紙部の右側にある巻き取りボタンを 1 秒以上押します。

ボタンを離すとロール紙が自動的に巻き戻されます。

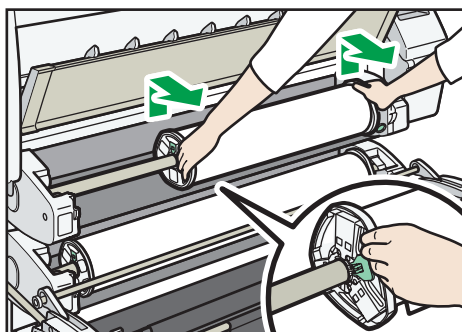
用紙がロールに巻き取られないときは、もう一度ボタンを押してください。

ロール紙がセットされていないときは、手順 12 に進んでください。



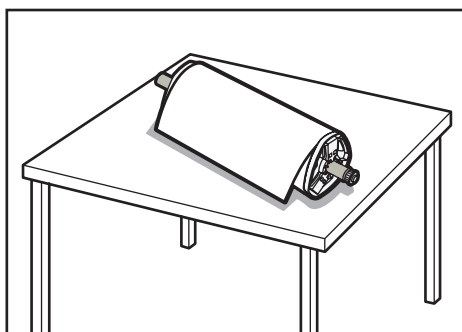
DNE044

7. 左右のフランジをしっかり持って、ロール紙または紙管を給紙部から取り出します。



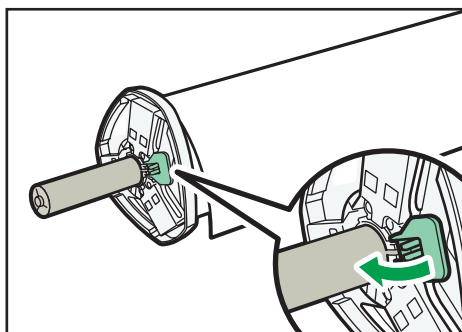
DNE045

8. 取り出したロール紙または紙管を平らなところに置きます。



DNE046

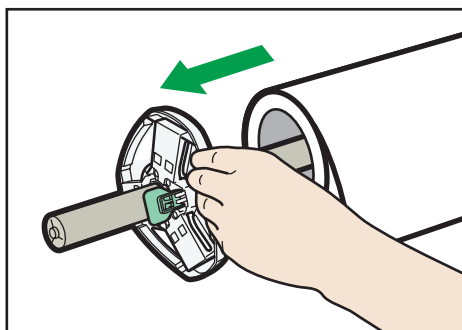
9. 左側のフランジのロックレバーを起こします。



DNE047

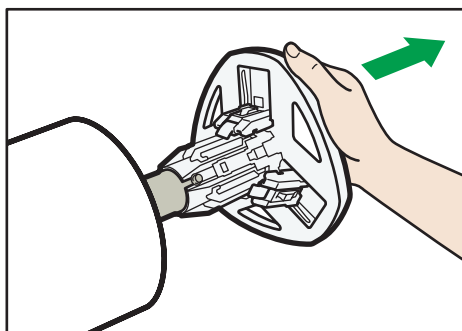
4

10. 左側のフランジをスプールから外します。



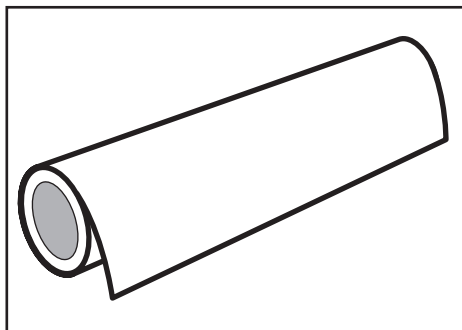
DNE048

11. 右側のフランジをスプールごとロール紙または紙管から抜き取ります。



DNE049

12. 交換用のロール紙を準備します。

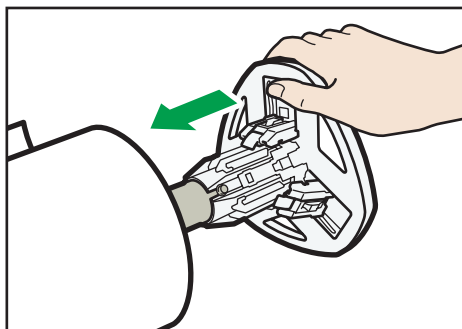


DNE127

13. ロール紙の右側から、スプールがついたフランジをロール紙に当たるまで差し込みます。

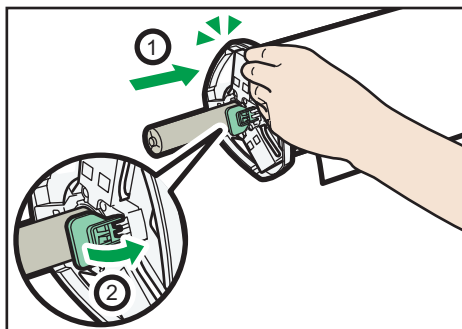
イラストの向きでロール紙をセットします。

ロール紙は横向きに置いたまま、フランジをゆっくり差し込んでください。ロール紙を立てて落下させるなど衝撃を与えないでください。



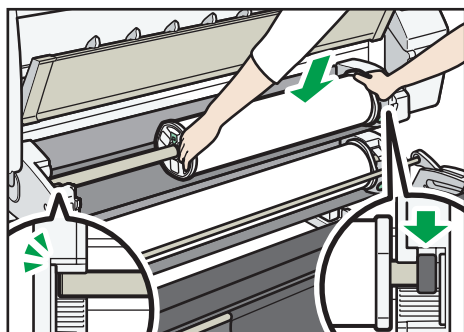
DNE051

14. 左側のフランジを衝撃を与えないようにゆっくりとスプールに奥まではめ込み、ロックレバーを倒します。



DNE052

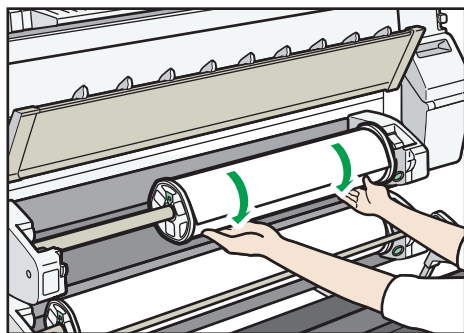
15. 左右のフランジを持って、ロール紙を給紙部にセットします。



DNE053

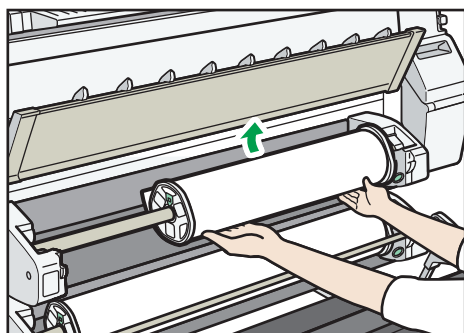
右側の給紙部に、スプールが黒いシャッターでカバーされるようにセットします。

16. 紙の先端が手前にくるようにロール紙を回転させます。



DNE128

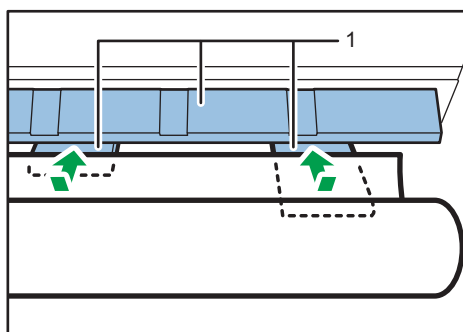
17. 下側のガイドの上部に紙の先端がくるように、ロール紙を奥に回転させます。



DNE129

紙をガイドの間に挿入すると、内部で固定されます。

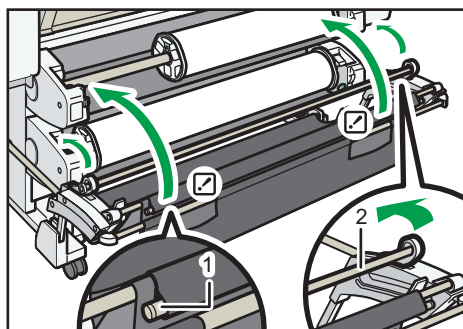
正常にセットされると紙が本機の内部に引き込まれ、「ピッ」と音が鳴ります。



DNE055

1. ガイド

18. パイプ B を本機側に倒し、パイプ A を元の位置に戻します。

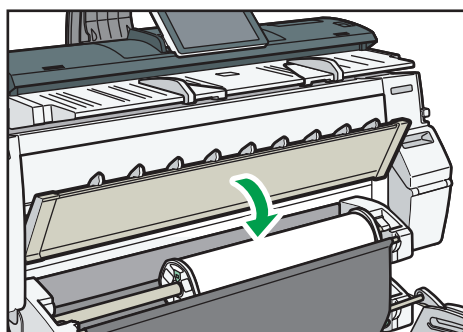


DNE057

1. パイプ A

2. パイプ B

19. 給紙部カバーを下げます。



DNE058

20. コピー画面またはプリンター画面が表示されていることを確認します。

21. 画面で【確認】を押します。

22. ロール紙の先端をカットするかどうかを画面上で選択します。

ロール紙の先端をはさみなどで切ったときや、用紙が湿気を帯びているときは、[カットする] を選択してください。

23. 画面に表示されるメッセージに従って、ロール紙の種類と厚さを設定します。

セットした用紙の種類と厚さが画面に表示されている設定と同じときは、[はい] を押します。

用紙の種類と厚さが画面の表示と異なるときは、[いいえ] を押します。セットする用紙の種類に応じて、用紙の種類と厚さを選択し、[設定] を押します。

24. 画面で給紙部 1 に「回」が表示されていることを確認します。

↓ 補足

- 用紙種類を [フィルム (マット加工)] に設定しているとき、またはこすれ回避を設定しているときは、給紙部カバーを下げたあと画面上で [確認] を押し、必要に応じてシステム初期設定でこすれ回避の設定を変更してください。ただし、「用紙種類」を [フィルム (マット加工)] に設定しているときは自動的にこすれ回避が設定され、こすれ回避の設定を変更することはできません。こすれ回避については、『ネットワークの接続/システム初期設定』『システム初期設定』を参照してください。
- 手順 23 の設定が終わると、ロール紙が機械の内部に引き込まれます。引き込まれた用紙は、排紙部から 1m 程度排出されたあと、自動的に所定の位置まで巻き戻されます。動作が終わるまで、排出された用紙には触らないでください。手順 22 で [カットする] を選択したときは、ロール紙の先端が切り落とされます。
- ロール紙の先端をななめにして本機に挿入したときや、ロール紙とフランジの間にすき間があるときは、ロール紙の先端が本機の内部に引き込まれないことがあります。そのときは、手順 3 からやり直してください。
- 給紙部 1 と給紙部 2 に続けてロール紙をセットするときは、画面で先にセットした給紙部に「回」が表示されていることを確認してから、もう一方の給紙部にロール紙をセットしてください。
- [操作部初期設定] の [報知音] を [音なし] にすると、給紙部にロール紙を差し込んだときに「ピッ」というブザー音が鳴りません。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』『操作部初期設定』を参照してください。
- パソコンから印刷する方法は、P.137 「プリンター機能で給紙部を使用する」を参照してください。
- 給紙部にセットする用紙の種類は、あらかじめ設定できます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』『システム初期設定』を参照してください。
- 用紙の厚さと種類の設定について、詳しくは『ネットワークの接続/システム初期設定』『システム初期設定』を参照してください。
- ロール紙の保管方法は、P.157 「用紙の保管」を参照してください。

プリンター機能で給紙部を使用する

プリンター機能では不定形サイズのロール紙に印刷できます。ここでは、本体の操作部から用紙サイズを設定する方法を説明します。

定形サイズ of 用紙に印刷するときは、用紙サイズは自動的に検知されます。

↓ 補足

- ここで設定した内容は、次に設定し直すまで有効です。
- パソコンから印刷する方法は、『プリンター』「印刷する」を参照してください。

不定形のロール紙のサイズを設定する



エミュレーションを RPGL または RTIFF に設定しているときに、操作部から不定形のロール紙サイズを設定する方法を説明します。

エミュレーションを切り替える方法は、『RP-GL/2&RTIFF』「エミュレーションを切り替える」を参照してください。

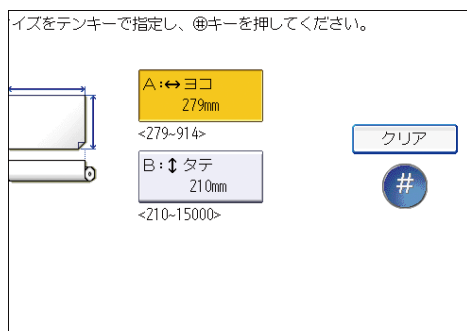
設定できる用紙サイズは次のとおりです。

- RICOH MP CW2201 シリーズ：ヨコ 279～914mm、タテ 210～15000mm
- RICOH MP CW1201 シリーズ：ヨコ 279～610mm、タテ 210～15000mm

エミュレーションを RTIFF に設定しているとき、工場出荷時の設定では不定形のロール紙のサイズを自動的に検知できます。

1. 画面中央下の [ホーム] () を押します。
2. 左にフリックし、[初期設定] アイコン () を押します。
3. [本体初期設定] を押します。
4. [プリンター初期設定] を押します。
5. [システム設定 (EM)] を押します。
6. [不定形サイズ設定：給紙部 1] または [不定形サイズ設定：給紙部 2] を選択します。

7. テンキーでヨコの長さを入力し、[#]を押します。



8. テンキーでタテの長さを入力し、[#]を押します。

9. [設定] を押します。

10. 画面右上の [初期設定] (⚙️) を押します。

11. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

↓ 補足

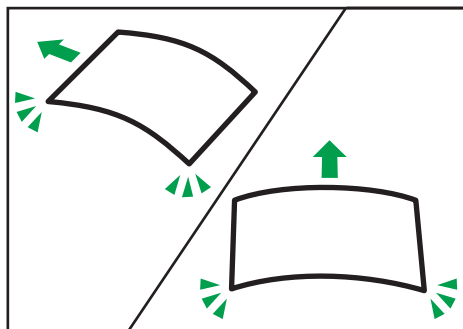
- [システム設定 (EM)] は、エミュレーションで [RPGL] または [RTIFF] を選択しているときに表示されます。

手差し給紙部に用紙をセットする

給紙部にセットできないサイズ用の紙をセットできます。


★ 重要

- 印刷中はプリントヘッドが青色に点灯します。プリントヘッドが青色に点灯している間は、前カバーを開けないでください。紙づまりの原因になります。
- カールしている用紙は、用紙の両端が浮かないような向きでセットしてください。



CPT042

- 手差し給紙部に A1□より長い用紙をセットするときは、あらかじめ本機の後ろの床にきれいな布または紙を敷いてください。用紙の先端が床に触れてほこりなどが付着すると、故障の原因になります。
- 用紙を重ねて挿入しないでください。
- 指定していない用紙以外は通紙しないでください。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。

2. ［コピー］ または ［プリンター］ アイコンを押します。

画面に「コピーできます」または「印刷できます」が表示されていることを確認します。

3. ロール紙がセットされている給紙部の右側にある巻き取りボタンを、1 秒以上押します。

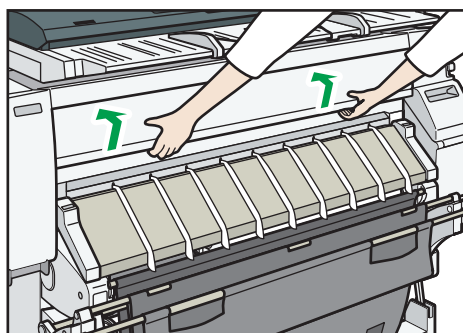
ボタンを離すとロール紙が自動的に巻き戻されます。

ロール紙がセットされていないときは、手順 4 に進んでください。



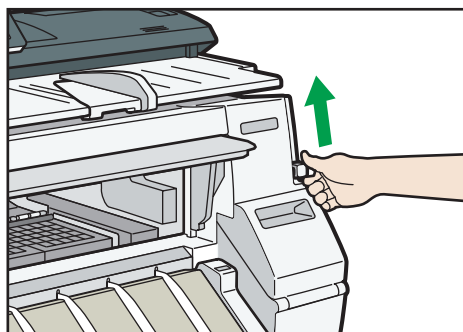
DNE018

4. 前カバーを開きます。



DNE019

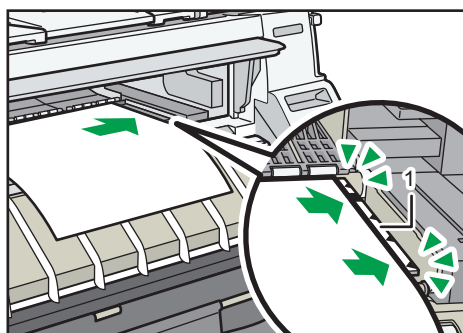
5. 本体の右側にある、用紙固定レバーを上げます。



DNE020

4

6. 印刷面を上にして、用紙の右側を、プラテンの右側にある用紙セット位置に合わせます。



DNE021

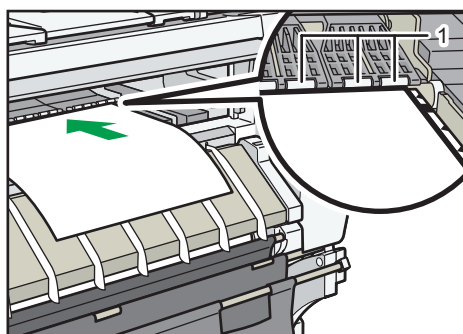
1. 用紙セット位置

7. 手差し給紙部の奥側に軽く突き当たるまで、ローラーの下に用紙を挿入します。

用紙は両手で、斜めにならないように挿入してください。

手差し給紙部の奥側に突き当たると、約2秒後に「ピッ」と音が鳴ります。

音が鳴らないときは、もう一度用紙をセットしてください。

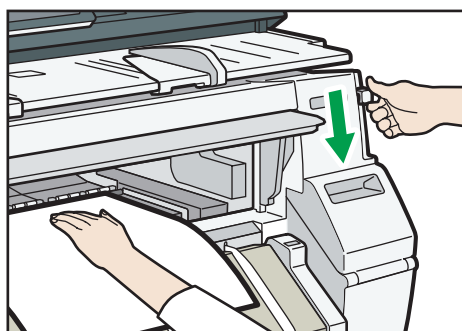


DNE123

1. ローラー

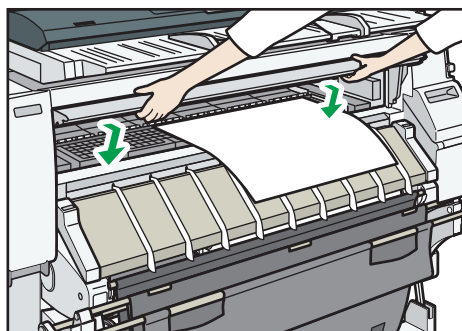
8. 用紙固定レバーを下げて、用紙の位置を固定します。

用紙を手で押さえながら用紙固定レバーを下げてください。



DNE022

9. 前カバーを閉めます。



DNE023

10. コピー画面またはプリンター画面が表示されていることを確認します。

11. 画面に表示されるメッセージに従って、用紙の種類と厚さを設定します。

セットした用紙の種類と厚さが画面に表示されている設定と同じときは、[はい] を押します。

用紙の種類と厚さが画面の表示と異なるときは、[いいえ] を押します。セットした用紙の種類に応じて、用紙の種類と厚さを選択し、[設定] を押します。

12. 画面で手差し給紙部に「E」が表示されていることを確認します。

↓ 補足

- 電源を入れたあと、画面に「おまちください」と表示されている間は操作しないでください。
- ロール紙を巻き戻すときは、巻き取りボタンを押してください。手動で巻き戻すと紙づまりの原因になります。
- 用紙種類を [フィルム (マット加工)] に設定しているとき、またはこすれ回避を設定しているときは、前カバーを閉めたあと画面上で [確認] を押し、必要に応じてシステム初期設定でこすれ回避の設定を変更してください。ただし、「用紙種類」を [フィルム (マット加工)] に設定しているときは自動的にこすれ回避が設定され、こ

すれ回避の設定を変更することはできません。こすれ回避については、『ネットワークの接続/システム初期設定』『システム初期設定』を参照してください。

- 用紙の両面に印刷しないでください。
- 一度印刷した用紙を再使用しないでください。
- 用紙を重ねて挿入しないでください。紙づまりや品質低下の原因になります。
- 複数枚の用紙に印刷するときは、印刷した用紙が本機から完全に排出されてから次の用紙をセットしてください。
- 手差し給紙部にカールの強い用紙をセットすると、用紙の先端が手差し給紙部に入りにくいことがあります。用紙のカールを手で伸ばしてからセットしてください。
- 給紙部にセットしたロール紙の先端が本機から排出されているときは、手差し給紙部を使用し終わってから用紙をセットし直してください。ロール紙をセットする方法は、P.124「給紙部にロール紙をセットする」を参照してください。
- 手差し給紙部にセットする用紙の種類は、あらかじめ設定できます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』『システム初期設定』を参照してください。
- [操作部初期設定] の [報知音] を [音なし] にすると、給紙部に用紙を突き当てたときに「ピッ」というブザー音が鳴りません。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』『操作部初期設定』を参照してください。
- 手差し給紙部を使用してコピーするときは、『コピー/ドキュメントボックス』『手差し給紙部からコピーする』を参照してください。パソコンから印刷するときは、P.142「プリンター機能で手差し給紙部を使用する」を参照してください。
- 本体背面のケーブルなどが用紙に引っかからないように注意してください。

プリンター機能で手差し給紙部を使用する



プリンター機能で手差し給紙部の用紙に印刷するときは、用紙サイズや種類を操作部から設定できます。

パソコンから印刷する方法は、『プリンター』『印刷する』を参照してください。

↓ 補足

- ここで設定した内容は、次に設定し直すまで有効です。
- 工場出荷時、[用紙設定] の [プリンター手差し用紙サイズ] は [A4□] に設定されています。

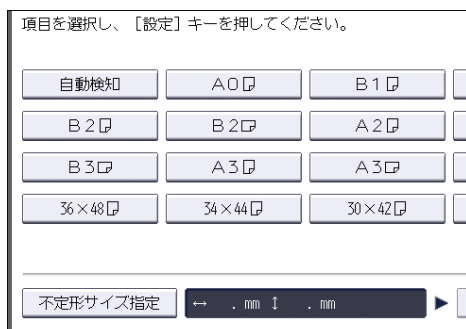
定形の用紙サイズを設定する

1. 画面中央下の [ホーム] () を押します。
2. 左にフリックし、[初期設定] アイコン () を押します。
3. [用紙設定] を押します。

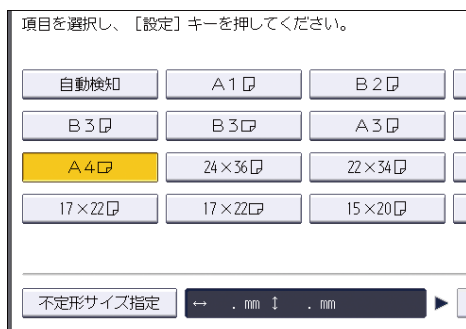
4. [プリンター手差し用紙サイズ] を押します。

5. 用紙サイズを選択します。

RICOH MP CW2201 シリーズ



RICOH MP CW1201 シリーズ



6. [設定] を押します。

7. 画面右上の [初期設定] (⚙️) を押します。

8. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

不定形用の紙サイズを設定する

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

2. 左にフリックし、[初期設定] アイコン (⚙️) を押します。

3. [用紙設定] を押します。

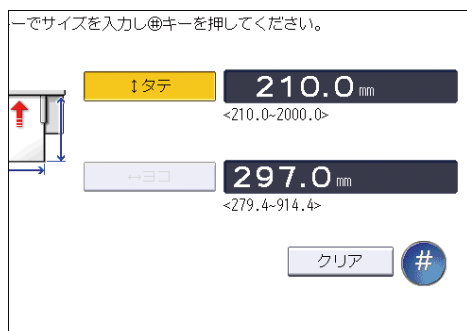
4. [プリンター手差し用紙サイズ] を押します。

5. [不定形サイズ指定] を押します。

不定形サイズがすでに設定されているときは、[サイズ変更] を押します。

6. [タテ] を押します。

7. テンキーで「タテ」の寸法を入力し、[#]を押します。



8. [ヨコ] を押します。

9. テンキーで「ヨコ」の寸法を入力し、[#]を押します。

10. [設定] を 2 回押します。

11. 画面右上の [初期設定] (⚙️) を押します。

12. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

用紙の種類を設定する

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

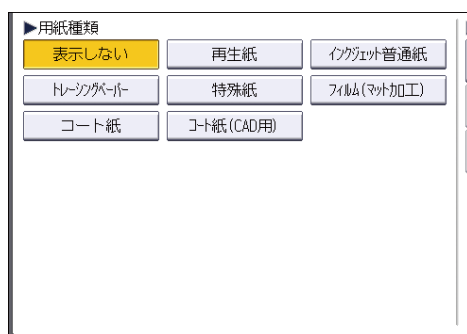
2. 左にフリックし、[初期設定] アイコン (⚙️) を押します。

3. [用紙設定] を押します。

4. [▼次へ] を押します。


5. [用紙種類設定：手差し給紙部] を押します。

6. セットする用紙の種類と厚さに応じて、適切な項目を選択します。



7. [設定] を押します。

8. 画面右上の [初期設定] (⚙️) を押します。

9. 画面中央下の [ホーム] () を押します。

セットできる用紙

各給紙部で利用できる用紙のサイズと種類、使用できない用紙、用紙の保管方法を説明します。

セットできる用紙サイズ、種類

各給紙部にセットできる用紙の種類、サイズ、枚数について説明します。

★重要

- 湿気や乾燥によって用紙がそっているときは、紙づまりが発生することがあります。
- トレーシングペーパーやマットフィルムはインクジェット専用のものを使用してください。

RICOH MP CW2201 シリーズ

給紙部 1～2

用紙種類、紙厚	用紙サイズ	枚数
普通上質紙 51～90g/m ² (44～77kg) 薄紙～普通紙	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ (50.8mm)、3 インチ (76.2mm) 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、490mm、515mm、594mm、610mm (24 インチ)、620mm、625mm、660mm、680mm、707mm、728mm、800mm、841mm、880mm、914mm (36 インチ)	-
再生紙 51～90g/m ² (44～77kg) 薄紙～普通紙	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、490mm、515mm、594mm、610mm (24 インチ)、620mm、625mm、660mm、680mm、707mm、728mm、800mm、841mm、880mm、914mm (36 インチ)	-
トレーシングペーパー (第二原図用紙) 51～90g/m ² (44～77kg) 薄紙～普通紙	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、490mm、515mm、594mm、610mm (24 インチ)、620mm、625mm、660mm、680mm、707mm、728mm、800mm、841mm、880mm、914mm (36 インチ)	-

用紙種類、紙厚	用紙サイズ	枚数
特殊紙 51～190g/m ² (44～163kg) 薄紙～厚紙 1	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、490mm、515mm、594mm、610mm (24 インチ)、620mm、625mm、660mm、680mm、707mm、728mm、800mm、841mm、880mm、914mm (36 インチ)	-
フィルム (マット加工) 51～190g/m ² (44～163kg) 薄紙～厚紙 1	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、490mm、515mm、594mm、610mm (24 インチ)、620mm、625mm、660mm、680mm、707mm、728mm、800mm、841mm、880mm、914mm (36 インチ)	-
コート紙 (CAD 用) 64～125g/m ² (55～108kg) 普通紙～中厚口	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、490mm、515mm、594mm、610mm (24 インチ)、620mm、625mm、660mm、680mm、707mm、728mm、800mm、841mm、880mm、914mm (36 インチ)	-
コート紙 64～190g/m ² (55～163kg) 普通紙～厚紙 1	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、490mm、515mm、594mm、610mm (24 インチ)、620mm、625mm、660mm、680mm、707mm、728mm、800mm、841mm、880mm、914mm (36 インチ)	-
インクジェット普通紙 51～125g/m ² (44～108kg) 薄紙～中厚口	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、490mm、515mm、594mm、610mm (24 インチ)、620mm、625mm、660mm、680mm、707mm、728mm、800mm、841mm、880mm、914mm (36 インチ)	-

手差し給紙部

用紙種類、紙厚	用紙サイズ	枚数
普通上質紙 51～90g/m ² (44～77kg) 薄紙～普通紙	カット紙 定形サイズ：A0□、A1□、A2□、A3□ □、A4□、B1□、B2□、B3□、B4□、 880×1230mm□、880×1189mm□、880× 615mm□、880×594mm□、800×1189mm □、800×594mm□、707×1000mm□、707 ×500mm□、680×841mm□、680×420mm □、660×841mm□、660×420mm□、625× 880mm□、625×440mm□、620×880mm□、 620×440mm□、490×594mm□、490× 420mm□、490×297mm□、440×615mm □、440×594mm□、440×420mm□、440× 297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～914.4mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚
再生紙 51～90g/m ² (44～77kg) 薄紙～普通紙	カット紙 定形サイズ：A0□、A1□、A2□、A3□ □、A4□、B1□、B2□、B3□、B4□、 880×1230mm□、880×1189mm□、880× 615mm□、880×594mm□、800×1189mm □、800×594mm□、707×1000mm□、707 ×500mm□、680×841mm□、680×420mm □、660×841mm□、660×420mm□、625× 880mm□、625×440mm□、620×880mm□、 620×440mm□、490×594mm□、490× 420mm□、490×297mm□、440×615mm □、440×594mm□、440×420mm□、440× 297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～914.4mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚

用紙種類、紙厚	用紙サイズ	枚数
<p>トレーシングペーパー (第二原図用紙) 51～90g/m² (44～77kg) 薄紙～普通紙</p>	<p>カット紙 定形サイズ：A0□、A1□□、A2□□、A3□□、A4□、B1□、B2□□、B3□□、B4□、880×1230mm□、880×1189mm□、880×615mm□、880×594mm□、800×1189mm□、800×594mm□、707×1000mm□、707×500mm□、680×841mm□、680×420mm□、660×841mm□、660×420mm□、625×880mm□、625×440mm□、620×880mm□、620×440mm□、490×594mm□、490×420mm□、490×297mm□、440×615mm□、440×594mm□、440×420mm□、440×297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～914.4mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm</p>	1 枚
<p>特殊紙 51～220g/m² (44～189kg) 薄紙～厚紙 2</p>	<p>カット紙 定形サイズ：A0□、A1□□、A2□□、A3□□、A4□、B1□、B2□□、B3□□、B4□、880×1230mm□、880×1189mm□、880×615mm□、880×594mm□、800×1189mm□、800×594mm□、707×1000mm□、707×500mm□、680×841mm□、680×420mm□、660×841mm□、660×420mm□、625×880mm□、625×440mm□、620×880mm□、620×440mm□、490×594mm□、490×420mm□、490×297mm□、440×615mm□、440×594mm□、440×420mm□、440×297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～914.4mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm</p>	1 枚

用紙種類、紙厚	用紙サイズ	枚数
フィルム（マット加工） 51～190g/m ² （44～ 163kg） 薄紙～厚紙 1	カット紙 定形サイズ：A0□、A1□□、A2□□、A3□ □、A4□、B1□、B2□□、B3□□、B4□、 880×1230mm□、880×1189mm□、880× 615mm□、880×594mm□、800×1189mm □、800×594mm□、707×1000mm□、707 ×500mm□、680×841mm□、680×420mm □、660×841mm□、660×420mm□、625× 880mm□、625×440mm□、620×880mm□、 620×440mm□、490×594mm□、490× 420mm□、490×297mm□、440×615mm □、440×594mm□、440×420mm□、440× 297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～914.4mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚
コート紙（CAD 用） 64～125g/m ² （55～ 108kg） 普通紙～中厚口	カット紙 定形サイズ：A0□、A1□□、A2□□、A3□ □、A4□、B1□、B2□□、B3□□、B4□、 880×1230mm□、880×1189mm□、880× 615mm□、880×594mm□、800×1189mm □、800×594mm□、707×1000mm□、707 ×500mm□、680×841mm□、680×420mm □、660×841mm□、660×420mm□、625× 880mm□、625×440mm□、620×880mm□、 620×440mm□、490×594mm□、490× 420mm□、490×297mm□、440×615mm □、440×594mm□、440×420mm□、440× 297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～914.4mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚

用紙種類、紙厚	用紙サイズ	枚数
コート紙 64～220g/m ² (55～189kg) 普通紙～厚紙 2	カット紙 定形サイズ：A0□、A1□□、A2□□、A3□□、A4□、B1□、B2□□、B3□□、B4□、880×1230mm□、880×1189mm□、880×615mm□、880×594mm□、800×1189mm□、800×594mm□、707×1000mm□、707×500mm□、680×841mm□、680×420mm□、660×841mm□、660×420mm□、625×880mm□、625×440mm□、620×880mm□、620×440mm□、490×594mm□、490×420mm□、490×297mm□、440×615mm□、440×594mm□、440×420mm□、440×297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～914.4mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚
インクジェット普通紙 51～125g/m ² (44～108kg) 薄紙～中厚口	カット紙 定形サイズ：A0□、A1□□、A2□□、A3□□、A4□、B1□、B2□□、B3□□、B4□、880×1230mm□、880×1189mm□、880×615mm□、880×594mm□、800×1189mm□、800×594mm□、707×1000mm□、707×500mm□、680×841mm□、680×420mm□、660×841mm□、660×420mm□、625×880mm□、625×440mm□、620×880mm□、620×440mm□、490×594mm□、490×420mm□、490×297mm□、440×615mm□、440×594mm□、440×420mm□、440×297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～914.4mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚

RICOH MP CW1201 シリーズ

給紙部 1～2

用紙種類、紙厚	用紙サイズ	枚数
普通上質紙 51～90g/m ² (44～77kg) 薄紙～普通紙	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、490mm、515mm、594mm、610mm (24 インチ)	-

用紙種類、紙厚	用紙サイズ	枚数
再生紙 51～90g/m ² (44～77kg) 薄紙～普通紙	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、 490mm、515mm、594mm、610mm (24 イ ンチ)	-
トレーシングペーパー (第二原図用紙) 51～90g/m ² (44～77kg) 薄紙～普通紙	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、 490mm、515mm、594mm、610mm (24 イ ンチ)	-
特殊紙 51～190g/m ² (44～ 163kg) 薄紙～厚紙 1	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、 490mm、515mm、594mm、610mm (24 イ ンチ)	-
フィルム (マット加工) 51～190g/m ² (44～ 163kg) 薄紙～厚紙 1	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、 490mm、515mm、594mm、610mm (24 イ ンチ)	-
コート紙 (CAD 用) 64～125g/m ² (55～ 108kg) 普通紙～中厚口	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、 490mm、515mm、594mm、610mm (24 イ ンチ)	-
コート紙 64～190g/m ² (55～ 163kg) 普通紙～厚紙 1	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、 490mm、515mm、594mm、610mm (24 イ ンチ)	-
インクジェット普通紙 51～125g/m ² (44～ 108kg) 薄紙～中厚口	ロール紙 直径：176mm 以下 紙管：2 インチ、3 インチ 幅：297mm、364mm、420mm、440mm、 490mm、515mm、594mm、610mm (24 イ ンチ)	-

手差し給紙部

用紙種類、紙厚	用紙サイズ	枚数
普通上質紙 51～90g/m ² (44～77kg) 薄紙～普通紙	カット紙 定形サイズ：A1□、A2□□、A3□□、A4□、 B2□、B3□□、B4□、490×594mm□、490 ×420mm□、490×297mm□、440×615mm □、440×594mm□、440×420mm□、440× 297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～610.0mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚
再生紙 51～90g/m ² (44～77kg) 薄紙～普通紙	カット紙 定形サイズ：A1□、A2□□、A3□□、A4□、 B2□、B3□□、B4□、490×594mm□、490 ×420mm□、490×297mm□、440×615mm □、440×594mm□、440×420mm□、440× 297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～610.0mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚
トレーシングペーパー (第二原図用紙) 51～90g/m ² (44～77kg) 薄紙～普通紙	カット紙 定形サイズ：A1□、A2□□、A3□□、A4□、 B2□、B3□□、B4□、490×594mm□、490 ×420mm□、490×297mm□、440×615mm □、440×594mm□、440×420mm□、440× 297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～610.0mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚
特殊紙 51～220g/m ² (44～ 189kg) 薄紙～厚紙 2	カット紙 定形サイズ：A1□、A2□□、A3□□、A4□、 B2□、B3□□、B4□、490×594mm□、490 ×420mm□、490×297mm□、440×615mm □、440×594mm□、440×420mm□、440× 297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～610.0mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚

用紙種類、紙厚	用紙サイズ	枚数
フィルム（マット加工） 51～190g/m ² （44～163kg） 薄紙～厚紙 1	カット紙 定形サイズ：A1□、A2□□、A3□□、A4□、 B2□、B3□□、B4□、490×594mm□、490 ×420mm□、490×297mm□、440×615mm □、440×594mm□、440×420mm□、440× 297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～610.0mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚
コート紙（CAD 用） 64～125g/m ² （55～108kg） 普通紙～中厚口	カット紙 定形サイズ：A1□、A2□□、A3□□、A4□、 B2□、B3□□、B4□、490×594mm□、490 ×420mm□、490×297mm□、440×615mm □、440×594mm□、440×420mm□、440× 297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～610.0mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚
コート紙 64～220g/m ² （55～189kg） 普通紙～厚紙 2	カット紙 定形サイズ：A1□、A2□□、A3□□、A4□、 B2□、B3□□、B4□、490×594mm□、490 ×420mm□、490×297mm□、440×615mm □、440×594mm□、440×420mm□、440× 297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～610.0mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚
インクジェット普通紙 51～125g/m ² （44～108kg） 薄紙～中厚口	カット紙 定形サイズ：A1□、A2□□、A3□□、A4□、 B2□、B3□□、B4□、490×594mm□、490 ×420mm□、490×297mm□、440×615mm □、440×594mm□、440×420mm□、440× 297mm□ 不定形サイズ： 用紙幅：279.4～610.0mm 用紙長さ：210.0～2000.0mm	1 枚

用紙厚さについて*1

用紙厚さの定義は、以下のとおりです。

用紙厚さ	用紙紙厚
薄紙	51～63g/m ² （44～54kg）
普通紙	64～90g/m ² （55～77kg）

用紙厚さ	用紙紙厚
中厚口	91～125g/m ² (78～108kg)
厚紙 1	126～190g/m ² (108～163kg)
厚紙 2	191～220g/m ² (164～189kg)

*1 最小用紙紙厚または最大用紙紙厚に近い厚さの用紙を使用すると、印刷結果が不適切になることがあります。そのときは、用紙厚さを薄めまたは厚めの設定に切り替えて印刷してください。

【特殊紙】について

用紙の用途に合わせて【特殊紙】を設定できます。使用できる用紙の種類については、販売店またはサービス実施店にお問い合わせください。

↓ 補足

- 用紙はできるだけ当社製品を使用してください。用紙の厚さが適当であれば市販されているものを使用できます。「マイペーパー」程度のものが最適です。
- 推奨紙については、販売店またはサービス実施店にお問い合わせください。
- 用紙の種類によっては乾燥しにくいことがあります。事前に販売店またはサービス実施店にお問い合わせください。
- 給紙部から印刷できるロール紙の長さは、用紙の種類によって異なります。普通上質紙または再生紙では最長 15000mm、その他の用紙では最長 3600mm です。
- RICOH MP CW2201 シリーズでは、次の項目にすべて当てはまるロール紙は給紙部 1 にセットしてください。
 - 幅が 841mm を超えるもの
 - 厚さが 0.150mm 以上のもの
 - 重さが 120g/m² (103kg) 以上のもの
- 湿度が高く、ロール紙が湿気を帯びているときは、使用する直前にロール紙の先端をはさみなどで約 1000 ミリ切り落としてください。また、ロール紙を給紙部にセットしたあと、ロール紙の先端をカットするか設定する画面でも【カットする】を選択してください。
- 給紙部 1 と給紙部 2 に同じ幅、紙厚、用紙種類のロール紙をセットしていると、コピー中に用紙がなくなったとき自動的にもう一方の給紙部から続けて給紙できます。これを「リミットレス給紙」といいます。大量にコピーするときでも、用紙補給でコピーが中断されません。給紙部の用紙種類は、【用紙種類設定】で設定できます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』『用紙設定』を参照してください。「リミットレス給紙」の設定方法は『コピー/ドキュメントボックス』『基本コピー設定』を参照してください。
- 写真など、画像が多い原稿やデータをトレーシングペーパーに印刷したときは、1 時間程度乾燥させてから用紙を重ねてください。

- マットフィルムを使用するときは、本機の設置環境を室温 15°C、湿度 40%より高く調整してください。低温低湿の環境では、使用するフィルムの銘柄によって画像異常が発生することや、用紙の裏面が汚れることがあります。
- 「用紙種類」を「フィルム（マット加工）」に設定しているときは自動的にこすれ回避が設定され、こすれ回避の設定を変更することはできません。こすれ回避については、『ネットワークの接続/システム初期設定』『システム初期設定』を参照してください。

使用できない用紙

⚠ 注意



- ステープラーの針がついたままの用紙や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

★ 重要

- 次のような表面が加工された用紙は使用しないでください。故障の原因になります。
 - 感熱紙
 - アート紙
 - 銀紙
 - カーボン紙
 - 導電性の用紙
 - 電子写真用のトレーシングペーパー
 - OHP 用紙
 - ミシンがけ用紙
 - インデックス紙
 - 封筒
- 一度印刷した面に重ねてコピーや印刷をしないでください。故障の原因になります。

↓ 補足

- 次の用紙はセットしないでください。紙づまりが発生することがあります。
 - そり、折れ、しわのある用紙
 - 穴があいている用紙
 - ツルツルすべる用紙
 - 破れのある用紙
 - すべりにくい用紙
 - 薄くてやわらかい用紙

- 表面に紙粉が多い用紙
- ラベル紙
- 目の粗いまたは凹凸のある用紙に印刷すると画像がかすれることがあります。
- 推奨紙以外の用紙（特にケミカル和紙など）を使用すると、用紙がつまることや、画像異常やしわなどが発生することがあります。
- 本機以外で一度コピーまたは印字された用紙は再使用しないでください。用紙の保管状態によっては、紙づまりなどが発生することがあります。
- 用紙の両面に印刷しないでください。


用紙の保管


4

- 用紙の保管には、次の注意を守ってください。
 - 直射日光の当たらないところに置いてください。
 - 乾燥したところ（湿度 70%以下）に置いてください。
 - 平らなところに置いてください。
 - 用紙は立てかけないでください。
- 一度開封した用紙は湿気を吸わないようにポリ袋に入れてください。

用紙の取り扱い

設置場所の湿度によって、用紙は次のように取り扱ってください。

%	用紙の状態	処置
高湿	トレーシングペーパー（第二原図用紙）、普通紙ともに白抜け、しわなどが発生します。	<ul style="list-style-type: none"> • 設置環境の整備（空調設備、除湿器の設置）をしてください。 • 使用後、すぐに用紙を本機から取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。
	トレーシングペーパー（第二原図用紙）、普通紙ともに白抜けが発生します。	<ul style="list-style-type: none"> • 機械の使用間隔があくときは、用紙を本機から取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。
70～40%（目安）	-	<ul style="list-style-type: none"> • 1日の使用終了後は、用紙をポリ袋に入れて保管してください。

%	用紙の状態	処置
	トレーシングペーパー（第二原図用紙）に白抜けが発生します。	<ul style="list-style-type: none">• 機械の使用間隔があくときは、トレーシングペーパー（第二原図用紙）を本機から取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。
低湿	トレーシングペーパー（第二原図用紙）、普通紙ともに白抜け、しわなどが発生します。	<ul style="list-style-type: none">• 設置環境の整備（空調設備、加湿器の設置）をしてください。• 使用後、すぐに用紙を本機から取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。

5. 便利な機能

よく使用する設定の登録方法、ホーム画面のカスタマイズ方法、Web ページを操作画面に表示する方法について説明しています。また、ジョブの管理のしかたについても説明しています。

よく使用する設定を登録する

よく使用する設定をプログラムに登録できます。

登録した設定は、次のように呼び出せます。

- 基本アプリケーション：[プログラムの呼び出し/登録/変更] を押します。
- かんたんアプリ：画面中央下の [メニュー] (☰) を押したあと、[プログラム呼び出し] を押します。

5

プログラムに設定を登録する

プログラムは機能によって登録できる件数が異なります。

基本アプリケーション

- コピー機能：25 件
- ドキュメントボックス機能：25 件
- スキャナー機能：25 件

かんたんアプリ

- かんたんスキャナー機能：100 件

プログラムに登録できる設定は、次のとおりです。

基本アプリケーション

- コピー機能
高速コピー、カラーモード、原稿種類、コピー濃度、原稿設定、給紙部/手差し給紙部、文書蓄積（「ユーザー名」、「文書名」、「パスワード」を除く）、シンクロカット、フリーカット、用紙指定変倍、仕上げ、オートモード変倍、編集/カラー、印刷位置調整、集約、変倍、コピー部数
- ドキュメントボックス機能（文書印刷初期画面）
仕上げ、印刷位置調整、印字、印刷部数
- スキャナー機能
読み取り条件、読み取り濃度、次原稿待機、原稿送り、ファイル形式/ファイル名（「セキュリティ設定」、「連番開始番号」を除く）、宛先表から選択した宛先、文書蓄積（「ユーザー名」、「文書名」、「パスワード」を除く）、プレビュー、本文、件名、セキュリティー、受信確認、文書送信方法

かんたんアプリ

- かんたんスキャナー機能

宛先、原稿種類、ファイル形式、解像度、原稿セット方向、読み取りサイズ、プレビュー

ここでは、各アプリケーションでの設定方法を説明します。

基本アプリケーション

1. コピー、ドキュメントボックス、またはスキャナー画面で、登録する内容を設定します。
ドキュメントボックス機能を使用しているときは、文書印刷初期画面で設定します。
2. 画面左下の【プログラムの呼び出し/登録/変更】を押します。
3. 【登録】を押します。
4. 登録するプログラムの番号を押します。

プログラム (スキャナー)	
登録するプログラムNo.を選択してください。	
◇呼び出し	◇登録
名称変更	消去
001 ＊未登録	002 ＊未登録
003 ＊未登録	004 ＊未登録
005 ＊未登録	006 ＊未登録
007 ＊未登録	008 ＊未登録
009 ＊未登録	010 ＊未登録
011 ＊未登録	012 ＊未登録

5. プログラム名を入力します。
6. 【OK】を押します。
7. 【閉じる】を押します。

かんたんアプリ


1. かんたんスキャナー画面で、登録する内容を設定します。
2. 画面中央下の【メニュー】(☰)を押します。
3. 【現在の設定をプログラム登録】を押します。
4. 登録するプログラムの番号を押します。
5. プログラム名を入力します。
6. アイコンを選択します。
7. 【前の画面へ】を押します。
8. 【OK】を押します。

9. [配置する] を押します。

[配置しない] を選択したときでも、あとからホーム画面にプログラムのショートカットアイコンを作成できます。

10. [確認] を押します。

↓ 補足

- プログラム名として入力できる文字数は、機能によって異なります。
 - 基本アプリケーション
 - コピー機能：全角 17 文字、半角 34 文字
 - ドキュメントボックス機能：全角 17 文字、半角 34 文字
 - スキャナー機能：全角 17 文字、半角 34 文字
 - かんたんアプリ
 - かんたんスキャナー機能：全角 40 文字、半角 40 文字
- 設定したプログラムを初期値として登録すると、プログラムを呼び出さなくても、電源を入れた直後、オートクリアしたとき、またはリセットしたときに表示される初期画面の初期値として設定されます。登録のしかたについては、P.168「初期画面に表示される機能を変更する」を参照してください。
- プログラムに登録した給紙部の用紙がなくなったとき、同じサイズ of 用紙が別の給紙部にも設定されているときは、選択される給紙部が自動的に切り替わります。
- スキャナー機能のプログラムに宛先を登録できるのは、[スキャナー初期設定] の [プログラムへの宛先設定登録] を [宛先を含める] に設定しているときだけです。スキャナー初期設定については、『スキャナー』『基本設定』を参照してください。
- 宛先保護コードが設定されたフォルダー宛先は、スキャナー機能のプログラムに登録できません。
- 消去または上書きしない限り、電源を切ったり、[リセット] を押したりしても登録した内容は取り消されません。
- 基本アプリケーションのプログラム画面で  が表示されている番号には、すでにプログラムが登録されています。
- コピー、スキャナー、かんたんスキャナー機能で登録したプログラムをホーム画面に登録し、簡単に呼び出せます。詳しくは、P.172「アイコンをホーム画面に追加する」を参照してください。ドキュメントボックス機能で登録したプログラムへのショートカットは、ホーム画面に登録できません。
- やさしくシリーズの操作画面でプログラムを登録する方法は、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』『やさしくシリーズの操作画面でよく使用する設定を登録する』を参照してください。

プログラムの設定例（基本アプリケーションを使用しているとき）

コピー機能

プログラム名	プログラム内容	効果
日付入り丸秘コピー	〔編集/カラー〕で〔スタンプ印字〕の〔マル秘〕と、〔日付印字〕を設定します。	コピーにマル秘と日付を印字することで、セキュリティ意識が高められます。
社名付きコピー	〔編集/カラー〕で〔ユーザースタンプ印字〕を設定します。	製造業や建設業などで使用する図面のコピーに社名を印字できます。ユーザースタンプは事前に登録しておいてください。
サイズ統一コピー	〔用紙指定変倍〕を選択します。	サイズを統一できるので、文書を整理しやすくなります。
サムネイルコピー	〔集約〕を設定します。	最大 8 ページの原稿を 1 枚の用紙にまとめられるので、用紙を節約できます。
蓄積コピー：「XXXX」（「XXXX」はフォルダー名）	〔文書蓄積〕の〔蓄積先のフォルダー〕でフォルダーを指定します。	蓄積した文書を、ユーザーや用途別にフォルダーで管理できます。

スキャナー機能

プログラム名	プログラム内容	効果
かんたん PDF スキャン	〔読み取り条件〕で〔フルカラー：文字・写真〕を選択します。〔ファイル形式/ファイル名〕の〔ファイル形式〕に〔PDF〕を選択し、また〔ファイル名〕に「大阪支社：日報」のような業務内容を入力します。	文書を効率的にスキャンできます。
高圧縮 PDF スキャン	〔読み取り条件〕で〔フルカラー：文字・写真〕を選択し、〔ファイル形式/ファイル名〕で〔高圧縮 PDF〕を選択します。	スキャンしたファイルのデータ容量を抑えて、データを送信、保存できます。
サイズ統一スキャン	〔読み取り条件〕で〔編集〕の〔変倍〕を選択し、変倍の倍率や仕上りの用紙サイズを原稿のページごとに指定します。	再出力するときに、サイズを統一する設定を省略できます。
長期保管スキャン	〔ファイル形式/ファイル名〕で〔ファイル形式〕に〔PDF〕を選択し、また〔PDF ファイル設定〕で〔PDF/A〕を選択します。	長期保管に適した「PDF/A」のファイル形式で、文書を簡単に電子化できます。

プログラム名	プログラム内容	効果
デジタル署名スキャン	[ファイル形式/ファイル名]で[ファイル形式]に[PDF]を選択し、また[デジタル署名]を設定します。	契約書のような重要書類に電子署名を付与し、改ざんを検知できます。
高解像度スキャン	[ファイル形式/ファイル名]で[ファイル形式]に[TIFF]を選択します。また、[読み取り条件]で解像度を高く設定します。	データ容量は大きくなりますが、原本に近い形でデータを残せます。
スキャン To 「XXXX」 (「XXXX」は送信先名称)	本機のアドレス帳に登録されているメールまたはフォルダー送信先を宛先表から選択し、読み取り条件を指定します。	よく指定する送信先と読み取り条件をまとめて登録しておく、送信時の設定手順を省略できます。
蓄積スキャン：「XXXX」 (「XXXX」はフォルダー名)	[文書蓄積]の[蓄積先のフォルダー]でフォルダーを指定します。	蓄積した文書を、ユーザーや用途別にフォルダーで管理できます。

↓ 補足

- 装着しているオプションによっては、登録できない機能があります。詳しくは、P.20「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。
- プログラム名は例です。目的に合わせて、変更してください。
- お客様の業務内容や読み取る文書の種類によっては、プログラム登録が適さないことがあります。

プログラムを呼び出す

登録したプログラムの内容を呼び出して、その状態で操作できます。

基本アプリケーション

1. コピー、ドキュメントボックス、またはスキャナー機能の画面を表示させます。
ドキュメントボックス機能を使用しているときは、文書印刷初期画面を表示させます。
2. 画面左下の【プログラムの呼び出し/登録/変更】を押します。
3. 【呼び出し】が選択されていることを確認します。
4. 呼び出すプログラムの番号を押します。
パスワードが設定されたフォルダーが登録されているプログラムを呼び出すときは、パスワードを入力してください。

かんたんアプリ

1. かんたんスキャナー機能の画面を表示させます。
2. 画面中央下の【メニュー】(≡) を押します。
3. 【プログラム呼び出し】 を押します。
4. 呼び出すプログラムの番号を押します。

↓ 補足

- 基本アプリケーションのプログラム画面でプログラムを登録している番号には、🔑が表示されます。
- プログラムを使用するときは、それまでの設定が解除されます。
- プログラムに送信の相手先や読み取り条件を登録していないときは、プログラムを選択したあとに、設定してください。
- アドレス帳の登録内容を変更すると、スキャナー機能のプログラムに登録した宛先にも変更が反映されます。
- スキャナー機能で宛先が登録されているプログラムを呼び出したあとは、宛先の追加や削除はできません。宛先の選択を解除するときは、【リセット】 を押して呼び出したプログラムの設定を解除してください。
- 呼び出したスキャナー機能のプログラムに宛先が登録されていても、【スキャナー初期設定】 の【プログラムへの宛先設定登録】 が【宛先を除外する】 に設定されていると、宛先は呼び出されません。

プログラムの内容を変更する

↓ 補足

- ホーム画面にショートカットを作成したプログラムの内容を変更すると、ホーム画面のショートカットの内容も変更されます。

プログラムの設定を変更する

プログラムの内容を変更し、もとのプログラムを上書きできます。

基本アプリケーション

1. プログラムを呼び出します。
詳しくは、P.163「プログラムを呼び出す」を参照してください。
2. 登録する内容を設定します。
3. 画面左下の【プログラムの呼び出し/登録/変更】 を押します。
4. 【登録】 を押します。

5. 変更するプログラムの番号を押します。
6. [登録する] を押します。
7. プログラム名を入力します。
8. [OK] を押します。
9. [閉じる] を押します。

かんたんアプリ

1. プログラムを呼び出します。
詳しくは、P.163「プログラムを呼び出す」を参照してください。
2. 登録する内容を設定します。
3. 画面中央下の [メニュー] (☰) を押します。
4. [現在の設定をプログラム登録] を押します。
5. 変更するプログラムの番号を押します。
6. [登録する] を押します。
7. プログラム名を入力します。
8. アイコンを選択します。
9. [前の画面へ] を押します。
10. [OK] を押します。
11. [配置する] を押します。

[配置しない] を選択したときでも、あとからホーム画面にプログラムのショートカットアイコンを作成できます。

12. [確認] を押します。

↓ 補足


- プログラムを上書きしたとき、もとの設定は消去されます。
- 変更したプログラムを新しいプログラムとして登録できます。[未登録] が表示されているプログラム番号を押してください。

プログラム名を変更する

基本アプリケーション

1. コピー、ドキュメントボックス、またはスキャナー機能の画面を表示させます。
ドキュメントボックス機能を使用しているときは、文書印刷初期画面を表示させます。
2. 画面左下の【プログラムの呼び出し/登録/変更】を押します。
3. 【名称変更】を押します。
4. 変更するプログラムの番号を押します。
5. 【変更する】を押します。
手順1でドキュメントボックスを選択したときは、手順6に進みます。
6. プログラム名を入力します。
7. 【OK】を押します。
8. 【閉じる】を押します。

かんたんアプリ


1. かんたんスキャナー機能の画面を表示させます。
2. 画面中央下の【メニュー】()を押します。
3. 【プログラム管理・編集】を押します。
4. 変更するプログラムの番号を押します。
5. 【編集する】を押します。
6. プログラム名を入力します。
7. アイコンを選択します。
8. 【前の画面へ】を押します。
9. 【OK】を押します。
10. 【前の画面へ】を押します。
11. 【閉じる】を押します。

プログラムを消去する

基本アプリケーション

1. コピー、ドキュメントボックス、またはスキャナー機能の画面を表示させます。
ドキュメントボックス機能を使用しているときは、文書印刷初期画面を表示させます。
2. 画面左下の【プログラムの呼び出し/登録/変更】を押します。
3. 【消去】を押します。
4. 消去するプログラムの番号を押します。
5. 【消去する】を押します。
6. 【閉じる】を押します。

かんたんアプリ

1. かんたんスキャナー機能の画面を表示させます。
2. 画面中央下の【メニュー】()を押します。
3. 【プログラム管理・編集】を押します。
4. 消去するプログラムの番号を押します。
5. 【消去する】を2回押します。
6. 【確認】を押します。
7. 【閉じる】を押します。

↓ 補足

- ホーム画面にショートカットを作成したプログラムを消去すると、ホーム画面のショートカットも消去されます。

初期画面に表示される機能を変更する

電源を入れた直後、オートクリアしたとき、またはリセットしたときに表れる画面（初期画面）に表示される設定を変更します。

初期値として登録できる設定は、次のとおりです。

基本アプリケーション

- コピー機能

高速コピー、カラーモード、原稿種類、コピー濃度、原稿設定、給紙部／手差し給紙部、文書蓄積（「ユーザー名」、「文書名」、「パスワード」、「蓄積先のフォルダー」を除く）、シンクロカット、フリーカット、用紙指定変倍、オートモード変倍、仕上げ、印刷位置調整、編集/カラー、集約、変倍、コピー部数

- ドキュメントボックス機能

- 文書印刷初期画面

仕上げ、印刷位置調整、印字、印刷部数

- 原稿読み取り初期画面

カラーモード、原稿種類、コピー濃度、原稿設定、給紙部、用紙指定変倍、オートモード変倍、編集、集約、変倍

- スキャナー機能

読み取り条件、読み取り濃度、次原稿待機、原稿送り、ファイル形式／ファイル名（「セキュリティ設定」、「連番開始番号」を除く）、文書蓄積（「ユーザー名」、「文書名」、「パスワード」、「蓄積先のフォルダー」を除く）、プレビュー、本文、件名、セキュリティ、受信確認

かんたんアプリ

- かんたんスキャナー機能

原稿種類、ファイル形式、解像度、原稿セット方向、読み取りサイズ、プレビュー

ここでは、各アプリケーションでの設定方法を説明します。

基本アプリケーション

1. コピー、ドキュメントボックス、またはスキャナー画面で、登録する機能を設定します。

ドキュメントボックス機能を使用しているときは、文書印刷初期画面または原稿読み取り初期画面で設定します。

2. 画面左下の【プログラムの呼び出し/登録/変更】を押します。

3. 【初期値として登録】を押します。

4. [登録] を押します。

初期画面の初期値を工場出荷時の状態に戻すときは、[工場出荷時に戻す] を押して、[戻す] を押してください。

5. [登録する] を押します。

かんたんアプリ

1. かんたんスキャナー画面で、登録する機能を設定します。

2. 画面中央下の [メニュー] (☰) を押します。

3. [現在の設定を初期値とする] を押します。

初期画面の初期値を工場出荷時の状態に戻すときは、[初期値を工場出荷時に戻す] を押してください。そのあとで [戻す] を押して、[確認] を押してください。

4. [登録する] を押します。




5. [確認] を押します。

↓ 補足

- コピー機能、スキャナー機能で初期画面の初期値は、通常画面と簡単画面で別々に登録できます。
- やさしくシリーズの操作画面の初期値を登録する方法は、『やさしくコピー/やさしくスキャナー』『やさしくシリーズの操作画面の初期画面に表示される機能を変更する』を参照してください。

よく使用する機能を優先的に表示する

電源を入れた直後やシステムオートクリアされたときに、優先的に表示する機能を設定します。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. 左にフリックし、［初期設定］アイコン（）を押します。
3. ［操作部初期設定］を押します。
4. ［操作部機器設定］を押します。
5. ［優先機能設定］を押します。
6. 優先的に表示する機能を選択します。
7. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。

↓ 補足

- 設定できる機能については、『ネットワークの接続/システム初期設定』『操作部初期設定』を参照してください。

ホーム画面をカスタマイズする

よく使用するプログラムや Web ページへのショートカットをホーム画面に登録できます。ショートカットアイコンを押すと、プログラムや Web ページを簡単に呼び出せます。また、機能アイコンやショートカットアイコンを使用しやすいように並べ替えられます。

ホーム画面をカスタマイズする

ホーム画面は、使用しやすいようにカスタマイズできます。

各種アプリケーションのアイコンやウィジェットを登録できます。また、フォルダーを作成してアイコンを整理したり、ホーム画面の壁紙を変更したりできます。コピー機能、スキャナー機能、かんたんスキャナー機能で登録したプログラムのショートカットを、ホーム画面に表示することもできます。

ホーム画面の見かたについては、P.42「ホーム画面の見かた」を参照してください。



↓ 補足

- ホーム画面にショートカット、フォルダー、またはウィジェットを表示するスペースがないときは、新規に作成したり移動したりできません。
- ショートカットアイコンは最大 60 個まで登録できます。各ページに表示できるアイコンの数は、最大 12 個です。
- ショートカットの名称は、全角 20 文字（半角 30 文字）まで表示できます。全角 21 文字以上のときは、20 文字目が「...」で表示されます。
- ドキュメントボックス機能で登録したプログラムへのショートカットは、ホーム画面に登録できません。
- ユーザー認証が設定されているときは、ログインした状態でカスタマイズしてください。

アイコンをホーム画面に追加する

機能やアプリケーションのショートカットを作成する

本機で利用できる機能のショートカットを作成します。

機能アイコンや Embedded Software Architecture アプリケーションのアイコンなどは、ホーム画面から削除しても再表示できます。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。
2. [📱] を押します。
3. 基本アプリケーションへのショートカットを登録するときは、[プログラム] タブを押します。基本アプリケーション以外のアプリケーションへのショートカットを登録するときは、[アプリ] タブを押します。
4. 基本アプリケーションへのショートカットを登録するときは、ショートカットを作成する位置のイメージが表示されるまで、[基本アプリケーション] アイコンを押し続けます。基本アプリケーション以外のアプリケーションへのショートカットを登録するときは、ショートカットを作成する位置のイメージが表示されるまで、登録したいアプリケーションのアイコンを押し続けます。
5. アイコンをドラッグし、ショートカットを作成する位置で離します。
基本アプリケーションへのショートカットを登録するときは、手順 6 へ進みます。
6. 一覧から、ショートカットを登録するアプリケーションを選択します。




ブックマークのショートカットを作成する

操作部ブラウザーに登録されているブックマークのショートカットを作成します。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。
2. [📱] を押します。
3. [プログラム] タブを押します。
4. ショートカットを作成する位置のイメージが表示されるまで、[ブックマーク] アイコンを押し続けます。
5. アイコンをドラッグし、ショートカットを作成する位置で離します。
6. 一覧から、ショートカットを登録するブックマークを選択します。

プログラムのショートカットを作成する

コピー、スキャナー、かんたんスキャナー機能で登録したプログラムのショートカットを作成します。



1. プログラムを登録する機能の操作画面を表示させます。
2. 基本アプリケーションのプログラムのショートカットを作成するときは、画面左下の【プログラムの呼び出し/登録/変更】を押します。かんたんアプリのプログラムのショートカットを作成するときは、画面中央下の【メニュー】()を押します。
3. プログラムを登録します。
4. 画面中央下の【ホーム】()を押します。
5.  を押します。
6. 【プログラム】タブを押します。
7. 基本アプリケーションのプログラムのショートカットを登録するときは、ショートカットを作成する位置のイメージが表示されるまで、【基本アプリケーション】アイコンを押し続けます。かんたんアプリのプログラムのショートカットを登録するときは、ショートカットを作成する位置のイメージが表示されるまで、プログラムを登録したアプリケーションのアイコンを押し続けます。
8. アイコンをドラッグし、ショートカットを作成する位置で離します。
9. 一覧から、ショートカットを登録するプログラムを選択します。

↓ 補足

- プログラムを作成する方法は、P.159「プログラムに設定を登録する」を参照してください。

ウィジェットを表示する

インクの残量を表示したり、表示言語を切り替えたりできるウィジェットを、ホーム画面に表示できます。

1. 画面中央下の【ホーム】()を押します。
2.  を押します。
3. 【ウィジェット】タブを押します。
4. ショートカットを作成する位置のイメージが表示されるまで、追加するウィジェットのアイコンを押し続けます。
5. アイコンをドラッグし、ショートカットを作成する位置で離します。

↓ 補足

- ウィジェットが追加できないときは、すでに登録されている不要なウィジェットを削除してから、もう一度同じ操作をしてください。

フォルダーを作成する

ホーム画面にフォルダーを作成します。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。
2. フォルダーを作成する画面を表示させます。
3. 「ホーム画面に追加」画面が表示されるまで、アイコンが表示されていないエリアを押し続けます。
4. 「ホーム画面に追加」画面で、[フォルダー] を押します。

5

フォルダー名を変更する

1. フォルダーを押します。
2. 文字入力画面に切り替わるまで、フォルダーウィンドウのタイトル部分を押し続けます。
3. フォルダー名を変更し、[完了] を押します。
4. [OK] を押します。

↓ 補足

- 入力できるフォルダー名は 30 文字までです。

フォルダーにアイコンを格納する

1. ドラッグできるようになるまで、アイコンを押し続けます。
2. フォルダーに格納するアイコンをドラッグし、フォルダーの上で離します。

ホーム画面のアイコンを並べ替える

ホーム画面の機能アイコンやショートカットアイコンを使用しやすいように並べ替えられます。

1. ドラッグできるようになるまで、アイコンを押し続けます。

2. 移動するアイコンをドラッグし、移動先の上で離します。

アイコンを別のページに移動させるときは、アイコンを画面の左端または右端までドラッグします。ページが切り替わったら、移動先の上でアイコンを離します。

↓ 補足

- 移動先に別のアイコンがすでに表示されているときは、移動させたアイコンが移動先に表示され、元からあったアイコンは移動先の最寄りの場所に表示されます。

ホーム画面のアイコンを消去する

不要なショートカットアイコンや、フォルダー、ウィジェットを削除し、使用するアイコンだけを表示できます。

1. 画面左端にごみ箱アイコンが表示されるまで、削除するアイテムを押し続けます。
2. 削除するアイテムをドラッグし、ごみ箱アイコンの上で離します。

↓ 補足

- ホーム画面から各機能やプログラムへのショートカットアイコンを消去しても、機能やプログラム自体は消去されません。

壁紙を変更する

ホーム画面に表示する壁紙を変更します。

壁紙の種類

壁紙の種類には、[ギャラリー]、[ライブ壁紙]、[壁紙] の3種類があります。

ギャラリー

SD カードに格納した画像を壁紙に設定できます。

ライブ壁紙

アニメーションなどの動きのある壁紙です。あらかじめ登録されているライブ壁紙から選択します。

壁紙

静止画像です。あらかじめ登録されている壁紙から選択します。

壁紙を変更する

⚠ 注意



- SD カード、USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カード、USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

SD カードに画像を格納するときは、次の条件で保存してください。

ファイル形式

BMP、JPEG、PNG、GIF

画素数

1024×520 pixel

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

[ギャラリー] に保存されている画像から壁紙を選択するときは、[ホーム] (🏠) を押してからメディアスロットに SD カードをセットします。

2. 「ホーム画面に追加」画面が表示されるまで、アイコンが表示されていないエリアを押し続けます。

3. 「ホーム画面に追加」画面で、[壁紙] を押します。

4. [ギャラリー]、[ライブ壁紙]、または [壁紙] を押します。

5. 一覧から壁紙を選択します。

6. ライブ壁紙、壁紙のときは、[壁紙に設定] を押します。ギャラリーのときは、壁紙に表示する位置や大きさを設定して [OK] を押します。

↓ 補足

- SD カードをセットする方法は、P.29 「SD カードを取り付ける」を参照してください。

ホーム画面を初期状態に戻す

ホーム画面を初期化すると、工場出荷時の状態に戻ります。

1. 画面中央下の [ホーム] (🏠) を押します。

2. 画面中央下の [メニュー] (☰) を押します。

3. [ホーム情報のリセット] を押します。

ホーム画面のアイコン表示を初期値に戻すためのメッセージが表示されたときは、手順 4 に進みます。

4. [OK] を押します。

↓ 補足

- Embedded Software Architecture アプリケーションをインストールしているときは、初期状態に戻しても、アプリケーションアイコンは消去されません。

本機の状態や設定内容を確認する

保守/補給

- カートリッジ残量
インクの残量の目安がわかります。
- 給紙部
給紙部にセットされている用紙の種類とサイズなどがわかります。
- 原稿づまり
原稿の紙づまり状態と対処方法がわかります。
- 用紙づまり
用紙の紙づまり状態と対処方法がわかります。
- カバーオープン
本体のカバーなどが開いているかどうかと、開いているカバーの閉めかたがわかります。

メモリー/文書数

- HDD メモリー残量
ハードディスクのメモリー残量がわかります。
- HDD 内文書数
ハードディスクに蓄積されている総文書数がわかります。
- プリンター文書
ハードディスクに蓄積されている保留印刷文書／保存文書／機密印刷文書／試し印刷文書数がわかります。
- メモリー内残存データ状態
メモリーにあるデータの状態がわかります。

機器アドレス

- 本体 IPv4 アドレス
本機の IPv4 アドレスがわかります。
- 本体 IPv6 アドレス
本機の IPv6 アドレスがわかります。
「手動設定アドレス」には手動で設定した IPv6 アドレスが表示されます。

1. [状態確認] を押します。

2. [保守/問い合わせ/機器情報] タブを押します。



3. 内容を確認します。



4. 確認後、[閉じる] を押します。

5. [状態確認] を押します。

↓ 補足

- 異常がないときは、[保守/補給] に [カートリッジ残量]、[給紙部] 以外の項目は表示されません。
- セキュリティの設定によっては [機器アドレス] の項目が表示されないことがあります。
- 紙づまりの確認方法や紙づまりの取り除きかたは、『こまったときには』『用紙や原稿が詰まったとき』を参照してください。
- [問い合わせ情報] については、P.222 「問い合わせ情報」を参照してください。

ジョブを管理する

本機に蓄積されたジョブを管理できます。

ジョブを管理する画面の種類

コピー、ドキュメントボックス、プリンターなどの機能から印刷すると、データは一時的に本機に記憶され、順番に実行されます。状態確認画面やジョブ一覧画面で、蓄積されたジョブを管理できます。

たとえば、設定を間違えたジョブを取り消す、急ぎの文書を先に印刷する、などのさまざまな状況に対応できます。

スキャナー機能から印刷した文書はジョブ一覧で表示されません。

ここでは、状態確認画面やジョブ一覧画面で表示される画面とアイコンについて説明します。

状態確認画面

この画面を表示するには、[状態確認] を押し、[実行中ジョブ] タブを押します。この画面を開いている間も、ジョブは進行します。



DNP004

1. [実行中ジョブ] タブ

実行中、待機中のジョブが表示されます。

2. [ジョブ履歴] タブ

ジョブの履歴が表示されます。印刷が終了したジョブの内容を確認できます。

3. [詳細]

選択したジョブの内容を表示できます。

4. [順序入れ替え]

選択したジョブの順序を入れ替えます。

5. [印刷保留]

選択したジョブの印刷を保留します。

6. [予約削除]

選択したジョブを削除します。

7. [ジョブスプルー一覧]

スプルーされたジョブの状態を表示する画面に切り替えます。

8. ジョブ一覧

ジョブ一覧が表示されます。

9. 予約番号

ジョブの予約番号が表示されます。

10. 印刷した機能のアイコン

 : コピー機能で印刷するジョブ

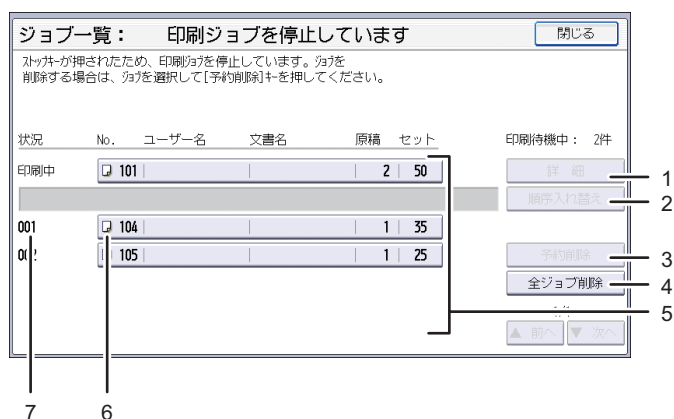
 : プリンター機能または Ridoc Desk Navigator で印刷するジョブ

 : ドキュメントボックス機能で印刷するジョブ

 : Web Image Monitor で印刷するジョブ

ジョブ一覧画面

この画面を表示するには、[ストップ] を押し、[ジョブ一覧] を押します。この画面を開いている間は、ジョブは中断されます。



DNP022

1. [詳細]

選択したジョブの内容を表示できます。

2. [順序入れ替え]

選択したジョブの順序を入れ替えます。

3. [予約削除]

選択したジョブを削除します。

4. 全ジョブ削除

すべてのジョブを削除します。


5. ジョブ一覧

ジョブ一覧が表示されます。

6. 印刷した機能のアイコン

 : コピー機能で印刷するジョブ

 : プリンター機能または Ridoc Desk Navigator で印刷するジョブ

 : ドキュメントボックス機能で印刷するジョブ

 : Web Image Monitor で印刷するジョブ

7. 予約番号

ジョブの予約番号が表示されます。

5

↓ 補足

- ユーザー認証を設定しているときは、ログインしているユーザーのジョブだけが表示されます。

ジョブの内容を確認する

ここでは、状態確認画面でジョブの内容を確認する方法を例に説明します。

1. [状態確認] を押します。
2. [実行中ジョブ] タブを押します。
3. 内容を確認するジョブを選択します。
4. [詳細] を押し、内容を確認します。
5. [閉じる] を押します。
6. [状態確認] を押します。

ジョブ一覧画面でジョブの内容を確認したときは、[閉じる] を2回押して、ジョブ一覧画面が閉じます。

↓ 補足

- ジョブ一覧画面でもジョブの内容を確認できます。ジョブが実行中に [ストップ] を押します。[ジョブ一覧] を押して、手順3から操作してください。

ジョブの順序を入れ替える

ここでは、状態確認画面でジョブの順序を入れ替える方法を例に説明します。

1. [状態確認] を押します。
2. [実行中ジョブ] タブを押します。
3. 順序を変更するジョブを選択します。
4. [順序入れ替え] を押します。
5. [▲先頭へ]、[▲前へ]、または [▼次へ] を押して、順序を入れ替えます。



6. [OK] を押します。
7. [状態確認] を押します。

ジョブ一覧画面でジョブの順序を変更したときは、[閉じる] を押します。

↓ 補足

- ジョブ一覧画面でもジョブの順序を変更できます。ジョブが実行中に [ストップ] を押します。[ジョブ一覧] を押して、手順3から操作してください。

ジョブの印刷を保留する

1. [状態確認] を押します。
2. [実行中ジョブ] タブを押します。
3. 印刷を保留するジョブを選択します。
4. [印刷保留] を押します。

選択したジョブ以降のジョブがすべて保留されます。印刷が保留中のジョブの左に、「保留中」が表示されます。

5. [状態確認] を押します。

↓ 補足

- 印刷を再開するには、[印刷再開] を押します。

ジョブを削除する

ここでは、状態確認画面でジョブを削除する方法を例に説明します。

1. [状態確認] を押します。
2. [実行中ジョブ] タブを押します。
3. 予約を削除するジョブを選択します。

複数の文書を削除するときは、削除する文書をすべて選択します。

4. [予約削除] を押します。
5. [削除する] を押します。
6. [状態確認] を押します。

ジョブ一覧画面でジョブを削除したときは、[閉じる] を押します。

↓ 補足

- ジョブ一覧画面でもジョブを削除できます。ジョブが実行中に [ストップ] を押します。[ジョブ一覧] を押して、手順3から操作してください。
- ジョブ一覧画面では、[全ジョブ削除] を使用してすべてのジョブを簡単に削除できます。

ジョブの履歴を確認する

印刷が終了したジョブの履歴を確認できます。また、印刷が終了したジョブの内容も確認できます。

1. [状態確認] を押します。
2. [ジョブ履歴] タブを押します。
3. [コピー/ドキュメントボックス]、[プリンター]、または [その他] を押します。

今までに実行したジョブの一覧が表示されます。

4. 内容を確認するジョブを選択します。
5. [詳細] を押し、内容を確認します。
6. [状態確認] を押します。

↓ 補足

- [コピー/ドキュメントボックス]、[プリンター]、[その他] のカテゴリー別で、最新100件のジョブ履歴が表示されます。表示順は、ジョブが終了した順番ではなく、ログが作成された順番です。

ブラウザ機能を使用する

本機にインストールされている操作部ブラウザを使用して、Web ページを閲覧できます。

あらかじめ操作部初期設定でネットワークの設定をしてください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』『操作部初期設定』を参照してください。

ブラウザ機能を使用する前に

ブラウザ機能を使用する前に確認する事項を説明します。

ブラウザ機能のセキュリティを確認する

Web ブラウザーとサーバー間の通信は盗聴されたり、改ざんされたりすることがあります。

個人情報の送受信や拡張 JavaScript を利用した機密文書のスキャン送信などで機密情報の漏えいが心配なときは、通信データの暗号化が確実に行われること、また、接続先が正当な Web サイトであることを確認してください。

通信経路が暗号化されているか確認する

通信経路が暗号化されているかどうかは URL の表示で確認できます。

通信が暗号化されているときは、URL が「https」から始まり、また、アドレスバーの左にカギマークが表示されます。

正当な Web サイトに接続しているか確認する

目的の Web サイトにアクセスしているかどうか確認するには、画面の上部に表示されている URL を確認してください。

暗号化されている Web サイトでも、正当な Web サイトかどうかサーバー証明書を確認してください。次のことを確認します。

- 発行者が信頼のおける機関かどうか
- 発行先（URL）と画面の上部に表示されている URL が一致しているか
- 証明書の期限が切れていないか

サーバー証明書を表示するには、画面中央下の [メニュー] (☰) を押したあと、[ページ情報] を押し、[証明書を表示] を押してください。

また接続先の Web サイトのセキュリティに問題があるときは、メッセージが表示されることがあります。「このサイトのセキュリティには問題があります。」と表示されたときは、接続しようとしている Web サイトを閲覧しないことをお勧めします。

Web ページを表示する

1. 画面中央下の【ホーム】(🏠)を押します。
2. 【操作部ブラウザー】アイコンを押します。
3. アドレスバーを押します。



5

4. アドレスを入力し、【実行】を押します。

Web ページを印刷する

表示されている Web ページを印刷します。ユーザー認証機能を使用しているときは、プリンターを使用できるユーザーだけが印刷できます。

1. Web ページを表示します。
2. 画面中央下の【メニュー】(≡)を押します。
3. 【印刷】を押します。
4. 印刷条件を設定し、【印刷】を押します。

↓ 補足

- Web ページの表示方法は、P.186「Web ページを表示する」を参照してください。
- 用紙の幅より大きな Web ページを印刷するときは、用紙の幅を超える部分は印刷されません。
- Web ページの構造によっては、表示されたとおりに印刷できないことがあります。
- 文字や画像の途中で改ページされることがあります。
- ブラウザーの印刷設定で、本機が対応していない機能を設定したときは、設定どおりに印刷されません。

Web ページ上の PDF ファイルを印刷/保存する

Web ページにある PDF ファイルを、ダウンロードして印刷、保存できます。

ダウンロードできる PDF ファイルの最大サイズは 100MB です。

★重要

- ダウンロードした PDF ファイルはタブを閉じると自動的に消去されます。保存したい PDF ファイルは、SD カードまたは USB メモリーに保存してください。保存方法は、P.187「Web ページ上の PDF ファイルを保存する」を参照してください。

Web ページ上の PDF ファイルを印刷する

1. Web ページにある PDF ファイルのリンクをクリックします。
2. [OK] を押します。
PDF ファイルがダウンロードされ、新しいタブで表示されます。
3. 画面中央下の [メニュー] (☰) を押します。
4. [印刷] を押します。
5. 必要に応じて印刷設定を変更し、[印刷] を押します。

別の PDF ファイルのダウンロードを続けるには、PDF ファイルを表示しているタブ以外のタブを押して Web ページに戻ります。

5

Web ページ上の PDF ファイルを保存する

⚠注意



- SD カード、USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カード、USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

1. Web ページにある PDF ファイルのリンクをクリックします。
2. [OK] を押します。
PDF ファイルがダウンロードされ、新しいタブで表示されます。
3. SD カードまたは USB メモリーをメディアスロットに差し込みます。
4. 画面中央下の [メニュー] (☰) を押します。
5. [PDF ファイル保存] を押します。
6. 保存先の SD カードまたは USB メモリーを選択します。
7. PDF ファイルの名前を入力し、[OK] を押します。
8. [OK] を押します。

別の PDF ファイルのダウンロードを続けるには、PDF ファイルを表示しているタブ以外のタブを押して Web ページに戻ります。

↓ 補足

- SD カードまたは USB メモリーをセットする方法は、P.28 「外部メディアを取り付ける/取り外す」を参照してください。
- ダウンロードして保存した PDF ファイルは、SD カードまたは USB メモリーの直下に保存されます。

画像をダウンロードする

Web ページに表示されている画像を、SD カードにダウンロードします。ダウンロードできる画像のファイル形式は、GIF、JPEG、BMP です。

⚠ 注意



- SD カード、USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カード、USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

5

1. Web ページを表示します。
2. SD カードをメディアスロットに差し込みます。
3. ショートカットメニューが表示されるまで、ダウンロードする画像を押し続けます。



4. ショートカットメニューで、[画像を保存] を押します。

↓ 補足

- SD カードをセットする方法は、P.29 「SD カードを取り付ける」を参照してください。
- Web ページの表示方法は、P.186 「Web ページを表示する」を参照してください。
- ダウンロードした画像は、SD カードに自動的に作成されるフォルダー内に保存されます。

操作部ブラウザの設定

ブラウザの設定項目について説明します。

画面中央下の「メニュー」(☰) を押し、「設定」を選択すると項目が表示されます。

全般

ホームページを設定

ブラウザ起動時に表示する Web ページを登録します。

「現在のページ」を選択すると、現在表示している Web ページをブラウザ起動時に表示します。

自動入力

- フォームの自動入力
あらかじめ設定した情報をワンタッチで入力フォームに書き込めます。
工場出荷時の設定：ON
- 自動入力テキスト
入力フォームに自動入力する情報を設定します。

5

プライバシーとセキュリティ

キャッシュを消去

キャッシュに保存された情報を消去します。

履歴消去

ブラウザの閲覧履歴を消去します。

セキュリティ警告

サイトの安全性に問題があるときに警告を表示します。

工場出荷時の設定：ON

COOKIE

- Cookie を受け入れる
Web サイトが Cookie を保存したり読み取ったりできるように設定します。
工場出荷時の設定：ON
- Cookie をすべて消去
Cookie をすべて消去します。

フォームデータ

- フォームデータを保存

フォームに入力したデータを保存します。

工場出荷時の設定：ON

- フォームデータを消去

保存したフォームデータをすべて消去します。

パスワード

- パスワードを保存

Web サイトに入力したユーザー名とパスワードを保存します。

工場出荷時の設定：ON

- パスワードを消去

保存されているパスワードをすべて消去します。

5

ユーザー補助

拡大縮小設定の上書き

特定の倍率で閲覧するようにデザインされているサイトでも、ズーム設定を使用できます。

工場出荷時の設定：OFF

文字サイズ

- プレビュー

Web ページに表示される文字サイズのイメージを確認できます。

- テキストの拡大縮小

目盛りをドラッグして Web ページに表示される文字の大きさを調整します。

- ダブルタップでズーム

目盛りをドラッグして、画面を軽く 2 回押してズームするときの割合を調整します。

- 最小フォントサイズ

目盛りをドラッグしてフォントの最小サイズを調整します。

画面の反転レンダリング

- プレビュー

画面の反転レンダリングを適用したときの Web ページのイメージを確認できます。

- 反転レンダリング

画面の白黒を反転して表示します。

工場出荷時の設定：OFF

- コントラスト

反転レンダリングが ON のとき、目盛りをドラッグしてコントラストを調整します。

高度な設定

検索エンジンの設定

検索時に表示される検索エンジンを設定します。

- Google
- Yahoo!
- Bing

工場出荷時の設定：Google

バックグラウンドで開く

現在開いているタブはそのまま、新しいタブで別の Web ページを表示します。

工場出荷時の設定：OFF

JavaScript を有効にする

JavaScript を有効にします。JavaScript を有効にすると、操作と連動する Web ページのプログラムを使用できます。

工場出荷時の設定：ON

プラグインを有効にする

プラグインを有効にします。プラグインを有効にすると、特定の Web コンテンツを実行できます。

- 常に ON
- オンデマンド
- OFF

工場出荷時の設定：常に ON

ユーザーエージェントの設定

Web サーバーに通知するブラウザーの種類、バージョンなどを設定します。

- モバイル
- デスクトップ

工場出荷時の設定：デスクトップ

ウェブサイト設定

ウェブサイトごとに詳細を設定します。

ページコンテンツ

- デフォルトの倍率

ブラウザーの表示倍率を設定します。

- 低
- 中
- 高

工場出荷時の設定：中

- ページを全体表示で開く

新しく開いた Web ページを全体表示します。

工場出荷時の設定：ON

- ページの自動調整

画面のサイズに合わせて Web ページを表示します。

工場出荷時の設定：ON

- ポップアップをブロック

画面に広告などのポップアップウィンドウが表示されないように設定します。

工場出荷時の設定：ON

- テキストエンコード

テキストのエンコードを設定します。

- Latin-1 (ISO-8859-1)
- Unicode (UTF-8)
- 中国語 (GBK)
- 中国語 (Big5)
- 日本語 (ISO-2022-JP)
- 日本語 (SHIFT_JIS)
- 日本語 (EUC-JP)
- 韓国語 (EUC-KR)

初期設定にリセット

- 初期設定にリセット

工場出荷時の状態に戻します。

帯域幅の管理

検索結果のプリロード

検索結果をバックグラウンドであらかじめ読み込むことで、表示にかかる時間を短縮できます。

工場出荷時の設定：Wi-Fi 使用時のみ

ウェブページへのプリロード

リンク先の Web ページをバックグラウンドであらかじめ読み込むことで、表示にかかる時間を短縮できます。

工場出荷時の設定：Wi-Fi 接続時のみ

画像の読み込み

Web ページの画像を表示します。

工場出荷時の設定：ON

Labs

クイックコントロール

ON にすると URL バーが非表示になります。画面の左端または右端から親指をスライドさせることでクイックコントロールメニューを使用できます。

工場出荷時の設定：OFF

5

PDF プレビュー設定

ブラウザー機能の PDF プレビューで使用するパラメーターを設定できます。

レンダリング

PDF プレビューを、画質優先または速度優先のどちらで行うのかを設定できます。

- 画質優先
- 速度優先

工場出荷時の設定：画質優先

ICC プロファイル

ICC プロファイルを使用するかどうか、設定できます。

- 使用しない
- 使用する

工場出荷時の設定：使用しない

シェーディング

PDF ファイルにシェーディングオブジェクトがあるとき、シェーディングを実施するかどうかを設定できます。実施する場合は、無制限にシェーディングするか、制限有りシェーディングするかも設定できます。

- 無効
- 有効（制限する）
- 有効（制限しない）

工場出荷時の設置：無効

スキャンした文書を自分のメールアドレスに送信する（Scan to Me）

Scan to Me は、本機で読み取った文書を、アドレス帳に登録されている自分のメールアドレスに送信するアプリケーションです。Scan to Me では、宛先を指定しないで送信を開始できます。



また、画面の〔?〕を押すと、操作をわかりやすく案内する指示が画面に表示されます。設定方法がわからないときや思いどおりに原稿が読み取れないときでも、画面の指示に従って操作するだけで、思いどおりのスキャン画像を得られます。

Scan to Me は本機でユーザー認証を設定しているときに使用できる機能です。

本機からメールを送信するために必要な準備は、『スキャナー』『スキャナー機能を使用するための準備』を参照してください。

ここでは、Scan to Me アプリケーションから文書を送信するときの基本的な操作方法を説明します。

5

1. 画面中央下の〔ホーム〕（）を押します。
2.  を押します。
3. [アプリ] タブを押します。
4. [Scan to Me] アイコンを押します。
5. 必要に応じて、読み取り条件を変更します。



〔?〕を押して読み取り条件を設定することもできます。

6. [読み取りスタート] を押します。
7. プレビューでスキャン画像を確認します。
プレビュー画像を拡大したり縮小したりできます。
8. [送信] を押します。

↓ 補足

- 文書、メールは次の形式で送信されます。
 - 送信されるメールの件名

「ScanToMe」

文書を複数に分割して送信するときは、末尾に文書番号と総文書数を付加します。

たとえば、文書を2つに分割して送信するときの件名は、1通目が「ScanToMe 1/2」、2通目が「ScanToMe 2/2」です。

- 送信される文書のファイル名

「送信を開始した年月日時刻+拡張子」

たとえば、2020年12月31日の午後3時30分15秒にPDF形式で送信するときのファイル名は、「20201231153015.pdf」です。

- 送信文書の状態や履歴を確認するときは、[?] を押したあと、[▶] を押し、[送信履歴を見る] を押します。
- 工場出荷時の設定では、「Scan to Me」のアイコンはホーム画面に表示されません。ホーム画面にアイコンを登録する方法は、P.172「アイコンをホーム画面に追加する」を参照してください。
- 原稿のサイズによって、設定できる解像度の上限が異なります。

原稿サイズ	解像度
自動検知	200dpi
A1 より大きい	200dpi
A2 より大きい	300dpi
A3 より大きい	400dpi
A3 以下	600dpi

スマートデバイスから使用する

RICOH カンタン入出力は、スマートデバイスにあるデータを本機から印刷またはメール送信したり、本機でスキャンしたデータをスマートデバイスへ送信またはコピーしたりするスマートデバイス用のアプリケーションです。

印刷またはメール送信するデータは、スマートデバイスを使用して、RICOH e-Sharing Box や Google Drive、Dropbox などのクラウドサービスからも入手できます。

また、本機でよく使用する設定をスマートデバイスに登録できます。

本機とスマートデバイスの接続には次の方法があります。

- Bluetooth で接続する

操作部のラベルにスマートデバイスを近づけて Bluetooth で接続します。本機の Bluetooth を有効にする方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「操作部初期設定」を参照してください。

- QR コードをスキャンする

本機の操作部に表示される QR コードをスマートデバイスでスキャンします。操作部に QR コードを表示する方法は、RICOH カンタン入出力の使用説明書を参照してください。



- Bonjour 検索する

RICOH カンタン入出力で本機を Bonjour 検索します。詳しくは、RICOH カンタン入出力の使用説明書を参照してください。

- IP アドレス/ホスト名で本機を指定する

RICOH カンタン入出力で本機の IP アドレス/ホスト名を入力して検索します。詳しくは、RICOH カンタン入出力の使用説明書を参照してください。

↓ 補足

- ベーシック認証を設定すると、ユーザー名とパスワードを登録済みのユーザーだけがスマートデバイスから本機を使用できるように制限できます。
- 工場出荷時の設定では、「RICOH カンタン入出力」のアイコンはホーム画面に表示されません。ホーム画面にアイコンを登録する方法は、P.172 「アイコンをホーム画面に追加する」を参照してください。

6. 保守/仕様

消耗品の交換方法、本機の設置条件、清掃方法を説明しています。また、本機やオプションの仕様を記載しています。

守ってほしいこと

使用上のお願い

⚠ 警告



- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。



- 機械の近くや内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。また、機械の近くや内部に置かないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 注意



- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 原稿カバーと原稿テーブルのすき間に手を入れないでください。すき間に指を挟み、けがの原因になります。

★ 重要

- 主電源スイッチを切ったうえで、電源プラグを抜いてください。P.83「主電源の切りかた」を参照してください。
- 通風孔などでは排気により温かいとありますが、異常ではありません。
- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じたときは、1時間以上放置して環境になじませてから使用してください。

- 動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。
- 動作中に各部のカバーを開けないでください。用紙づまりや故障の原因になります。
- 電源が入った状態で本機を動かしたり、傾けたりしないでください。また、振動を与えないでください。インクが漏れて、機械の故障につながったり、ハードディスクやメモリーが破損し、蓄積された文書が消失したりすることがあります。
- 電源を入れたあとは、「ピーピー」というブザー音が鳴るまで、各部のカバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 動作中に本体の上で紙をそろえるなど外的ショックを与えないでください。印字がずれることがあります。
- 長期間使用しないときは、給紙部から用紙を取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。
- 各色のインクは印刷以外にも、電源を入れたとき、ヘッドクリーニング時、リフレッシュ時、インクカートリッジセット時に消費されます。
- 低温または高温下で使用し続けると、インクの消費が多くなります。
- カートリッジカバー、または給紙部カバーを開けると、プリントヘッドがゆっくり初期位置に戻ります。
- 前カバーを開けると、前カバーを開けたときの位置でプリントヘッドが止まります。前カバーを開けたまま放置しないでください。

印刷物の取り扱い

- 印刷物は、長時間水や光にさらされると色あせることがあります。長時間保存するときは、バインダーなどで水や光から保護することをお勧めします。
- 印刷物をはるとき、溶剤系の接着剤を使用すると、インクが溶けることがあります。

ハードディスクのデータのバックアップを取る

ハードディスクには、お客様が蓄積した画像やアドレス帳などのデータが格納されます。これらのデータをバックアップまたはダウンロードする方法を説明します。

★ 重要

- 本機に強い衝撃を与えないでください。ハードディスクが故障する原因になります。
- 電源を切るときや電源コードを抜くとき、正しく操作しないとハードディスクが故障することがあります。電源を切る手順については、P.83「主電源の切りかた」を参照してください。
- 万一、本機のハードディスクに不具合が発生すると、蓄積した画像やアドレス帳のデータが消失することがあります。ハードディスクに重要なデータを保存するとき

は、必ずバックアップまたはダウンロードすることをお勧めします。また、フォントやフォームなどのリソースデータをハードディスクにダウンロードできますが、ハードディスクの故障に備え、ダウンロードしたデータはお客様自身による保管が必要です。お客様のデータの消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

↓ 補足

- Ridoc IO Device Manager、または Web Image Monitor でアドレス帳をバックアップできます。Ridoc IO Device Manager については、Ridoc IO Device Manager の取扱説明書を参照してください。Web Image Monitor の操作方法は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスのデータをパソコンにダウンロードできます。ドキュメントボックスの画像データをダウンロードする方法は、『コピー/ドキュメントボックス』『蓄積した文書を Web Image Monitor でダウンロードする』、または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

消耗品の補給と交換

インクカートリッジを交換するときに注意してほしいことや、廃インクボックスの交換方法を説明します。

インクを補給する

インクカートリッジを交換するときに注意してほしいことを説明します。

⚠ 注意



- インクは子供の手の届かないところに保管してください。



- インク（使用済みインクを含む）が目に入ったときは、速やかに流水で洗い、異状のあるときは医師に相談してください。



- インクを飲み込んだときは、濃い食塩水を飲ませるなどして吐き出させ、医師に相談してください。



- インクカートリッジを外したときは、装着部に手を入れないでください。インクで手が汚れることがあります。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。



- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換するときは、インクで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとインクが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

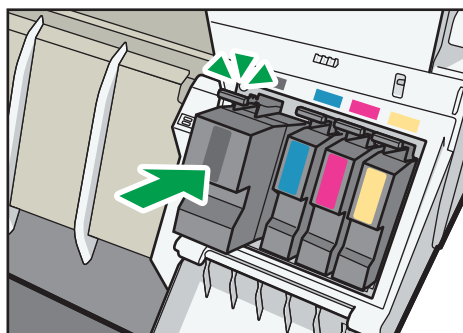


- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換をするときは、インクで手などを汚さないように注意してください。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

★ 重要

- 操作部にインクの交換を促すメッセージが表示されてから、インクを交換してください。
- 異なるタイプのインクを使用すると、故障の原因になります。
- インクを補給するときは電源を切らないでください。インクを補給するときに電源を切ると、設定した内容が取り消され、印刷を再開できません。

- インクは、高温多湿、および直射日光をさけて 35℃以下の環境を目安に保管してください。
- インクは、水平にして保管してください。
- インクカートリッジを取り外したあと、インクカートリッジの口を下に向けたまま振らないでください。残ったインクが飛散することがあります。
- インクカートリッジを何度も抜き差ししないでください。インクが漏れることがあります。
- インクカートリッジは、当社推奨の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、当社推奨のインクカートリッジをご使用ください。
- インクカートリッジは必ず交換表示が出てから補給してください。
- インクカートリッジを交換したあと手差し給紙部に用紙をセットするときは、カートリッジカバーを閉め、「おまちください」のメッセージが消えてから用紙をセットしてください。
- カートリッジカバーを開けた状態で手差し給紙部に用紙をセットすると、紙づまりのメッセージが表示されることがあります。操作部に表示される手順に従って対処してください。
- インクカートリッジの IC チップには手を触れないでください。
- インクカートリッジを交換する時以外は、カートリッジカバーを開けないでください。用紙がつまることがあります。
- インクカートリッジは、レバーが「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。機械内部に液体が漏れる原因になります。



DNE024

システムメッセージウィジェットに「交換用のカートリッジがあるか確認してください。」のメッセージが表示されたときは、カートリッジ内には約 35%のインクが残っています。システムメッセージウィジェットに「インクがなくなると全ての印字ができません。」のメッセージが表示されたときは、カートリッジ内には約 20%のインクが残っています。インクカートリッジ交換の準備をしてください。

システムメッセージウィジェットに「インクがなくなりました。」のメッセージが表示されたときは、該当する色のインクカートリッジを交換してください。

インクを補給するときは、画面に表示される手順に従ってください。

インクカートリッジを交換するときは、インクが飛び散らないように注意してください。

↓ 補足

- 「カートリッジ交換」の画面では、交換に必要なインク名称と交換手順が確認できます。
- [状態確認] を押すと消耗品発注先の電話番号が確認できます。P.222「問い合わせ情報」を参照してください。
- インクカートリッジの保管については、P.203「インクの保管」を参照してください。
- ヘッドの保護および印刷品質を保つため、各色のインクは印刷以外にも、電源を入れたとき、ヘッドクリーニング時、リフレッシュ時、インクカートリッジのセット時に消費されます。そのため、印刷枚数が極端に少ないときは、ヘッドクリーニングやリフレッシュの回数が増えるため、インクカートリッジが早くなくなることがあります。
- カラーインクは、カラー印刷以外にも消費されることがあります。
- カートリッジの容量によりインク残量表示の目盛りの減りかたが異なります。
- インクカートリッジをセットする前に、必ず色を確認し、インクの色を間違わないように注意してください。
- インクカートリッジを交換してもメッセージが消えなかったり、補給動作が実行されないときは、一度電源を入れ直してください。
- インクカートリッジは箱に記された期限内に使い切ってください。また、開封後は6ヶ月以内に使用してください。
- 交換するまでは、インクカートリッジの袋を開封しないでください。
- インクカートリッジを強く振らないでください。中のインクが漏れ出すことがあります。
- インクカートリッジは分解しないでください。
- 交換中は電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 一度セットしたインクカートリッジは、むやみに取り外さないでください。
- 印刷中は、インクカートリッジを抜き差ししないでください。印刷が停止します。

インクの取り扱い

⚠ 注意



- インクは子供の手の届かないところに保管してください。

インクカートリッジは、当社指定の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、当社指定のインクカートリッジをご使用ください。

↓ 補足

- インクの補給については、P.200「インクを補給する」を参照してください。

インクの保管**⚠ 注意**

- インク（使用済みインクを含む）が目に入ったときは、速やかに流水で洗い、異状のあるときは医師に相談してください。



- インクを飲み込んだときは、濃い食塩水を飲ませるなどして吐き出させ、医師に相談してください。



- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換するときは、インクで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとインクが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。



- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換をするときは、インクで手などを汚さないように注意してください。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

インクカートリッジを保管するときは、次の注意を守ってください。

- 直射日光の当たる場所を避け、温度-30～43℃、湿度 15～80%で保管してください。
- 平らなところに置いてください。

使用済みインクカートリッジの廃棄

使用済みインクカートリッジは、当社の使用済みカートリッジ回収のしくみに基づく回収をしています。当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。

インクカートリッジ回収については、弊社ホームページ（<http://www.ricoh.co.jp/>）の「使用済み製品・カートリッジ回収」のページをご覧ください。

なお、個人のおお客様がご自身で処理される場合は、インクカートリッジは一般の廃棄物に該当しますので、処理については、お住まいの地域を直轄する自治体にご確認ください。

廃インクボックスを交換する

⚠ 警告



- ポリ袋の WARNING 表示の意味は次のとおりです。
- 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠ 注意



- インクは子供の手の届かないところに保管してください。



- 廃インクボックスを交換するときは、インクで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとインクが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。



- インク（使用済みインクを含む）が目に入ったときは、速やかに流水で洗い、異状のあるときは医師に相談してください。



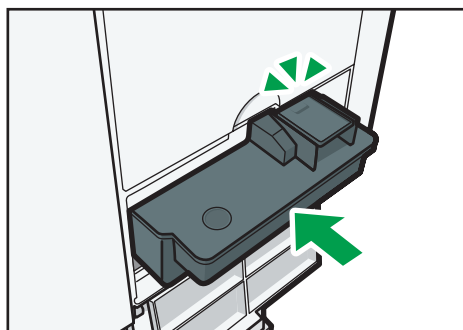
- インクを飲み込んだときは、濃い食塩水を飲ませるなどして吐き出させ、医師に相談してください。



- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換をするときは、インクで手などを汚さないように注意してください。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

★ 重要

- 廃インクボックスを取り外したときに、機械内部に手を入れないでください。
- 廃インクボックスのチップ部分には触れないでください。
- 廃インクボックスを落としたり傾けたりしないでください。廃インクが漏れる原因になります。
- 同梱されているビニール袋に入れるときと入れたあとは、廃インクボックスを落とさないようにしてください。ビニール袋が破れ、インク漏れの原因となります。
- 廃インクボックスは、レバーが「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。機械内部に液体が漏れる原因になります。



CPW009

- 廃インクボックスを交換するとき以外は、廃インクボックスカバーを開けないでください。用紙がつまることがあります。

廃インクボックスを交換するときは、操作部に表示される手順に従ってください。

廃インクボックスを交換するときは、インクが飛び散らないように注意してください。取り外した使用済み廃インクボックスは袋に入れてください。

↓ 補足

- 取り外して袋に入れた廃インクボックスは、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、個人のお客様がご自身で処理される場合は、インク容器は一般の廃棄物に該当しますので、処理については、お住まいの地域を直轄する自治体にご確認ください。

本機の設置と移動

設置、移動するときの注意事項を説明します。

本機を移動する

移動するときの注意事項を説明します。

⚠ 注意



- 他のフロアへの移動など、本機を持ち上げて運搬・移動するときは、サービス実施店に依頼してください。機械を落したり倒したりすると、けがや故障の原因になります。

★ 重要

- 本製品は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。
- 安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品などを諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- 移動距離が大きいときや別の建物に移動するときは販売店に、別の階に移動するときはサービス実施店に連絡してください。なお、この作業は有料です。

フロア内を移動する

⚠ 注意



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線ははずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



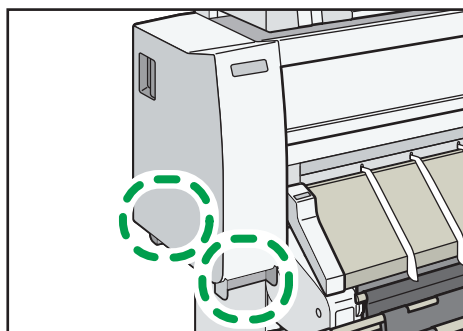
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

★ 重要

- 次のことに注意し、移動してください。
 - 電源を切ってください。P.83「主電源の切りかた」を参照してください。
 - 前カバーや原稿カバーなどを閉め、排紙バスケットを閉じてください。
 - 移動時に本製品を傾けるとインクが漏れることがあります。機械の故障につながったり、ハードディスクやメモリーが破損し、蓄積された文書が消失することがあります。

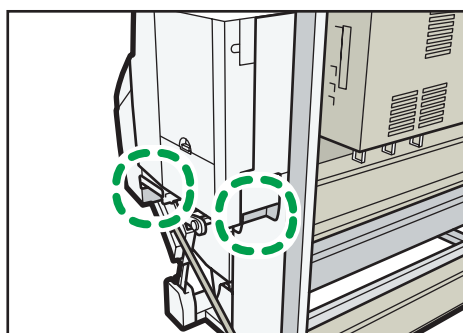
- 移動するときは取っ手をしっかりと持ってください。

- 本体左側



DNE025

- 本体右側



DNE026

- 機械を移動したときはキャスター留めをしてください。設置場所の水平度によっては、機械の水準出し作業が必要なことがあります。水準出し作業は、サービス実施店に依頼してください。なお、この作業は有料です。
- RICOH @Remote を利用しているときは、イーサネットケーブルを抜いてから移動してください。RICOH @Remote のアダプターは本機に接続できる位置に移動し、接続されていた端子にコードを正しく接続し、アダプターの電源プラグをコンセントに接続してください。

移動後の設置条件

設置場所の条件

⚠ 警告



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠ 注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



- 機械を移動したときは、キャスター留めをするなど固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。



- 換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

★ 重要

6

- 本機からの発音音が気になるときは、人の居ない別室に本機を設置することをお勧めします。
- 潮風、腐食性ガスをさけてください。また、化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。故障の原因になります。

次のような場所への移動は避けてください。不適切な場所へ移動すると正常にコピーができなくなったり、故障の原因になったりすることがあります。

- 低温、低湿または高温、高湿の場所

使用できる環境の範囲は次のとおりです。

- 温度：10～32℃（ただし 32℃時は湿度 54%）
- 湿度：15～80%（ただし 80%時は温度 27℃）

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具、冷房器具、加湿器に近い場所
- 振動の激しい場所
- 換気の悪い場所
- ほこりの多い場所
- 石油ストーブや、アンモニアを発生させる機器（ジアゾコピー機など）の近く
- 床や台が不安定な場所
 - 水平な場所に設置してください。前後、左右共、高さの差が 5mm 以下になるようにしてください。

- しっかりした床の上に設置してください。台の上に設置するときは、機械の大きさよりも面積の広い、専用のテーブルのようなしっかりとしたものを選んでください。

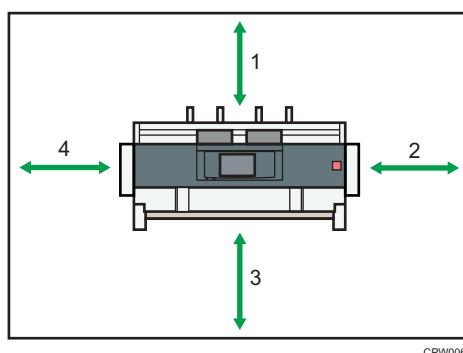
超音波式加湿器をお使いの方への注意

本製品の近くで超音波式加湿器を使用しないでください。

超音波式加湿器によって霧化された塩素やミネラル成分が製品内部の電子部品に付着し、故障の原因になる恐れがあります。

設置に必要なスペース

本機の周囲には十分なスペースを設けてください。コピーの操作をするときやカスタマーエンジニアが作業をするときなどに必要です。



1. 奥行き：600mm 以上
2. 右：600mm 以上
3. 手前：2,000mm 以上
4. 左：600mm 以上

↓ 補足

- オプションを装着したときのスペースについてはカスタマーエンジニアに確認してください。

アース線を接続する

⚠ 警告

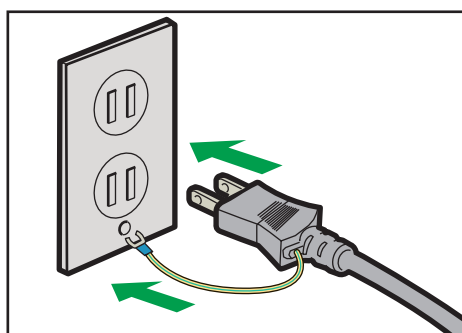


- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機のアース線は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）を行っているアース線

1. 操作部右側にある主電源ランプが消灯していることを確認します。
2. アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



電源についての注意事項

⚠ 警告



- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。



- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。



- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源プラグに焦げ跡がある
 - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告

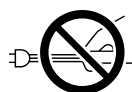
- 電源コードは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
 - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
 - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
 - 電源コードの一部が熱くなる
 - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- 使用電源

電源コードは、100V、3.6A、50/60Hz のコンセントに接続してください。

- 電源プラグは電源コンセントに直接、しっかりと接続してください。

長期間使用しないときは

長期間使用していない本機を使用するときは、定期メンテナンス動作が長くなることもあり、通常より多くのインクを消費します。2週間に1回は電源を入れることをお勧めし

ます。また、電源を入れたまま使用しないときも、2週間に1回は印刷することをお勧めします。

⚠ 注意



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

次のことに注意してください。

- ごみ、ほこり、紙粉などがプリントヘッドに付着し、ノズル抜けが発生することがあります。ノズル抜けを防止するために、定期的に印刷してください。印刷しないときでも、月に1回は電源を入れて、しばらくの間放置してください。
- 長期間使用していなかったときは、必ずノズルチェックテストパターンを印刷し、ノズル抜けが発生していないか確認してください。必要に応じてヘッドクリーニングを行ってから印刷を始めてください。
- 長期間使用していなかったときに、ヘッドクリーニングを数回繰り返しても、正常に印刷されないことがあります。そのときはヘッドリフレッシュを行ってください。それでもノズル抜けが解消されないときは、本機の電源を切って8時間以上放置してください。時間をおくことで、プリントヘッドのノズル内部に発生した可能性のある微小な気泡が、インク中に溶け込むなどして消滅し、インクの吐出が正常に回復してノズル抜けが解消する場合があります。
- 長期間使用していなかったときに、印刷を開始したり、電源が入るのに時間がかかることがあります。電源を切らずに、そのまま4～30分程お待ちください。

本機を清掃する

清掃のしかた

露光ガラスや反射板が汚れていると、きれいにコピーできないことがあります。汚れたら清掃してください。

⚠ 注意



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- 本書で説明している部分以外の清掃は、サービス実施店に依頼してください。ほこりがたまったら長い間清掃をしないと、火災や故障の原因になります。なお、清掃費用については、販売店またはサービス実施店に相談してください。

6

★ 重要

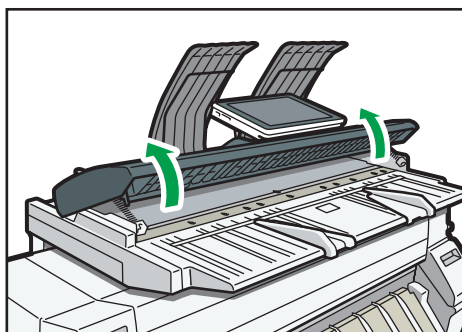
- クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。すきまからしみこんだり、本体のプラスチックが溶けたりして、故障の原因になります。

お手入れの方法

やわらかい布でから拭きします。から拭きで汚れが取れないときは、水でぬらして固く絞った布で拭きます。また、水でも取れない汚れは、中性洗剤を含ませた布で拭き取ります。水拭き後、から拭きをして水気を十分に取ります。

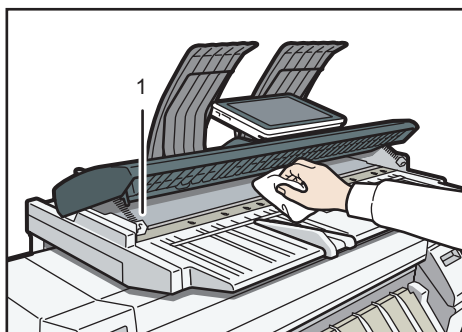
原稿カバー内の清掃

1. 両手で原稿カバーの両側を持ち、上方に開けます。



DNE027

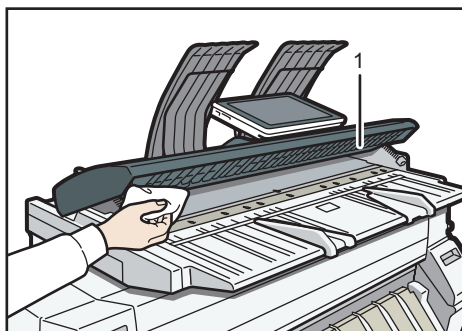
2. 露光ガラスを乾いた布でから拭きします。



DNE028

1. 露光ガラス

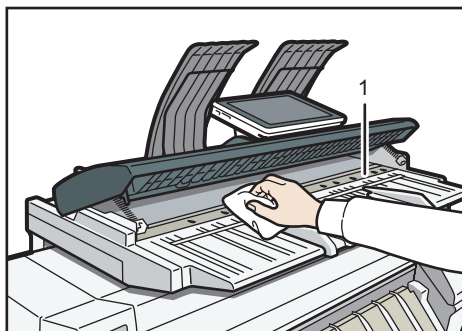
3. 反射板を乾いた布でから拭きします。



DNE029

1. 反射板

4. 原稿搬送ガイド板を乾いた布でから拭きします。

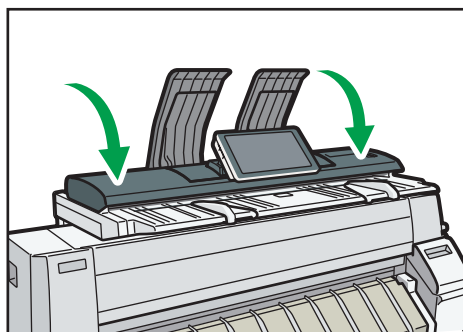


DNE030

1. 原稿搬送ガイド板

内部に布の糸や紙くずがあれば取り除きます。

5. 原稿カバーを静かに閉めます。



DNE031

プラテンの清掃

用紙の裏面に汚れが出るときは、前カバー内にあるプラテンを清掃してください。

⚠ 注意



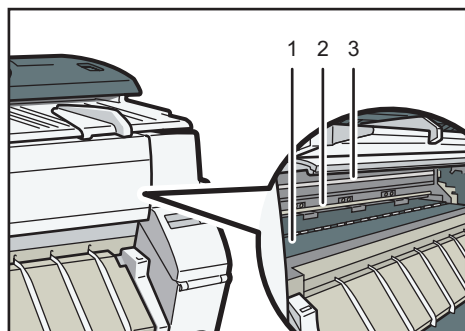
- 前カバーを開閉するときは、カバーの折りたたみ部分に指を掛けないでください。折りたたみ部分に指を挟み、けがの原因になります。



- 機械の内部には用紙のカッターがあります。用紙の交換、補給や紙づまりの処置、プラテンの清掃のときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。けがの原因になります。

★ 重要

- プラテンの奥側にある金属シャフト、エンコーダシートには手を触れないでください。
- プラテンは月に1回程度は清掃してください。

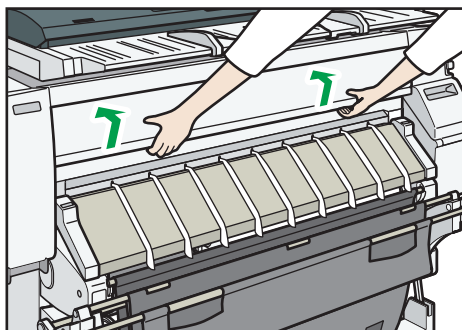


DNE032

1. プラテン
2. 金属シャフト

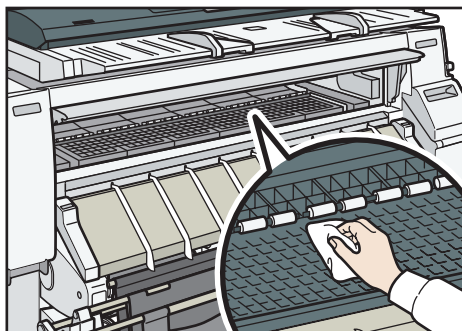
3. エンコーダシート

1. 前カバーを開きます。



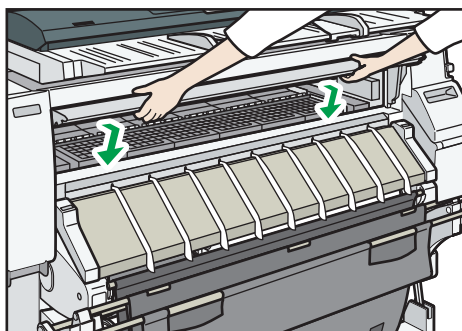
DNE019

2. プラテンを水でぬらして固く絞った布で拭きます。



DNE033

3. 前カバーを閉めます。



DNE034

↓ 補足

- 清掃後は、プラテンが乾いたことを確認してから、電源を入れてください。

電源プラグの清掃

⚠ 警告



- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源プラグに焦げ跡がある
 - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



- 電源コードは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
 - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
 - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
 - 電源コードの一部が熱くなる
 - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠ 注意



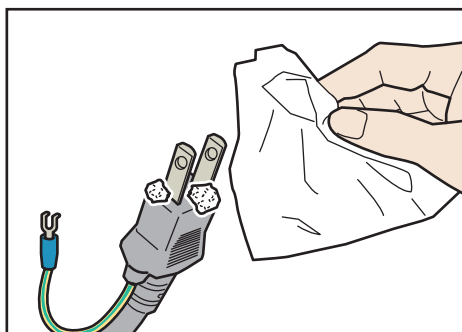
- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

★ 重要

- 電源プラグを抜くときは、電源を切ってください。P.83「主電源の切りかた」を参照してください。

お手入れの方法

乾いた布で、ほこりを取り除きます。



CPV002

↓ 補足

- 電源プラグを清掃したあとは、電源コードセットが本体にしっかりと接続されていることを確認してからコンセントに接続してください。





役立つ情報

カウンターを表示したり、機械の修理依頼やインクカートリッジの発注などの連絡先を確認したりする方法を説明します。

カウンター

各機能で使用した枚数の合計をカウンター表示します。

カウンターの一覧を印刷することもできます。

1. 画面中央下の【ホーム】()を押します。
2. 左にフリックし、【初期設定】アイコン()を押します。
3. 【カウンター】を押します。
4. カウンター一覧を印刷するときは、【カウンター一覧印刷】を押して、【スタート】キーを押します。
5. 画面右上の【初期設定】()を押します。
6. 画面中央下の【ホーム】()を押します。

カウンターの進みかた

カウンターには、「フルカラートータル」用、「モノカラートータル」用、「フルカラープリント」用の3種類のカウンターがあります。

1枚あたりのカウント数は、用紙サイズによって次のように異なります。

用紙サイズ*1	カウント数
A4、A3	1
A2	2
A1	3
A0	5

*1 用紙の向きは横置きでも縦置きでもカウント数は同じです。

各機能を使用したときのカウンターの進みかたは、次のとおりです。

コピー機能

下表の「選択されているカラーモードによる」とは、フルカラーを選択しているときはフルカラー用のカウンターが進みます。白黒、単色、または2色を選択しているときはモノカラー用のカウンターが進みます。

カラー/機能選択	カウンター（フルカラー用）	カウンター（モノカラー用）	カウンター（フルカラープリント用）
フルカラー	カウントする	カウントしない	カウントしない
単色	カウントしない	カウントする	カウントしない
白黒	カウントしない	カウントする	カウントしない
2色	カウントしない	カウントする	カウントしない
編集/カラー加工：カラー変換	カウントする	カウントしない	カウントしない
編集/カラー加工：指定色消去	選択されているカラーモードによる	選択されているカラーモードによる	カウントしない
編集/印字 ^{*1}	選択されているカラーモードによる	選択されているカラーモードによる	カウントしない
編集/画像編集 ^{*2}	選択されているカラーモードによる	選択されているカラーモードによる	カウントしない
登録色一覧印刷	カウントする	カウントしない	カウントしない

^{*1} 機密管理ナンバリング、スタンプ印字、ユーザースタンプ印字、日付印字、ページ印字機能を使用したとき

^{*2} ダブルコピー、反転、ミラー、リピート機能を使用したとき

システム機能

カラー/機能選択	カウンター（フルカラー用）	カウンター（モノカラー用）	カウンター（フルカラープリント用）
ユーザー別カウンター一覧印刷	カウントしない	カウントする	カウントしない
連絡先一覧印刷	カウントしない	カウントする	カウントしない
アドレス帳リスト印刷	カウントしない	カウントする	カウントしない
管理者カウンター一覧	カウントしない	カウントしない	カウントしない

ドキュメントボックス機能

データ	カウンター（フルカラー用）	カウンター（モノカラー用）	カウンター（フルカラープリント用）
フルカラー	カウントする	カウントしない	カウントしない
単色	カウントしない	カウントする	カウントしない
白黒	カウントしない	カウントする	カウントしない

データ	カウンター（フルカラー用）	カウンター（モノカラー用）	カウンター（フルカラープリント用）
2 色	カウントしない	カウントする	カウントしない

プリンター機能

データ	カウンター（フルカラー用）	カウンター（モノカラー用）	カウンター（フルカラープリント用）
2 色以内*1	カウントしない	カウントする	カウントしない
3 色以上	カウントする	カウントしない	カウントする

*1 シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのいずれかのインクを 2 つ、もしくは 1 つ使用したときです（色の種類によっては複数色のインクを使用します）。

↓ 補足

- 「フルカラートータル」用のカウンターにはコピー機能、ドキュメントボックス機能、プリンター機能で印刷した枚数／面数の合計がカウントされます。「フルカラープリント」にはプリンター機能で印刷した枚数／面数だけがカウントされます。
- コピー、プリンター機能を使用してドキュメントボックスに蓄積した文書を印刷するときは、設定した印刷条件が記憶されるため、文書を蓄積した機能のカウント方法が適用されます。
- メディアプリント機能はプリンター機能でカウントされます。

問い合わせ情報

機械の修理依頼、インクカートリッジの発注などの連絡先を確認できます。

初期設定から問い合わせ情報を確認する

確認できる項目は次のとおりです。

消耗品

- カートリッジ名称
- 廃インクボックス

機械修理

- 連絡先電話番号
- 機械番号





営業窓口

- 連絡先電話番号

消耗品発注先

- 連絡先電話番号

「電話番号」はサービス実施店が登録します。

1. 画面中央下の【ホーム】()を押します。
2. 左にフリックし、【初期設定】アイコン()を押します。
3. 【問い合わせ情報】を押します。
4. 問い合わせ情報を印刷するときは、【連絡先一覧印刷】を押して、【スタート】を押します。
5. 画面右上の【初期設定】()を押します。
6. 画面中央下の【ホーム】()を押します。

【状態確認】を使用して問い合わせ情報を確認する

【問い合わせ情報】画面では次の項目が確認できます。

- 機械修理
本機を修理するために必要な機械番号と連絡先の電話番号がわかります。
- 営業窓口
営業窓口の電話番号がわかります。
- 消耗品発注先
本機で使用している消耗品を発注する電話番号がわかります。
- 消耗品名称
本機で使用しているインクカートリッジの名称がわかります。

1. 【状態確認】を押します。
2. 【保守/問い合わせ/機器情報】タブを押します。
3. 確認後、【閉じる】を押します。
4. 【状態確認】を押します。

仕様一覧

本体とオプションの仕様について説明します。

↓ 補足

- オープンソースを含むその他のソフトウェアについて、各著作者の許諾を得て利用しています。著作者から要求されている記載事項は、付属の CD-ROM に収録されている「OSS.pdf」のファイルを参照してください。

本体仕様

ノズル数

- ブラック：768 ノズル
- シアン、マゼンタ、イエロー：各色 384 ノズル

形式

コンソール型

CPU

Intel® Atom Processor BayTrail-I 1.75GHz

メモリー

4GB

HDD 容量

295GB

カラー対応

フルカラー

複写方式

GELJET テクノロジー

原稿台方式

原稿移動（シートスルー）

原稿読み取り方式

密着イメージセンサーによる原稿搬送走査式画像読み取り

ウォームアップタイム（温度 23°C、定格電圧）

- RICOH MP CW2201 シリーズ
32 秒
- RICOH MP CW1201 シリーズ
30 秒

ファーストコピータイム

- RICOH MP CW2201 シリーズ
 - 高速モード
モノクロ：41 秒 (A0 \square)、27 秒 (A1 \square)
 - 高速モード（線画）
フルカラー：79 秒 (A0 \square)、51 秒 (A1 \square)
- RICOH MP CW1201 シリーズ
 - 高速モード
モノクロ：30 秒 (A1 \square)
 - 高速モード（線画）
フルカラー：60 秒 (A1 \square)

モードにより速さは異なります。

連続複写速度

- RICOH MP CW2201 シリーズ
標準モード
モノクロ：2.0 枚/分 (A1 \square)
フルカラー：1.2 枚/分 (A1 \square)
- RICOH MP CW1201 シリーズ
標準モード
モノクロ：1.8 枚/分 (A1 \square)
フルカラー：1.0 枚/分 (A1 \square)

最大原稿サイズ

幅：914.4mm、長さ：15,000mm

複写原稿

シート原稿

複写サイズ（幅×長さ）

- RICOH MP CW2201 シリーズ
給紙部：279.4×210.0mm～914.4×15,000.0mm
手差し給紙部：279.4×210.0mm～914.4×2,000.0mm
- RICOH MP CW1201 シリーズ
給紙部：279.4×210.0mm～610×15,000.0mm
手差し給紙部：279.4×210.0mm～610×2,000.0mm

用紙紙厚

給紙部、手差し給紙部：詳しくは、P.146「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

画像欠け幅（コピー時）

詳しくは、P.117「画像欠け範囲」を参照してください。

複写倍率（固定）

400.0%、282.8%、200.0%、141.4%、70.7%、50.0%、35.4%、25.0%

倍率誤差

- 等倍：±0.5%以下
- 拡大（100.1～400.0%）：±0.5%以下
- 縮小（99.9～50.0%）：±0.7%以下
- 縮小（49.9～25.0%）：±1.0%以下

複写倍率（ズーム）

25.0～400.0%（0.1%単位の任意選択）

解像度（読取時）

600dpi

解像度（書込時）

600dpi

階調

256 階調

給紙方式

給紙部 1 + 手差し給紙部

連続複写枚数

1～99 枚

集約

標準

使用電源

100V、3.6A、50/60Hz

最大消費電力（本体）

147W

大きさ（幅×奥行き×高さ）

- RICOH MP CW2201 シリーズ
1,384×1,044×1,220mm（排紙バスケット：標準モード、原稿排紙ガイド：折り畳み）

- RICOH MP CW1201 シリーズ

1,080×1,044×1,220mm（排紙バスケット：標準モード、原稿排紙ガイド：折り畳み）

機械占有寸法（幅×奥行き）

- RICOH MP CW2201 シリーズ

1,384×1,573mm（排紙バスケット：A0/A1 スタックモード、原稿排紙ガイド：延長）

- RICOH MP CW1201 シリーズ

1,080×1,377mm（排紙バスケット：A1/A2 ヨコ スタックモード、原稿排紙ガイド：延長）

質量

- RICOH MP CW2201 シリーズ

120kg 以下

- RICOH MP CW1201 シリーズ

105kg 以下

使用環境

- 温度：10～32℃
- 湿度：15～80%（最大湿球温度：25℃）

上記範囲外では機械保護のため、印刷を停止することがあります。

ドキュメントボックスの仕様

ドキュメントボックス用容量

約 87GB

最大：3,000 ページ（蓄積機能全体で蓄積できるページ）

コピー/白黒/A4 原稿のとき：約 3,000 ページ

コピー/フルカラー/A4 原稿のとき：約 3,000 ページ

プリンター/フルカラー/A4/600dpi 2bit のとき：約 3,000 ページ

スキャナー/フルカラー/A4/200dpi 8bit/JPEG のとき：約 3,000 ページ

（プリンター・スキャナー蓄積のときは、印刷画像・原稿による）

ドキュメントボックス文書管理数

最大 3,000 文書

メモリーソートできる枚数

最大 1,000 ページ

コピー/白黒/A4 原稿のとき：約 1,000 ページ

プリンター/白黒/A4/600dpi 8bit のとき：約 400 ページ

(プリンターソートのときは、印刷画像による)

メモリーソート用容量

最低保証枚数は、以下のとおりです。

A0 サイズ：100 枚

A1 サイズ：100 枚

A2 サイズ：200 枚

A3 サイズ：400 枚

A4 サイズ：400 枚

プリンター機能の仕様

形式

内蔵型

プリントサイズ

- RICOH MP CW2201 シリーズ
 - 定型
最大 A0□ (841×1,189mm)
 - 不定形
最大 914.4×2,000.0mm (手差し給紙部)
最大 914.4×15,000.0mm (給紙部)
- RICOH MP CW1201 シリーズ
 - 定型
最大 A1□ (594×841mm)
 - 不定形
最大 610×2,000.0mm (手差し給紙部)
最大 610×15,000.0mm (給紙部)

連続プリント速度

- RICOH MP CW2201 シリーズ
高速モード (線画)
モノクロ：3.8 枚/分 (A1□)
フルカラー：2.1 枚/分 (A1□)
- RICOH MP CW1201 シリーズ

高速モード（線画）

モノクロ：3.2 枚/分（A1D）

フルカラー：1.8 枚/分（A1D）

モードにより速さは異なります。

解像度

600×300dpi/600×600dpi/1,200×1,200dpi

ページ記述言語

- 標準：

RPCS、RPGL/GL2、RTIFF、PDF

- オプション：

PostScript 3

エミュレーション（オプション）

Adobe PostScript 3

インターフェース

- 標準：

イーサネット（1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T）

操作部の USB2.0 ポート（A タイプ）

USB2.0 ポート（B タイプ）

操作部の SD カードスロット

- オプション：

IEEE 802.11a/b/g/n（無線 LAN）

プロトコル

- 標準：

TCP/IP（IPv4、IPv6）、LPD、DIPRINT、FTP、IPP、SMB、IPP-SSL、WSD（Printer）、Port9100

USB インターフェース（標準）

- 対応 OS：

Windows Vista/7/8/8.1、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2、OS X 10.7 以降

- 通信方式：

USB2.0 規格に対応

- 接続方式：

USB2.0 規格に対応したデバイス

対応 OS

- 標準：
Windows Vista/7/8/8.1、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2
- オプション：
OS X 10.7 以降

内蔵フォント

- 標準：
明朝 L、ゴシック B、明朝 L プロポーショナル、ゴシック B プロポーショナル、
Courier10、Prestige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier4 書体、Arial4
書体、TimesNewRoman4 書体、Wingdings、Century、Symbol、OCR-B、漢字ス
トローク
平成明朝 W3、平成角ゴシック W5、欧文 136 書体（PDF ダイレクトプリント用）
- オプション：
HG 明朝 L、HG ゴシック B（PostScript 3、PDF ダイレクトプリント用）

変倍率

25～400%（RPCS 時）



- RPD L のプリンタードライバーは提供していません。
- Macintosh では本機標準の USB ポートだけに対応しています。
- イーサネット（1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T）で接続するとき、使用できるケーブルの長さは 100m までです。

スキャナー機能の仕様

形式

フルカラー スキャナー

原稿読み取り方式

原稿搬送走査方式

イメージセンサーの種類

密着イメージセンサー

複写原稿

シート原稿

読み取れる原稿サイズ

モノクロ：縦（210～15,000mm）×横（210～914.4mm）

(拡張データ変換ボード装着時)

フルカラー：縦 (210～2,774mm) × 横 (210～914.4mm)

(600dpi 時)

原稿読み取り速度

- モノクロ

150dpi：160mm/秒

200dpi：160mm/秒

300dpi：160mm/秒

400dpi：120mm/秒

600dpi：80mm/秒

1,200dpi：40mm/秒 (TWAIN スキャナー使用時)

- フルカラー

150dpi：40mm/秒

200dpi：40mm/秒

300dpi：40mm/秒

400dpi：40mm/秒

600dpi：26.7mm/秒

1,200dpi：13.3mm/秒 (TWAIN スキャナー使用時)

階調

- 白黒：2 階調

- フルカラー/グレースケール：256 階調

基本読み取り解像度

600dpi

白黒 2 値のときの画像圧縮形式

TIFF (MH、MR、MMR、JBIG2)

グレースケール/フルカラーのときの画像圧縮形式

JPEG

インターフェース

- 標準：

イーサネット (1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T)

操作部の USB2.0 ポート (A タイプ)

操作部の SD カードスロット

- オプション：

IEEE 802.11a/b/g/n (無線 LAN)

ネットワーク接続時の使用プロトコル

TCP/IP

メール送信時の読取解像度

150dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi

メール送信時の対応プロトコル

SMTP

メール送信時の出力フォーマット

TIFF、JPEG、PDF、高圧縮 PDF、PDF/A

ファイル形式として [PDF]、[高圧縮 PDF]、または [PDF/A] を選択したときは、電子署名を付けられます。[PDF] または [高圧縮 PDF] には、セキュリティーを設定することもできます。詳しくは、『スキャナー』「PDF ファイルにデジタル署名を設定する」、「PDF ファイルにセキュリティーを設定する」を参照してください。

フォルダー送信時の読取解像度

150dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi

フォルダー送信時の対応プロトコル

SMB、FTP

フォルダー送信時の出力フォーマット

TIFF、JPEG、PDF、高圧縮 PDF、PDF/A

ファイル形式として [PDF]、[高圧縮 PDF]、または [PDF/A] を選択したときは、電子署名を付けられます。[PDF] または [高圧縮 PDF] には、セキュリティーを設定することもできます。詳しくは、『スキャナー』「PDF ファイルにデジタル署名を設定する」、「PDF ファイルにセキュリティーを設定する」を参照してください。

ネットワーク TWAIN スキャナー使用時の読取解像度

150～1,200 dpi

ネットワーク TWAIN スキャナー使用時の対応プロトコル

TCP/IP

ネットワーク TWAIN スキャナーの対応 OS

Windows Vista/7/8/8.1、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2

(ネットワーク TWAIN スキャナーは 64bitOS で動作しますが、32bit 互換モードで動作するため、64bit アプリケーションでは使用できません。32bit アプリケーションを使用してください。また、IC カード認証システムは 64bitOS で使用できません。)

↓ 補足

- イーサネット (1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T) で接続するとき、使用できるケーブルの長さは 100m までです。

給紙部 2 の仕様

仕様値はコピー機能使用時の数値です。機能によっては仕様値が異なる場合があります。

使用可能用紙サイズ

幅：

- RICOH MP CW2201 シリーズ：279.4～914.4mm
- RICOH MP CW1201 シリーズ：279.4～610.0mm

長さ：200m（ロール径 176mm 以下）

用紙幅

詳しくは、P.146「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

電源

本体から供給

大きさ（幅×奥行き×高さ）

- RICOH MP CW2201 シリーズ：1,108×432×398mm
- RICOH MP CW1201 シリーズ：804×432×398mm

質量

- RICOH MP CW2201 シリーズ：14.5kg
- RICOH MP CW1201 シリーズ：11kg

↓ 補足

- RICOH MP CW2201 シリーズでは、次の項目すべてに該当する用紙は使用できません。
 - 用紙幅：841mm を超える
 - 用紙紙厚：120g/m²以上
 - 用紙厚さ：0.15mm 以上

拡張無線 LAN ボードの仕様

インターフェース

IEEE 802.11a/b/g/n 準拠（W52/W53/W56）、Wi-Fi 準拠

伝送速度

- 802.11a：1～54Mbps
- 802.11b：1～11Mbps
- 802.11g：1～54Mbps
- 802.11n：1～130Mbps（2.4GHz 帯）、1～300Mbps（5GHz 帯）

周波数範囲（中心周波数表示）

- 802.11a：5180MHz～5320MHz（20MHz 間隔 8 波 W52、W53）
- 802.11b：2412MHz～2472MHz（5MHz 間隔 13 波）、2484MHz
- 802.11g：2412MHz～2472MHz（5MHz 間隔 13 波）
- 802.11n：
 - 2412MHz～2472MHz（5MHz 間隔 13 波）
 - 5180MHz～5320MHz（20MHz 間隔 8 波 W52、W53）
 - 5500MHz～5700MHz（20MHz 間隔 11 波 W56）

通信モード

- 802.11 アドホックモード
- インフラストラクチャーモード
- ダイレクト接続モード
- ダイレクト接続グループオーナーモード

↓ 補足

- Web Image Monitor に対応しています。
- 伝送速度は理論値です。使用する環境によっては伝送速度が遅くなることがあります。
- 802.11 アドホックモードの伝送速度は、802.11a では最大 54Mbps、802.11b では最大 11Mbps です。802.11g/n は 802.11 アドホックモードで接続できません。

※無線 LAN に記載されているマークについて



- 2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示します。
- DS/OF：DS-SS 方式および OF-DM 方式を示します。
- 4：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示します。
- ■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを意味します。

消耗品一覧

インク

色	名称
ブラック	RICOH MP カートリッジ ブラック CW2200
シアン	RICOH MP カートリッジ シアン CW2200 RICOH MP カートリッジ シアン CW2200S *1
マゼンタ	RICOH MP カートリッジ マゼンタ CW2200 RICOH MP カートリッジ マゼンタ CW2200S *1
イエロー	RICOH MP カートリッジ イエロー CW2200 RICOH MP カートリッジ イエロー CW2200S *1

*1 小さいサイズのカートリッジです。カラーでの出力が少ないお客様には小さいサイズのカートリッジをお勧めします。

廃インクボックス

RICOH MP 廃インクボックス タイプ CW2200

↓ 補足

- 本機では、グリーン購入法適合用紙「マイリサイクルペーパー 100」が使用できます。
- その他、各種用紙の情報については、リコーホームページ (<http://www.ricoh.co.jp/supply/paper/>) を確認するか、営業担当者に問い合わせてください。

おもな付属品一覧

- 使用説明書入れ
- 使用説明書・ユーザーガイド
- はじめにお読みください
- CD-ROM
- 記入シール（消耗品の注文先、機械修理の連絡先）
- マイバンク&QA 登録票
- スタートカウンター確認シート

↓ 補足

- PDF と HTML の使用説明書は付属の CD-ROM に格納されています。

お問い合わせ

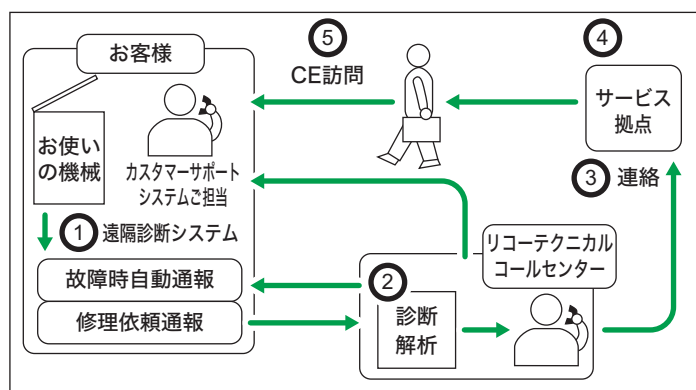
リモート管理サービス、保守サービス契約、お問い合わせ先について説明します。

リモート管理サービスを利用する

機械が故障したときや、修理を依頼するときにリコーテクニカルコールセンターに通報します。

★重要

- 「センターに自動通報できませんでした」と表示されているときやリコーテクニカルコールセンターから連絡がこないときは、サービス実施店に連絡してください。
- 本機を移動するときは販売店またはサービス実施店に連絡してください。



C.JX004

通報には次の3種類があります。

故障時自動通報（SC/サービスコール）

機械の自己診断機能で故障を検知したときに自動通報されます。

修理依頼通報（MC/マニュアルコール）

コピーがきれいにとれないとき、頻繁に用紙がつまるとき、用紙を取り除いても紙づまり表示が消えないときなどに、複写機のキーを操作して通報します。

修理依頼通報（画面の表示）

次のときは、修理依頼通報画面が表示されます。[通報]を押すとリコーテクニカルコールセンターに自動通報します。

- 頻繁に用紙がつまる。
- 用紙がつまった状態でドアやカバーが開いたまま一定時間放置された。

↓ 補足

- 露光ガラス使用時にかかわらず、用紙がつまった状態で一定時間放置されると警告音が鳴ります。
- リコーテクニカルコールセンターでの修理依頼受付時間は、9:00～18:00 です。ただし、日曜、祝日、年末年始は除きます。
- 通報受信後、リコーテクニカルコールセンターからご担当者へ受信確認の連絡をいたします。お客様のカスタマーサポートセンターご担当者名を事前に販売店またはサービス実施店に連絡してください。ご担当者が代わられたときも同様に連絡してください。

故障時自動通報（SC/サービスコール）

リコーテクニカルコールセンターへ故障情報が自動通報されます。

↓ 補足

- 通常コピー時に「**故障時自動通報**」というメッセージが表示されることがあります。このとき画面の「確認」を押すと通常の操作画面に戻りますが、故障しているユニットを使用するコピーはできません。

6

修理依頼通報（MC/マニュアルコール）

1. [リセット] を押します。
2. テンキーで [0] を 2 回押します。
3. [クリア] を 3 秒間押し続けます。
4. [通報] を押します。

↓ 補足

- 通報したあと、通常の操作画面に戻すときは「終了」を押します。

リモート管理サービス用アダプター

リモート管理サービスを利用するときに必要なアダプターです。

プリンター機能/スキャナー機能を搭載している機種は、インターネット（常時接続）でリモート管理サービスを運用する機能があらかじめ機械本体に搭載されているので、アダプターを設置しないで運用することもできます。ただし、お客様の環境によっては、アダプターを設置することがあります。

保守サービス契約

本機をお買い上げいただく際にリコー保守サービス契約にご契約いただきます。

保守サービス内容につきましては、販売担当者またはカスタマーエンジニアにおたずねください。

保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、本機の製造中止後、7年間です。

機器のご利用終了にともなう、機器に保存されたお客様の情報資産のお取り扱いについて

本機をお使いのお客様には、返却・廃棄・譲渡などで機器のご利用終了の際に、その機器内に残されたお客様の情報資産を解析され、漏えいする危険を未然に防止する必要があります。未然に防止するためには、機器のご利用終了後に確実な消去処理をすることが望ましいといえます。

機器に残存するおもな情報資産は次のとおりです。

- コピーの入出力動作のために一時的に作成される画像データ
- 任意に HDD へ保存された蓄積文書
- アドレス帳
- 各種設定情報 ほか

上記のような情報資産は、所有者であるお客様の自己責任において処理をする必要があります。

リコーでは、機器の情報安全性の強化を進めるとともに、お客様からご返却、お預かりした使用済み機器は、確実な情報消去を実施しています。

しかし、リコーではない第三者にご返却、お預けされるときは、お客様自身により、情報資産の処理や確認が必要となりますのでご注意ください。

また、リコーでは以下の有償サービスを行っています。必要に応じてご利用いただけますようお願いします。

サービス・機能と概要

サービス名称	概要
OA 機器廃棄証明発行サービス	機器を物理的に破壊処理したことの証明書を発行します。
OA 機器 HDD 傷入れ証明発行サービス	回収した機器からハードディスクを取り出し、キズ入れを行います。キズ入れ時の写真が入った証明書を発行します。

サービス名称	概要
オンラインによる HDD 取り外し・キズ入れサービス	カスタマーエンジニアが訪問し、お客様の前で機器からハードディスクを取り外します。取り外したハードディスクはキズ入れ作業により物理的に読めないようにして、お客様に譲渡もしくは回収します。取り出したハードディスクをそのまま譲渡することも可能です。機器返却時にサービス実施店までご相談ください。リース物件の場合はリース会社に所有権があることから、お客様がリース会社から事前の同意が必要です。

- 他社製品に対する上記サービスは実施していません。
- 地域や機種により対応サービスが異なる場合があります。詳細はリコーテクニカルコールセンターもしくは販売担当者、サービス担当者にお問い合わせください。

さらに、本機はデータの上書き消去機能やハードディスクの暗号化機能が用意されています。詳しくは『セキュリティガイド』「機器のデータを上書き消去する」、「機器のデータを暗号化する」を参照してください。

お問い合わせ先

6

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

<http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html>

最新ドライバーおよびユーティリティ情報

最新版のドライバーおよびユーティリティをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- <http://www.ricoh.co.jp/download/index.html>

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介します。

<http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html>

操作方法、製品の仕様・修理に関するお問い合わせ

電話でのお問い合わせ

操作方法や製品の仕様・修理については、下記のダイヤルまたは販売店にご連絡ください。

0120-892-111

イチイチイチ

- 受付時間（祝祭日および弊社休業日を除く）
修理のお申し込み・ご相談：9 時～18 時（月～土）
操作方法、製品の仕様についてのお問い合わせ：9 時～17 時（月～金）
- お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

Web でのお問い合わせ

ホームページからもお問い合わせ、修理のお申し込み・ご相談を承っております。

<http://www.ricoh.co.jp/contact/product.html>



7. 付録

商標について説明します。

商標

Adobe、Acrobat、PostScript、PostScript 3 は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Bluetooth 商標は、Bluetooth SIG, Inc. 所有の商標であり、ライセンスの下で株式会社リコーが使用しています。

Apple、Bonjour、Macintosh、OS X、および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Firefox、Thunderbird は Mozilla Foundation の商標です。

Intel、Intel Atom は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

JAWS® は米国およびその他の国における Freedom Scientific BLV Group, LLC の登録商標です。

Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer、Outlook、Bing は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

- Internet Explorer の正式名称は次のとおりです。

Microsoft® Internet Explorer® 6

Windows® Internet Explorer® 7

Windows® Internet Explorer® 8

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® XP Professional

Microsoft® Windows® XP Home Edition

Microsoft® Windows® XP Media Center Edition

Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition

Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Vista® Ultimate

Microsoft® Windows Vista® Business

Microsoft® Windows Vista® Home Premium

Microsoft® Windows Vista® Home Basic

Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 7 Home Premium

Microsoft® Windows® 7 Professional

Microsoft® Windows® 7 Ultimate

Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows 8 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 8

Microsoft® Windows® 8 Pro

Microsoft® Windows® 8 Enterprise

- Windows 8.1 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 8.1

Microsoft® Windows® 8.1 Pro

Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

- Windows Server 2012 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials

Microsoft® Windows Server® 2012 Standard

- Windows Server 2012 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard
SD および SD のロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。
Dropbox は、米国 Dropbox, Inc.の登録商標または商標です。
GOOGLE、Google Chrome、Google Drive は Google Inc.の登録商標または商標です。
Yahoo!は、米国 Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
Felica は、ソニー株式会社の登録商標です。
Linux は Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
RED HAT は、米国およびその他の国において登録された Red Hat, Inc.の商標です。
UPnP は UPnP Forum の登録商標です。
Kerberos は、Massachusetts Institute of Technology (MIT)の商標です。



本製品は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE®ソフトウェアを搭載しています。
RSA および BSAFE は米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標
または登録商標です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

MEMO

